

平成 22 年

農林水産業気象災害年報

平成 23 年 12 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	5

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	9
2	畑作物（小麦、大豆）	11
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、だいこん）	12
4	花き（りんどう、小ぎく）	14
5	果樹（りんご、ぶどう）	15
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	17
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	18
8	水産物（わかめ、こんぶ、ほたてがい、かき）	18

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	1月 1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	21
2	1月13日の大雪災害	22
3	2月28日の津波災害	23
4	3月10日から11日にかけての大雪災害	24
5	3月13日から14日にかけての強風災害	25
6	3月21日の強風災害	25
7	4月13日から14日にかけての強風災害	26
8	4月21日から25日にかけての強風災害	27
9	4月28日から29日にかけての大雨災害	28
10	5月24日から25日にかけての大雨災害	29
11	5月26日から27日にかけての波浪災害	30
12	5月31日の降霜災害	31
13	6月 3日及び5日の降雹災害	31
14	6月20日の大雨災害	32
15	7月 2日から4日にかけての大雨災害	33
16	7月 7日の大雨災害	34
17	7月 8日の降雹災害	35
18	7月 9日から10日にかけての大雨災害	35
19	7月12日の強風災害	36
20	7月17日の大雨災害	37
21	7月24日から25日にかけての落雷、大雨災害	37
22	7月26日の大雨災害	39
23	7月29日から30日にかけての大雨災害	40

24	8月12日の台風4号による災害	4 1
25	8月14日の大雨災害	4 2
26	8月31日の大雨災害	4 4
27	6月から8月にかけての暑熱災害	4 5
28	11月 3日の強風災害	4 6
29	11月 9日から10日にかけての強風災害	4 6
30	11月12日の強風災害	4 7
31	12月 3日から4日にかけての大雨、暴風、波浪災害	4 8
32	12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害	5 0
33	12月24日から26日にかけての大雪災害	5 3

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1	2月28日の津波災害	5 5
2	7月 2日から4日にかけての大雨災害	5 5
3	7月 8日の降雹災害	5 5
4	7月17日の大雨災害	5 6
5	6月から8月にかけての暑熱災害	5 7
6	12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害	5 8
7	12月24日から26日にかけての大雪災害	6 0

V 参考資料

1	農林水産部災害対策実施マニュアル	6 1
2	農作物等気象災害防止対策本部設置要綱	7 7
3	農林漁業セーフティネット資金の概要	8 1
4	農業共済事業の種類と仕組み	8 3
5	漁業共済事業の種類と仕組み	8 5
6	森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要	8 9
7	森林国営保険の概要	9 1
8	農作物災害対策要綱	9 5
9	農作物災害復旧対策事業の実施状況	9 7
10	平成元年以降の農林水産業気象災害	1 0 1

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・春先の低温と寡照
- ・夏場の記録的高温
- ・3月下旬と7月中旬の大雨、6月上旬及び7月上旬の降雹
- ・遅い梅雨入りと早い梅雨明け
- ・台風の発生数が最も少ない
- ・12月の記録的な多雨（年末の大雪（大雨））

平成22年は、3月下旬から4月下旬にかけて、低温及び寡照となった。その後、6月から9月中旬にかけて高温となった。特に、6月から8月にかけては、記録的な高温となり、8月は、県内の観測地点（統計期間5年以上の地点）32箇所のうち26箇所で、月平均気温の1位の値を更新した。梅雨入りは、6月16日ごろと平年より4日遅く、梅雨明けは、7月18日ごろと平年より9日早かった。

6月5日及び7月8日の降雹や、7月17日の県北部を中心とした大雨により、農作物、農業施設及び林業施設等に大きな被害を及ぼした。

また、年末には、県北部を中心とした大雪（大雨）により、農業施設及び水産業施設等に大きな被害を及ぼした。

なお、台風の発生数は、統計開始（1951年）以来、最小の14個を記録し、そのうち岩手県を通過した台風は1個であった。

2 旬別の気象概況

<1月>：気温の変動が大きい、寡照、13日の沿岸北部を中心とした大雪

上旬：内陸では、雪や雨または曇りの日が多く、沿岸部では晴れるところもあった。1日から2日にかけて、冬型の気圧配置が強まり、内陸の山沿いを中心に大雪、沿岸部では強風となり、住家被害や交通障害が発生した。5日から7日にかけて、海上を中心に強風となった。

中旬：期間のはじめは、低気圧の影響で、雪または雨や曇りの日が多かった。13日には、低気圧が通過し、荒れた天気となり、北部を中心に大雪となった。その後は、冬型の気圧配置が持続した。20日は、低気圧や前線の影響で雨や雪となった。期間の気温は、中頃は寒気の影響で平年より低く、その後は、南から暖かい空気が入り、平年より高かった。降水量は、北部で多かった。

下旬：期間の前半は、冬型の気圧配置となることが多かった。後半は、冬型の気圧配置が長続きせず、周期的に変化し、内陸を中心に、雪または雨や曇りの日が多かった。南よりの暖かい空気が入り、気温は平年より高く経過した。日照時間は、沿岸南部で少なかった。

<2月>：気温の変動が大きい、下旬の記録的な高温

上旬：1日から2日にかけて、低気圧が通過し、その後、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が続き、沿岸部でも雪の降る日があった。中頃に、寒気の影響により低温となったが、その後は、南よりの暖かい空気が入り高温となって、気温の変動が大きかった。

中旬：低気圧等の影響で、曇りの日が多く、内陸では、雪または雨となる日もあった。寒気の影響を受けやすく、気温の低い日が多かった。16日には、気圧の谷の影響により沿岸北部で大雪となる場所があった。

下旬：前半は、22日に前線が通過し、雪や雨となる場所があったが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。後半は、低気圧や前線の影響を受けて、曇りや雨または雪の日が多かった。平均気温は、かなり高かった。

<3月>：寡照、下旬後半の低温、10日の沿岸部を中心とした大雪

上旬：低気圧や前線の影響を受けて、雪または雨や曇りの日が多かった。9日から10日にかけては、南岸低気圧が急速に発達しながら三陸沖を北東進した影響で、沿岸部を中心に大雪となり、雪崩や交通障害が発生した。海上では大しけとなった。降水量は全般にかなり多く、日照時間は、かなり少なかった。

中旬：13日、15日から16日にかけては、前線が通過し、20日は、日本海低気圧の影響で雨や雪となった。その他の日は、高気圧に覆われ、晴れる日が多かったが、内陸では、寒気の影響により、雪や雨となる日もあった。期間の中頃までは、南からの暖かい空気が入り、気温の高い日が多かった。降水量は、沿岸北部でかなり少なかった。

下旬：低気圧や気圧の谷が短い周期で通過し、雪または雨や曇りとなる日が多かったが、期間の後半には、高気圧に覆われて、晴れる日もあった。21日は、発達した低気圧の通過後に強い冬型の気圧配置となったため強風となり、盛岡市や沿岸北部で、住家損壊、交通障害が発生した。気温は、上空に強い寒気が流れ込んだ中頃から終わりにかけて低温となった。21日は、黄砂を観測した。

<4月>：顕著な低温・寡照、28日から29日にかけての沿岸を中心とした大雨

上旬：低気圧や前線の影響を受けて、曇りや雨の日が多かったが、中頃と終わりには、高気圧に覆われ、晴れる日もあった。1日と5日は、前線や低気圧の影響により、まとまった雨となる場所があった。後半は、沿岸を中心に、気温の低い日があった。気温は、県南部で低いところがあり、降水量は、沿岸北部でかなり少ないところがあった。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多かった。高気圧に覆われて、晴れる日もあったが、日照時間は、かなり少ない地点があった。13日から14日にかけて、日本海の低気圧が発達しながら北東進した影響で、強風となり、内陸を中心に、農業施設被害や交通障害が発生した。中頃から上空の寒気の影響を受けて、低温となる日が多かった。

下旬：期間の中頃と終わりは、高気圧に覆われ、晴れの日もあったが、その他の日は、低気圧や前線、気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多かった。28日から29日にかけては、低気圧の影響で、沿岸を中心に大雨となり、崖崩れや浸水などの被害が発生した。中頃にかけて、この時期としては強い寒気が流れ込み、低温となる日が多かった。平均気温はかなり高く、日照時間は全般に少なく、一部でかなり少ないところがあった。

<5月>：気温の変動が大きい、多雨・寡照

上旬：高気圧に覆われて、晴れの日が多かったが、7日は、前線の影響を受けて、まとまった雨となる場所があった。気温は、期間のはじめと終わりに、寒気の影響で低いところがあったが、中頃は、南よりの暖かい空気が流れ込み、高温となった。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多かったが、期間の中頃は、高気圧に覆われて、晴れる日もあった。11日から12日にかけては、日本海を北東に進んだ低気圧の影響により、大雨のところがあった。期間の前半は、寒気が南下し、低温となり、後半は、南よりの暖かい空気が流れ込み、高温となった。降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なかった。

下旬：期間のはじめと終わりは、高気圧に覆われて、晴れの日もあったが、その他の日は、低気圧や寒気の影響で、雨や曇りの日が多かった。沿岸は、湿った東よりの風の影響を受ける日もあった。24日から25日にかけては、日本の南岸を進んだ低気圧が三陸沖を北上した影響で、大雨となり、山崖崩れの被害が発生した。気温は、寒気や湿った東よりの風の影響により、低温となった。

<6月>：顕著な高温、上旬の少雨・多照

上旬：高気圧に覆われて、晴れる日が多かったが、期間の中頃と終わりは、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、大気の状態が不安定となった。5日と10日は、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、雷雨となったところがあり、5日は雹が降り、農作物に被害が発生した。10日は、雷を伴い短時間の強い雨となったところがあった。

中旬：期間のはじめは、高気圧に覆われて、晴れる日があったが、中頃からは、梅雨前線や低気圧の影響で、雨や曇りの日が多かった。19日から20日にかけては、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、雷雨となったところがあった。また、日本付近に暖かい空気が流れ込み、高温となった。

下旬：高気圧に覆われて、晴れの日もあったが、前線や気圧の谷の影響で、雨や曇りの日が多かった。梅雨前線や上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、短時間に激しい雨の降った日や大雨となった日もあり、30日は、気圧の谷の影響により、県南部を中心に大雨となった。気温は、日本海付近は暖かい空気に覆われて、高温となった。

<7月>：高温、8日の降雹、17日の大雨

上旬：梅雨前線や気圧の谷の影響で、雨や曇りの日が多く、暖かく湿った空気や上空の寒気の影響により、期間を通して大気の状態が不安定となった。県内の各地で、局地的大雨となり、浸水害や山崖崩れの被害が発生した。8日は雹が降り、葉たばこや野菜に被害が発生した。気温は、南から暖かい空気が入り、高温で経過した。

中旬：期間のはじめから中頃までは、梅雨前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多かった。17日は、大気の状態が不安定となり、県の北部を中心に雷雨となり、浸水害や土砂災害が発生した。中頃に、日最高気温が平年より低い日があったが、太平洋高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が流れ込み、期間の気温は高めとなった。

下旬：期間のはじめから中頃にかけては、高気圧に覆われ、晴れて各地で真夏日となる日が多く、猛暑日となるところもあった。強い日射や上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、大気の状態が不安定となり、雷雨や局地的大雨となるところがあり、29日から31日にかけて、山崖崩れや浸水の被害が発生した。

<8月>：記録的な高温、台風4号の上陸

上旬：期間の前半は、前線や気圧の谷の影響で、雨や曇りの日が多かった。その後、高気圧に覆われて、晴れのところが多かったが、期間を通して、大気の状態が不安定となって、局地的な大雨となった日もあった。また、中頃から気温が高く経過し、猛暑日となる地点があった。

中旬：期間の中頃までは、台風や前線の影響で、雨や曇りの日が多かったが、その後は、高気圧に覆われて、北部を中心に、晴れの日が多かった。12日は、東北北部を横断した台風4号の影響で、また、14日から17日にかけては前線の影響で、雷雨や大雨となったところがあり、県北部を中心に、浸水や山崖崩れの被害、交通障害などが発生した。

下旬：この期間、高気圧が本州付近に張り出し、暖かい空気に覆われることが多かったが、北日本は、前線の停滞や気圧の谷の影響により、曇りや雨となる日もあった。24日から26日と31日は、前線の影響で大気の状態が不安定となり、雷雨や局地的大雨となるところがあり、31日の大雨により、内陸で浸水の被害が発生した。

<9月>：上旬の顕著な高温と多照、中旬の多雨

上旬：熱帯低気圧や前線の影響で、曇りや雨となる日もあったが、高気圧に覆われて、晴れの日が多かった。6日から7日にかけて、前線が東北地方を南下し、局地的な大雨となるところがあった。気温は、期間の前半を中心に、南から暖かく湿った空気が流れ込み、高温となったが、後半は、前線の南下や湿った東よりの風の影響で、平年程度となる日もあった。

中旬：この期間、低気圧や前線の影響で雨や曇りの日が多かったが、高気圧に覆われて、晴れた日もあった。11日から14日にかけては、低気圧が短い周期で東北地方を通過したことや前線が停滞したことにより、大雨となるところがあった。気温は、期間の後半を中心に高かった。平均気温は高く、降水量は多かった。

下旬：この期間、低気圧や前線の影響で、雨や曇りの日が多かったが、高気圧に覆われて、晴れた日もあった。25日は、台風12号が三陸沖を通過したため、沿岸は、海上を中心に、暴風や大しけとなった。

<10月>：寡照、高温

上旬：高気圧に覆われて、晴れる日もあったが、3日から6日にかけては、低気圧や前線、気圧の谷の影響により、曇りや雨となった。10日は、本州南岸の低気圧が三陸沖を北東進した影響により、沿岸南部を中心に、大雨となるところがあった。気温は、南から暖かく湿った空気が流れ込み、高温となる日が多かった。日照時間は、少なかった。

中旬：中頃までは、低気圧や気圧の谷の影響で、雨や曇りの日が多かったが、終わり頃は、高気圧に覆われて、晴れる日があった。15日は、日本海の低気圧の影響により、北部を中心に、大雨となる場所があった。19日の朝は、各地で冷え込んだ。

下旬：期間のはじめは、高気圧に覆われて、晴れの日もあったが、その後は、低気圧や前線、寒気の影響で、曇りや雨の日が多かった。26日から27日にかけては、冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込み、山沿いを中心に、雪となった場所があった。日照時間は、少なかった。

<11月>：県南部を中心に高温・小雨・多照

上旬：低気圧や気圧の谷の影響により、雨や曇りとなる日が多く、低気圧の通過後は、冬型の気圧配置となった。1日は、日本海を東進した低気圧と三陸沖を北上した低気圧の影響で、北部を中心に、大雨となる場所があった。

中旬：期間の前半は、低気圧や前線の影響で、曇りや雨または雪の日が多く、後半は、高気圧に覆われて、晴れの日が多かった。中頃は、冬型の気圧配置となる日があり、15日に、盛岡で初雪を観測した（平年より7日遅い）。

下旬：この期間、前線が短い周期で通過し、曇りや雨または雪となる日があった。その他の日は、高気圧に覆われて、晴れのところが多かった。28日から29日にかけて、一時的に冬型の気圧配置となり、29日に、盛岡で初積雪を観測した（平年より5日遅い）。

<12月>：記録的な多雨・下旬の大雪・高温・寡照

上旬：低気圧が周期的に通過し、曇りや雨または雪の日が多かった。3日から4日にかけては、発達した低気圧が北日本を通過した影響により、沿岸南部を中心に、大荒れの天気となった。

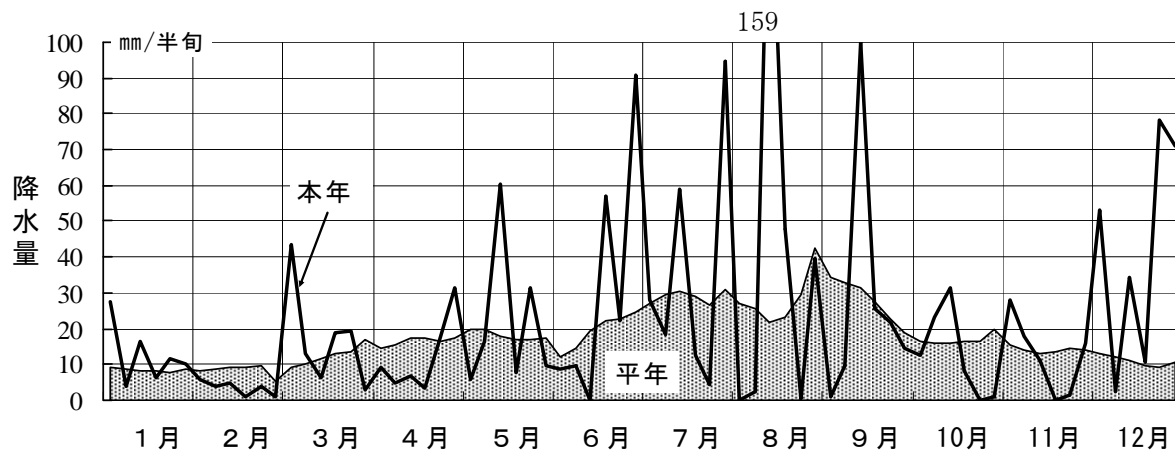
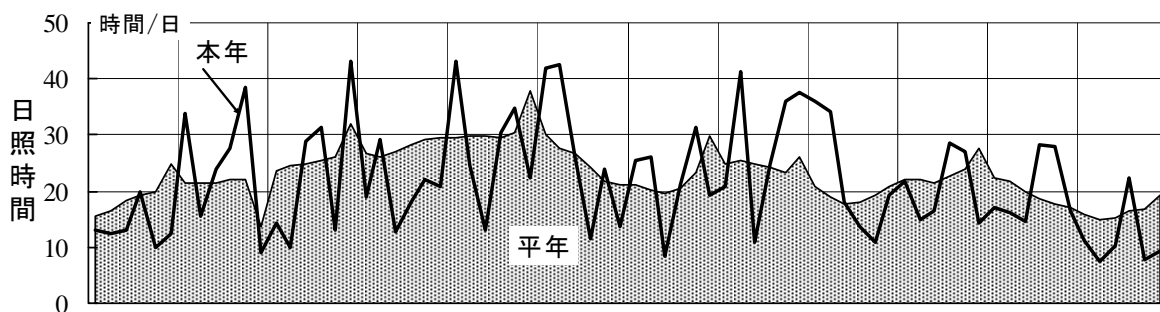
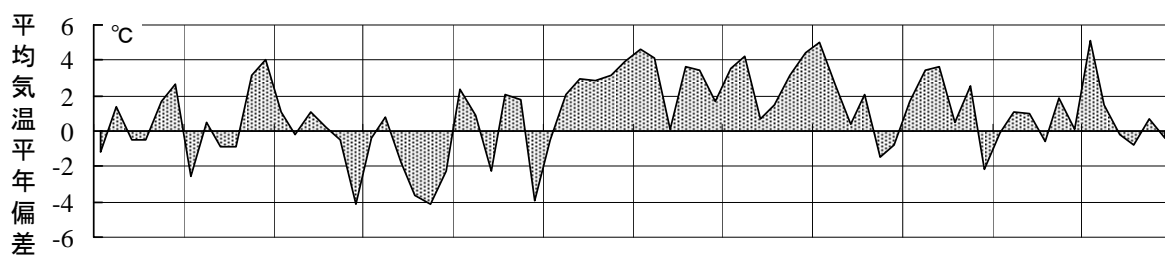
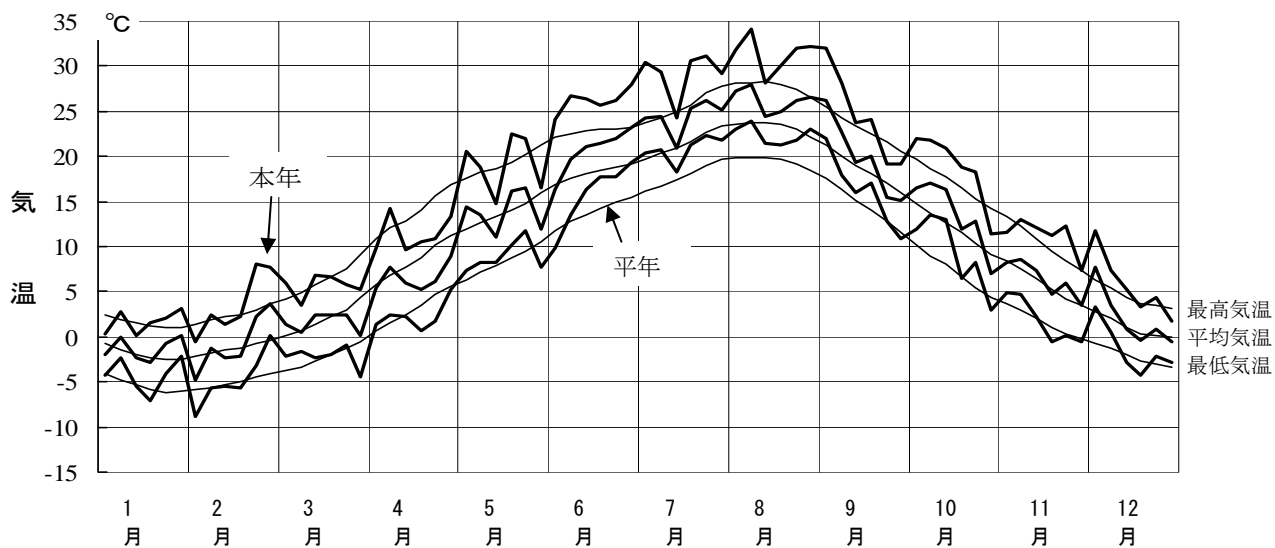
中旬：低気圧や前線が短い周期で通過し、曇りや雪または雨の日が多かった。13日から14日にかけては、低気圧が三陸沖を北上し、その後は、強い寒気が流れ込み、山沿いで大雪となる場所があった。

下旬：低気圧や気圧の谷、冬型の気圧配置の影響で、曇りや雪または雨の日が多かった。22日から23日にかけては、低気圧が発達しながら三陸沖を北上した影響により、県内は大荒れの天気となった。また、31日は低気圧の影響で、大雨や大雪となった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2010年の気象経過 [旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	5月2日	5月4日	5月15日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年	昨 年
梅雨入り	6月16日頃	6月12日頃	6月4日頃
梅雨明け	7月18日頃	7月27日頃	特定しない

(4) 気象官署（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温

気象官署	月	記録(℃)	備 考
大船渡	4	7.1	低い方から2番目
盛 岡	6	20.6	高い方から1番目
大船渡	6	19.0	高い方から5番目
盛 岡	7	24.4	高い方から3番目
大船渡	7	23.8	高い方から1番目
盛 岡	8	26.2	高い方から1番目
宮 古	8	24.9	高い方から3番目
大船渡	8	25.5	高い方から3番目
盛 岡	10	13.4	高い方から4番目
大船渡	12	4.8	高い方から5番目

イ 日最高気温

気象官署	月 日	記録(℃)	備 考
盛 岡	2月6日	-5.3	低い方から5番目
宮 古	2月6日	-3.7	低い方から2番目
大船渡	2月6日	-3.6	低い方から4番目
盛 岡	2月25日	13.8	高い方から2番目
宮 古	2月25日	20.6	高い方から2番目
盛 岡	6月26日	33.1	高い方から3番目
大船渡	6月26日	33.4	高い方から1番目
盛 岡	9月1日	33.8	高い方から1番目
盛 岡	9月2日	32.7	高い方から4番目
大船渡	9月3日	33.1	高い方から3番目
盛 岡	9月6日	33.0	高い方から2番目
盛 岡	9月23日	14.4	低い方から5番目
大船渡	9月23日	15.5	低い方から4番目
盛 岡	10月28日	5.2	低い方から2番目
宮 古	10月28日	8.1	低い方から2番目
大船渡	10月28日	10.0	低い方から4番目
大船渡	12月6日	17.7	高い方から4番目

ウ 日最低気温

気象官署	月 日	記録(℃)	備 考
大船渡	6月27日	20.4	高い方から5番目
盛岡	6月28日	20.8	高い方から4番目
盛岡	7月23日	24.9	高い方から1番目
盛岡	9月1日	23.4	高い方から5番目
盛岡	9月2日	23.9	高い方から2番目
大船渡	9月2日	23.4	高い方から5番目
盛岡	9月3日	23.9	高い方から1番目
大船渡	9月26日	7.1	低い方から3番目
盛岡	12月6日	8.3	高い方から5番目

エ 月間日照時間

気象官署	月	記録(時間)	備 考
盛岡	1	80.6	少ない方から3番目
大船渡	3	121.0	少ない方から2番目
盛岡	4	121.6	少ない方から1番目
宮古	4	129.3	少ない方から1番目
大船渡	4	112.8	少ない方から1番目
大船渡	10	104.0	少ない方から3番目
盛岡	12	69.0	少ない方から1番目
大船渡	12	109.8	少ない方から2番目

オ 月間降水量

気象官署	月	記録(mm)	備 考
大船渡	4	265.0	多い方から3番目
盛岡	12	250.0	多い方から1番目
宮古	12	439.0	多い方から1番目
大船渡	12	315.0	多い方から1番目

カ 日降水量

気象官署	月 日	記録(mm)	備 考
大船渡	4月28日	115.0	多い方から5番目
大船渡	5月24日	118.0	多い方から3番目
盛岡	12月3日	49.0	多い方から3番目
大船渡	12月3日	76.0	多い方から5番目
宮古	12月22日	158.5	多い方から2番目
大船渡	12月22日	147.0	多い方から1番目
盛岡	12月31日	56.0	多い方から2番目
宮古	12月31日	129.0	多い方から4番目

キ 降雪の深さの合計

気象官署	月	記録(cm)	備 考
盛岡	3	75	深い方から5番目
宮古	3	70	深い方から4番目
大船渡	3	36	深い方から2番目
盛岡	12	111	深い方から4番目
大船渡	12	20	深い方から3番目

II 農林水産物の生育状況

1 水稲（作況指数は「104」、1等米比率は89.3%）

活着は概ね良好であったが、5月第6半旬の低温で、初期生育が停滞したことにより、茎数は少なく推移した。6月以降は、好天で経過したことから、生育は回復し、草丈は長くなった。

穂数は、平年より少ないものの、一穂粒数は多く、総粒数は、平年よりやや多くなった。

8月以降の高温により、高温障害による登熟不良が心配されたが、対策の徹底等により、登熟は順調に経過し、作況指数は、平年並みの「104」となった。

品質においては、うるち米の1等米比率は89.3%（平成23年1月末日現在）。主な落等理由は、着色粒（カメムシ類）であった。

（1）育苗期（播種盛期は平年並みの4月15日、苗質は概ね良好）

県全体の播種作業は、平年並みに行われた。育苗期の気温は、前半低く、後半高い。日照時間は、やや短い。苗は、やや徒長気味ではあるが、概ね順調に生育し、苗質は、概ね良好であった。

（2）移植期～活着期（移植盛期は平年より3日遅く5月18日、活着は概ね良好）

県全体の移植作業は、平年より3日遅い。移植後は、好天に恵まれ、活着は概ね良好であったが、低温、寡照となった沿岸と県北部で、植え傷みが見られた。

（3）分けつ期（初期分けつの遅れで茎数少）

5月第6半旬の低温・寡照で、初期生育は停滞した。このため、茎数は少なく推移し、6月下旬までは、生育量もやや少なめに経過した。

6月から7月は、高温で経過し、草丈は長く、生育は旺盛となった。7月9日に、各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査（24カ所、延べ40品種）の結果、草丈は、平年より長く（平年差12cm）、茎数は、やや少なく（平年比81%）、葉数は、ほぼ平年並み（平年差+0.2枚）となった。

（4）本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重少・窒素吸収量少）

3月から4月の降雨は、平年より多く、気温が低かったことから乾土効果は少なく、6月までの土壌中のアンモニア態窒素濃度は、全般に平年並みであった。稲体窒素濃度は、平年並み～やや高め、乾物重は、平年を下回って推移した。7月に入って、生育量が急速に確保され、幼穂形成期までに土壌窒素は吸収され、葉色が低下してくる圃場が多く、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」、「いわてっこは」、基準量1～2kg/10aを上限に、また、「どんぴしゃり」については、幼穂形成期に2kg/10aを積極的に追肥するよう指導した。光合成能力を持続することの出来る追肥は、高温登熟対策としても有効であった。

（5）幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は平年より4日早い8月3日）

幼穂形成期は、県全体で平年並みの7月11日、減数分裂期は、平年並みの7月23日、出穂期は、平年より4日早い8月3日となった。猛暑となったことから、出穂・開花は、概ね順調であった。

（6）登熟期～成熟期（史上まれに見る猛暑）

登熟は、全般に良好であったため、登熟の進みは早く、成熟期は、平年に比べ11日早い。

稈長は、平年に比べ5cm長く、倒伏が目立つ。倒伏は、湾曲型に倒伏したものが多く、挫折型倒伏に至るものも見られた。高温登熟対策として、間断灌漑や掛け流しによる積極的な水の入れ替え、適期での落水、適期刈取りについて指導を行った。

（7）刈取り期（刈取り盛期は平年より4日早い9月30日）

収穫期は、雨天が多く、作業は遅れ気味で進行したが、刈取り盛期は、平年より4日早まった。

(8) 収量（作況指数104）

穂数は、平年より少なく、一穂粒数は平年より多く、1㎡当たりの粒数は、平年よりやや多くなった。また、登熟期は、高温・多照で経過したので、玄米の充実は良く、登熟歩合は、平年並みであるが、屑米重歩合は低く、千粒重は平年並であった。

これらにより、作況指数は、県全体で「104」のやや良となった。

(9) 品質（1等米比率89.3%。落等原因1位は斑点米カメムシ）

平成23年1月末現在、うるち米の1等米比率は89.3%で、2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒（カメムシ類）」が71.5%、「形質（その他）」が7.1%、「着色（その他）」が6.0%などで、カメムシによる着色粒が落等の主な原因となった。

品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」が91.7%、「どんぴしゃり」が76.4%、「あきたこまち」が86.0%、「いわてっこ」が85.7%となった。

(10) 主要病害虫の発生（カメムシ類並（斑点米やや多）、葉いもち・穂いもち少）

葉いもちの全般発生開始期は、平年より4日程度早い6月29日、発生量は、全県的に少発生となり、出穂期の上位葉における発生や穂いもちの発生量も、平年より少なかった。

カメムシ類は、8月上旬の発生圃場率は平年に比べ低く、8月下旬の発生圃場率は、平年に比べ高かった。収穫期（9月中～下旬）までの本田の発生は、平年並であるが、全県の斑点米の発生は、平年よりやや多かった。

(11) 作付け動向（各普及センター調べを基にした推定値）

ア うるち

「ひとめぼれ」と「あきたこまち」で、作付面積の8割強を占めた。

品種別の作付面積は、「あきたこまち」、「いわてっこ」、「どんぴしゃり」及び「ササニシキ」が増加、「ひとめぼれ」と「かけはし」が減少した。

【表1 うるち米の作付け動向】

品 種 名	22年産		前年との比較	
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	対前年差 (ha)	対前年比 (%)
ひとめぼれ	37,162	64.6	▲ 728	98.0
あきたこまち	10,007	18.1	201	102.0
いわてっこ	3,692	6.8	143	103.9
どんぴしゃり	1,220	2.2	21	101.7
かけはし	700	1.1	▲ 80	88.6
ササニシキ	309	0.6	29	109.5

イ もち

「ヒメノモチ」、「もち美人」とともに、作付面積は増加した。

【表2 もち米の作付け動向】

品 種 名	22年産		前年との比較	
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	対前年差 (ha)	対前年比 (%)
ヒメノモチ	2256	4.0	84	103.9
もち美人	451	0.8	109	131.9

ウ うるち（醸造用）

品種別の作付面積は、「吟ぎんが」が増加、「ぎんおとめ」が減少した。

【表3 うるち（醸造用）米の作付け動向】

品 種 名	22年産		前年との比較	
	作付面積 (ha)	作付割合 (%)	対前年差 (ha)	対前年比 (%)
吟ぎんが	128	0.2	26	125.6
ぎんおとめ	37	0.1	▲ 4	90.5

2 畑作物

(1) 小麦

ア 22年産小麦（21年播種）

① 越冬前

播種は、概ね適期に行われ、出芽・苗立ちも良く、越冬前の生育は良好であった。

② 越冬後

根雪期間は、北上市で75日（平年よりも5日短い）、軽米町で52日（平年よりも22日短い）となった。県北部は、根雪期間が短かったため、雪腐れ病や寒雪害の発生が少なかったが、県中南部では、根雪期間が平年よりやや短かったものの、12月中旬から1月中旬の低温等の影響で、雪腐れ病の発生は、比較的多かった。

③ 生育期

融雪後の3月から4月下旬まで、低温と著しい日照不足が続き、生育の遅延が生じた。このため、茎立ちが遅れ茎数の増加が緩慢であった。

④ 出穂～収穫

出穂・開花は平年より遅れたものの、6月が記録的な高温となり、登熟が急速に進んだ。穂数が平年並みからやや少なく、登熟日数が短縮し、粒の充実が劣ったことから、10a当たりの収穫量は、県平均で168kgと減収した。

⑤ 病害の発生

萎縮病類の発生圃場率は、平年よりやや低いものの、発生が見られる圃場での発病程度は高かった。また、追肥による生育の回復も、春先の低温の影響で遅れた。赤さび病、赤かび病の発生がやや多く、「ネバリゴシ」では、うどんこ病の発生がみられた。

【表1 小麦の品種別検査成績（平成23年1月末日現在）】

品種名	区分	22年産	品種名	区分	22年産		
ナンブコムギ	検査数量 (t)	3,496	ゆきちから	検査数量 (t)	2,158		
	等級 比率 (%)	1等		79.5	等級 比率 (%)	1等	90.4
		2等		19.1		2等	7.7
		規格外		1.5		規格外	1.9

イ 23年産麦（22年播種）

概ね適期に播種が行われ、出芽・苗立ちも良く、越冬前の生育は順調であった。

(2) 大豆

ア 播種～開花期

播種作業は平年並みに行われ、出芽は概ね良好であった。

6月から7月を通して、気温が高く経過したことから、開花が早まった。栄養生長期が短くなった影響で、主茎長が平年より短くなったところが多い。主茎長が短くなったことから、生育量は、平年を下回ったところが多かった。

イ 開花～収穫期

開花期以降も記録的な高温、少雨となり、着莢数の低下や百粒重の低下につながった。

県南部の生育量の多かった圃場では、高温、乾燥のストレスにより、8月終わりから早期落葉・立枯れ症状が散見され、早期に登熟が止まり、低収となった。

収穫は10月中旬頃から始まり、断続的な降雨の合間をみて、刈取りが進められた。

ウ 病虫害

虫害については、食葉性害虫の発生が全域でみられたが、被害程度は、例年とほぼ同程度となった。一部に、コガネムシ類による被害程度が高い圃場が散見された。

病害については、紫斑病の発生が、平年よりやや多かった。また、早期落葉・立枯れ症状が広く確認された奥州地域では、黒根腐病の発生も確認された。

エ 収量及び品質

収量は、高温・乾燥の影響による着莢数の減少と粒重の低下により、平年を下回り、農業研究センター（北上市）作況圃場で「スズカリ」が28.0kg/a(平年比79)、「ナンブシロメ」で22.5kg/a(平年比73)、百粒重では、「スズカリ」、「ナンブシロメ」ともに平年の9割程度となった。品質についても、紫斑粒やしわ粒、腐敗粒の発生により、平年を下回った。

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型の定植は、例年並の5月下旬から行われた。この時期が、低温や曇雨天経過となったため、全般に活着が進まず、初期の生育が遅れたが、6月以降が好天となり、全般に生育が進み、7月上旬には、例年並みの収量にまで回復した。

こうした、気温が高く日照量も多い気象状況は、9月上旬まで継続した。このため、7月下旬頃には、旺盛な生育のため、整枝や追肥、薬剤散布作業が間に合わない圃場が増加したが、8月に入ると、成り疲れや土壌乾燥の影響による草勢低下に加え、褐斑病や、ホモプシス根腐病などの病害の発生により、9月上旬までに枯れ上がって栽培を終了する圃場も多くみられた。

収量では、8月までの収量は例年よりも多かったが、9月以降の収量が減少し、最終的には平年並みの収量となった。

なお、こうした気象経過でも、かん水設備を備えた圃場では、草勢を維持することができ、秋季の気温が比較的高く推移したことから、10月まで継続して収穫が行われた。

(2) トマト

雨よけ普通作型の定植は、例年並みの3月末から行われたが、育苗期間中の低温経過により、苗の生育が遅れたため、全般に定植作業のピークは、1週間程度遅れた。その後も4月が低温経過となったことから、根張りが弱く、草丈が伸びないなど生育が進まず、収穫開始時期が、例年よりも1週間程度遅れた。また、収穫始めの果実は、アミ果や裂果などの障害果の発生が目立ち、収量の低下要因となった。

6月から9月上旬まで、気温が高く経過したことにより、7月頃から落花がみられたほか、着色が進み小玉傾向となったため、8月以降の収量が減少した。特に、着色不良果や裂果が増加した9月以降の収量が、著しく減少し、最終的な収量は、例年の8割程度となった。

なお、こうした気象経過でも、6月に定植する作型では草勢が良好に保たれ、落花や障害果の発生が少なく、8月以降の収量を確保できた。

(3) ピーマン

雨よけ普通作型の定植は、例年並の4月上旬から行われた。4月が低温経過となったことから、全般に活着が進まず、初期の生育が遅れたものの、6月以降が好天となったため、6月後半には例年並みの生育に回復した。さらに、6月から9月上旬まで気温が高く経過したことにより、尻ぐされ果や日焼け果の発生が多かったほか、タバコガ類の多発、成り疲

れによる草勢低下が顕著だったことから、収量が伸び悩んだ圃場が多かった。

露地普通作型の定植は、例年並みの5月下旬から行われた。6月以降が好天となったため、急激な肥効や土壌乾燥が影響し、収穫初期から尻ぐされ果の発生が目立ったほか、雨よけ普通作型同様にタバコガ類が多発した。しかし、着果数は、例年よりも多く、総じて収量が増加した圃場が多かった。

なお、こうした気象経過でも、施設栽培において、遮光資材の活用や適切な土壌水分管理を実施した圃場、露地栽培において、かん水設備を備えた圃場では、尻ぐされ果や赤果の発生が少なく、草勢も維持することができ、収量の大幅な増加に繋がった。

(4) ほうれんそう

3月の降雪による圃場準備の遅れや春先の低温などにより、4月から5月の生育は、若干遅れ気味であったものの、全般的にほぼ順調であった。4月下旬頃から、ケナガコナダニの発生が各地で見られ始めた。

6月は、内陸部では、乾燥による生育停滞、沿岸部では、低温による生育の遅れが見られた。ケナガコナダニの発生が、各地で拡大した。

7月は、天候が不順で降水量も多く、一部では、雨水がハウス内に流入するなどして、生育不良や立枯症状が見られた。また、高温による萎ちょう病等土壌病害の発生が増加し、土壌消毒を実施しないハウスでは、9月中旬まで被害が見られた所もあった。沿岸部では、一部で白斑病の発生がみられ、9月から10月にかけて、内陸部の一部でも発生が確認された。

8月から9月は、記録的な猛暑に見舞われ、高温乾燥による枯死、発芽不良、生育遅延、生育停止が全般に多発し、8月の出荷量は激減した。また、シロオビノメイガが、例年になく多発し、9月中旬をピークに、各地で被害が多く見られた。

10月以降は、天候が安定したため、生育は概ね順調で、出荷量は、平年並みに回復した。

(5) ねぎ

春先の低温や天候不順のため、圃場準備が遅れ、定植は、概ね5月以降となった。

定植後は、低温や乾燥の影響により、生育がやや停滞気味で、葉先枯れも一部で見られたが、その後の降雨により、乾燥状態は解消され、生育は回復傾向となった。

6月下旬からの多雨により、圃場条件が悪くなり、土寄せが遅れるとともに、べと病等の病害による被害が増加した。

7月下旬以降の猛暑の影響から、やや細めの生育となり、生育停滞も見られるとともに、軟腐病等の病害やネギアザミウマ等の害虫の発生が増加傾向となった。

収穫が本格化したのは、9月中旬以降と遅かったが、秋の気温低下が遅く、収穫期間も晩秋まで続いた。

(6) キャベツ

県北部では、4月中旬から定植が開始されたが、直後の降霜により、生育は遅れ気味となった。その後も天候不順のため、圃場準備が遅れ、定植の本格化は、5月以降となった。

6月は、干ばつ傾向で生育が緩慢となった。7月には、降雹により、葉の損傷が見られたほか、局所的な集中豪雨による冠水・土砂流入により、収穫不能となった。また、湿害による結球不良や小玉傾向のものが多く見られた。

8月は、これまでの湿害の影響による生育不良のほか、高温による根こぶ病や株腐病等腐敗性病害の発生も多く見られ、収量の低下につながった。

9月以降も湿害による収量低下の影響は続き、不安定な出荷となった。

(7) レタス

県中部の春レタスは、天候不順による圃場準備の遅れや低温、乾燥の影響から生育が遅れ、収穫開始は、平年より遅く、5月下旬から始まり6月中旬まで続いたが、全般に小玉傾向であった。

県北部の定植は、平年よりやや遅れて4月下旬から開始され、収穫も平年より遅れて、6月上旬から開始された。6月には乾燥による小玉傾向、7月から8月は、継続した降雨と高温の影響で生育不良となったが、8月下旬から9月中旬までは、比較的安定した出荷となった。

例年春先に発生が多いナモグリバエの被害は、6月から8月まで見られ、オオタバコガは、高温の影響もあり、9月下旬まで被害が見られた。降水量が多くなった7月以降には、腐敗性病害の発生が多くなり、9月中旬まで被害が継続した。

(8) だいこん

高冷地での播種作業は、低温のためやや遅れたものの、5月中旬には開始され、その後順次播種が継続された。一部で、7月上旬の降雹の影響により、茎葉を損傷した圃場があった。

8月以降、高温の影響により、根の肥大遅れや乱形が見られた。キスジノミハムシの被害は、8月以降9月中旬まで見られ、多発傾向であった。

4 花き

(1) りんどう

ア 生育始期

気温は、3月下旬から4月にかけて、平年に比べ低く推移したことにより、萌芽・展葉期は、平年より1週間程度遅れた。

イ 生育期

5月前半の好天と6月以降の高温気象及び断続的な降水の影響により、生育は、回復傾向に転じた。生育初期の遅れを挽回し、平年並みに追いつく地域もみられたが、地域による格差があり、6月下旬の時点で、平年並みから7日遅れ程度の生育となった。

一方で、急激な生育の回復に伴い、徒長ぎみの生育となり、葉先枯れや茎の曲がりが多くみられた。

ウ 開花期

7月以降9月上旬まで、気温はさらに高く推移したため、高温障害が発生し、8月中旬の旧盆需要期には、1週間程度、9月下旬の彼岸需要期には、10日から2週間程度、開花が遅れた。その結果、盆需要期までの出荷量は、前年対比約7割となった。

生育量では、8月咲きの早生種は、やや低めの草丈となったが、9月咲きの晩生種は、8月下旬を除き、十分に降水量が確保されたことと、栄養生長期間が長くなったことから、平年を大きく上回る草丈となった。

エ 病害虫

病害の発生は、総体的に平年並みとなり、特に大きな被害をもたらした病害の発生はなかった。生育前半の葉枯病、褐斑病の発生は、低く抑えられていたが、夏期以降、増加傾向となった。花腐菌核病は、高温の影響により発生が遅れ、かつ、発生量も少なかった。

害虫では、高温ではあったが、平年に比べ、ハダニ類、アザミウマ類はやや少なめの発生傾向だった。リンドウホソハマキの越冬世代の発生は、ほぼ平年並みだったが、その後増加傾向となり、盛夏過ぎには、子房や茎、定植年の株への侵入が多く発生した。

(2) 小ぎく

ア 育苗・定植期

2月以降、気温がやや高めから平年並みで推移したことにより、母株の伸長は順調に経過した。

挿し芽後の育苗期は、3月下旬の低温遭遇により、発根の遅れがみられ、育苗期間は例年よりやや長めとなった。

定植時期は、挿し穂の生育遅れ、天候不順による圃場準備の遅れ、4月下旬の降霜により、平年より数日～10日遅れる結果となった。

イ 生育期

春先の低温や根の活着不良等により、初期生育が遅れたため、8月咲品種はやや草丈不足の傾向となったが、9月咲品種は概ね平年並みの草丈が確保された。

ウ 開花期

りんどうと同様に、春先の低温による生育の遅れと、7月以降の高温の影響により、開花が遅れる状況となった。特に、彼岸向けの作型で、開花が大きく遅れた。旧盆出荷の8月咲きで1週間程度、彼岸出荷の9月咲きで、10日から2週間の開花遅れとなり、盆需要期までの出荷量が減少した。

エ 病害虫

白さび病等の病害の発生は、少なめに推移したが、半身萎凋病などの土壌病害による立ち枯れ症状の発生がみられた。

ハダニ類等の害虫では、全般的に平年並みの推移となったが、8月中旬以降、例年にはみられないオオタバコガが、全域で大量発生したため、防除に苦慮し、9月咲き品種に大きな被害をもたらした。

5 果樹

(1) りんご

ア 花芽の状況

花芽率（県平均）は、各品種とも平年よりやや高いものの、前年や一昨年よりは、やや低い状況となった。しかし、例年以上に地域間の差が大きく、その傾向は「ふじ」で顕著であった。弱小花芽率（県平均）は、平年と比較し、「つがる」、「ふじ」はやや高め、「ジョナゴールド」はやや低めであり、特に、県中部及び県南部山間地帯で、弱小花芽率が高い傾向であった。

イ 発芽～展葉期

今冬は、概ね暖冬傾向の気象経過となったが、3月末に寒気が入り、4月上旬は気温が平年並みに推移したため、発芽期は、概ね平年並みとなった。

展葉期は、4月中下旬の低温により、平年より5日遅くなった。また、4月中旬の気温が高めに推移した昨年と比較すると、10日遅くなった。

3月28日から30日にかけての寒気の影響により、地域によっては氷点下10℃まで気温が低下し、樹に対する凍寒害が懸念されたが、被害は認められなかった。

ウ 開花期及び結実の状況

5月上旬は、気温が高めに推移したが、4月までの低温の影響により、開花は平年より6日程度、昨年より10日程度遅くなった。地域別にみると、県南部では、5月上旬の気温が高めであったため、やや早く開花始めを迎えたが、中旬の気温が低く推移したため、開花期間が長くなった。一方、県北部は、中旬の寒気の影響で開花が遅くなり、その後、気温が高めに推移したため、一気に咲き揃い、開花期間が短くなった。

結実状況を県平均の「ふじ」の結実率でみると、花数結実率は、やや低いものの、花そう、中心花のいずれにおいても、結実率は、平年より高くなった。

地域別でみると、県南部と県北部の一部地域で、花数と中心花結実率が低めとなった。これらの地域では、5月上旬の高めの気温により、開花始めが早かった地域であり、開花直後の5月中旬に気温が低く推移したことが、結実率低下の要因と考えられる。その他の品種で、「つがる」、「ジョナゴールド」は、ほぼ平年並みの結実率となった。

なお、5月31日に、県内の高標高地域で降霜が確認されたが、影響は認められなかった。

エ 果実肥大

生育初期の果実肥大は、開花期が遅れた影響で、横径が平年比 55～60%（6月1日時点）と非常に小さめのスタートとなった。6月以降は、気温が高く推移したため、7月下旬時点では、平年比 95%（7月21日時点）まで回復し、最終的には、いずれの品種も、やや小玉から平年並みの大きさで収穫期を迎えた。

なお、生育期の雹害については、6月5日及び7月8日に、一部地域で散発的に降雹を確認し、果実に被害が発生した。

さらに、高温の影響により、日焼け果の発生が多くみられた。

オ 収穫期および果実品質

「つがる」の果実品質は、硬度は平年より高め、糖度、デンプンの消失は平年並みで経過した。これは、開花が遅れたため硬度は維持されながらも、夏期の高温により糖度はやや高く、デンプンの消失は早まったためと考えられる。一方、猛暑の影響により、着色は遅れ、内部先行型となった。また、着色の遅れにより、収穫作業も遅れる傾向がみられた。収穫は、9月第2半旬頃から始まり、9月末まで行われた。収穫盛期は、9月第4半旬であった。

「ジョナゴールド」の果実品質は、硬度は平年より高め、糖度、デンプンの消失は、平年並みで経過し、「つがる」と同様であった。なお、「ジョナゴールド」では、収穫作業が遅れたことにより、ワックスの発生果がみられた。収穫は、9月中下旬となった。

「ふじ」の果実品質は、硬度は平年より高め、糖度、でんぷんの消失は平年並であったが、蜜入りが全体的に少なかった。着色は、平年よりやや劣るものの、早生、中生品種のような着色の遅れは見られず、収穫期も平年並みの11月中下旬となった。

また、いずれの品種も猛暑の影響により、収穫前落果が目立った。「つがる」などの例年収穫前落果がみられる品種では、早い時期から落果が認められるとともに、例年収穫前落果がみられない品種でも発生が認められた。

なお、収穫期の強風害では、11月3日及び9日から12日にかけて、低気圧による強風があったが、一部の地域を除き、落果による大きな被害は認められなかった。

カ 病害虫

病害は、8月以降から黒点病、炭そ病、輪紋病などの果実病斑が散見され始め、収穫期には収量に影響するほどの発生となった。

虫害については、高温により、多発が懸念されたハダニ類は、新規殺ダニ剤が使用されたことにより、平年並からやや少なめの発生であった。一方、カメムシは、例年よりやや多く、果実に被害が認められた。

キ 作柄評価

全農岩手県本部の取扱実績（平成22年12月末時点）は、数量で、前年対比67%と減収であり、全生産量でも前年を2～3割下回った。これは、開花が遅れたことによる小玉果、高温多雨による病害虫果の発生、高温による日焼け果の発生や収穫前落果の多発、着色不良のため収穫が遅れたことによる過熟果の発生などが原因と推察される。

(2) ぶどう（キャンベルアーリー）

ア 発芽期～展葉期

4月中旬以降の低温により、紫波町赤沢の定点調査地点で、発芽期は平年と比較して2日程度遅くなった。展葉期も同様に、平年より5日程度遅くなった。

3月28日から30日にかけての寒気の影響により、地域によっては氷点下10℃まで気温が低下し、樹に対する凍寒害が懸念されたが、被害は認められなかった。

イ 開花期～結実期

5月は、不安定な天候であったが、6月以降は高温で推移したため、定点観測地点の満開期は、平年より2日早まるまで回復した。結実率は、平年をやや下回った。これは、6月の開花期間中における新梢の伸長が旺盛になったことにより、花震いが発生したと考えられる。

ウ 新梢伸長期

新梢生育は、発芽・展葉の遅れから、5月25日の調査開始時点では、平年の90%、前年の50%という遅いスタートであったが、6月以降の高温により、10日で平年並まで回復した。

果粒肥大は、気温が高く推移したこと、生育期に定期的に降雨があったことにより、収穫時には、ほぼ平年並みの肥大となった。

エ 収穫期

高温の影響により、8月上旬時点で、果実の着色始は平年より遅く、着色の進みも緩慢だったものの、糖度上昇は例年より早く、収穫期も早まった。

収穫期の果実品質は、やや小さな房であったが、糖度は、平年よりやや高くなった。

また、8月下旬から9月上旬は降雨が少なく、裂果は、平年より少なめであった。

オ 病害虫

病害虫の発生は、全体的に少なかったが、地域や品種によって、灰色かび病の発生が見られた。

カ 作柄評価

生産量は、系統取り扱いの出荷販売実績から、前年比85%の数量となった。4月中旬以降の低温により、生育が遅れ、房が小さかったこと、その後の高温により、新梢伸長が旺盛になり、花震いが発生したことが原因と考えられる。

6 飼料作物

(1) 牧草

ア 1番草

4月の低温・日照不足・消雪遅れにより、生育はやや不良となったが、6月上旬の連続した好天により、適期作業が順調に進み、品質は良好となった。収量は平年並からやや少なめであった。

イ 2番草

1番草刈取り後の高温により、平年並みの生育で推移し、7月中旬から収穫が始まったが、7月下旬に降雨が多く、収穫が出来なかったことから、8月上旬の作業は順調に進んだものの、刈遅れとなり、品質は低下した。収量は平年並であった。

ウ 3番草

8月下旬から9月上旬の高温・少雨により、生育はやや不良となり、収量は平年並からやや少なめであった。

エ 草地更新

8月上旬から9月中旬の間に、簡易更新機による播種を行った圃場において、高温少雨の影響により、ほとんどの場所で発芽不良となった。

オ 局地的に生じた生育障害等

8月下旬に、奥州市並びに滝沢村の一部地域で、スジキリヨトウによるイネ科牧草の食害が発生した。また、2番草収穫時に、極端な低刈りをした圃場や南向斜面の圃場において、夏枯れが見られた。

(2) とうもろこし

ア 播種～生育・出穂期

4月の低温による消雪遅延、5月下旬の連続した降雨により、播種作業が遅れたが、その後の高温により、6月下旬には平年並みの生育となった。

6月以降の高温の影響で生育が進み、雄穂・絹糸の抽出は、県北部で9日、県央・県南部で、3日早まった。

8月上旬から9月上旬の高温少雨の影響により、生育不良となり、また、すす紋病が発生する圃場が散見された。

イ 収穫期

高温の影響で生育が進み、黄熟期到達が、7日から14日早まった。収穫適期の9月中旬に降雨が続き、収穫作業がやや遅れた。収量は、平年並からやや少なめであった。

ウ 局地的に生じた生育障害等

岩泉地域において、7月8日に、降雹による倒伏折損被害が生じた。被害が大きかった圃場では、緊急対策として、エン麦を7月下旬に播種することにより対応した。また、一戸町奥中山では、7月17日の局地的大雨により、表土が流亡する等の湿害が発生し、減収した。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

暖冬で経過したため、平年より早めの芽切りとなったものの、発生期の4月は、降水量と気温の変動が激しく、また、5月の連休中には急激な温度上昇となったことから、全般的に不作となった。

(2) まつたけ

発生初期である9月前半は、雨量が少なく、9月中旬からは低温、多雨に見舞われ、雨量の多かった内陸部は豊作傾向、発生期に雨が殆ど無かった沿岸部は不作傾向で、全県的には不作であった。

8 水産物

(1) わかめ (H22年産わかめ)

芽出し期にあたる平成21年9月から11月の水温が、平年より1～5℃低く推移し、栄養塩も十分に高い値であったことから、種苗の芽落ちなどは見られず良好な生育状況であった。

しかし、県北部の一部海域において、病虫害が発生したこと、2月下旬から4月中旬まで長い期間5℃以下の冷水が接岸したこと、さらには2月末のチリ地震津波により一部の漁場が被災したことから、生産量は大幅に減少した。

(2) こんぶ

種苗の沖出し時期である平成21年11月から12月の水温が、平年より1～3℃低く推移し、栄養塩も十分に高い値であったことから、種苗の生育は良好であった。

また、3月から5月の水温が、平年より1～4℃低く推移したことから、藻体の生育も良く、生産量は、大減産した前年よりも大幅に増大した。

(3) ほたてがい

生産量は、2月末のチリ地震津波により、一部漁協で大幅に減産しているが、他の漁協では、前年の減産（H20年夏の高水温による成員のへい死による減産）から回復し、全体ではほぼ前年並みの値であった。

平成22年産種苗は、7月から10月の水温が、例年より1～4℃高めに推移したことにより、一部地域でへい死が見られた。

(4) かき

2月末のチリ地震津波により、一部漁協で生産量が大幅に減少した。また、夏場の高水温による栄養塩減少に伴い、餌となるプランクトン生産量が減少したため身入りが悪く、例年に比べ大幅に減産する見込み。

Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

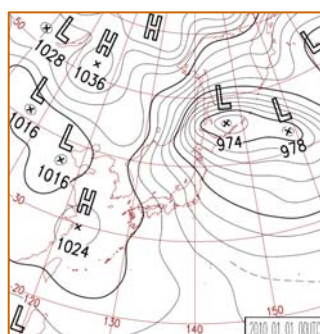
1 1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害

(1) 気象概況

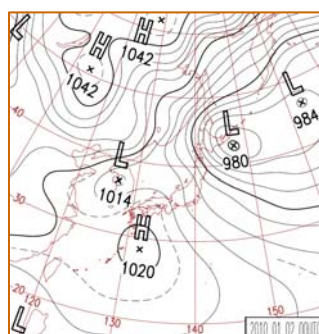
12月31日は、低気圧が発達しながら日本海から北海道を通過し、1月1日は、発達した低気圧が千島近海に進み、ほとんど停滞した。東北地方の上空約5,000メートルには、氷点下38度以下の強い寒気が南下し、日本付近は、冬型の気圧配置が強まった。2日は、低気圧が北海道の東海上に進み、引き続き、北日本は、冬型の気圧配置となった。

低気圧の影響により、県内は、雪を伴って強風となり、沿岸の海上では、暴風や大しけとなった。1月1日から2日にかけて、岩泉や住田など7地点の日最大風速が、1月として1位の値となった。また、内陸の山沿いを中心に、大雪となったところがあった。

強風により、沿岸を中心に、住家損壊や交通障害のほか、花巻市や住田町など4市町で農業施設等、山田町では漁船に被害が発生した。



地上天気図 1月1日9時



地上天気図 1月2日9時

【関連する注警報の発表状況:1月1日~2日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪
沿岸北部	暴風雪	波浪、高潮
沿岸南部	暴風雪	波浪、高潮

○1月1日~2日の観測値

主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速

単位:m/s

地点	起日	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向		地点	起日	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
久慈	2日	9.5	西	20.0	西南西	沢内	1日	8.6	西南西	17.9	西南西
奥中山	1日	11.3	西	23.4	西南西	花巻	1日	7.9	西	13.4	北北西
葛巻	2日	10.1	南南西	23.0	南南西	釜石	1日	11.7	西	26.4	西南西
岩泉	1日	12.3	西南西	23.3	西南西	若柳	2日	11.2	西北西	20.8	西北西
普代	1日	9.0	南南西	21.1	南西	江刺	2日	11.1	西北西	20.7	西北西
小本	1日	12.2	西	24.9	西	住田	2日	13.1	西北西	21.4	西北西
川井	2日	12.2	南西	35.3	南南西	千厩	2日	10.4	西	18.8	西北西
						大船渡	2日	11.4	北西	23.3	北西

注) 黄色の網がけは1月としての1位更新
(統計期間5年以上の要素)

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	29	ほうれんそうの被害0.01ha	洋野町
	農業施設	1,081	パイプハウスのビニール、パイプ破損等6棟、施設案内看板の破損1件	花巻市、住田町等4市町
水産業	漁船	100	動力船の船外機破損1隻	山田町
計		1,210		

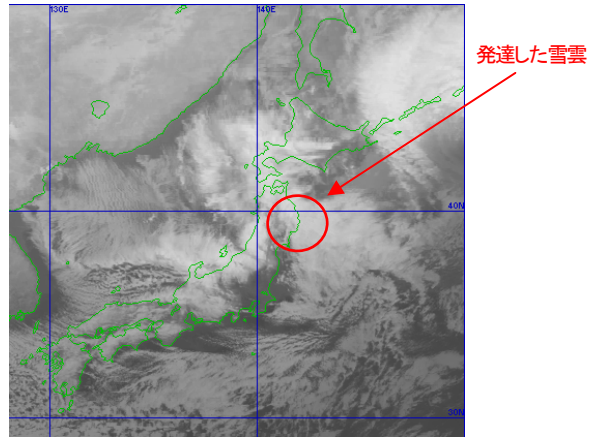
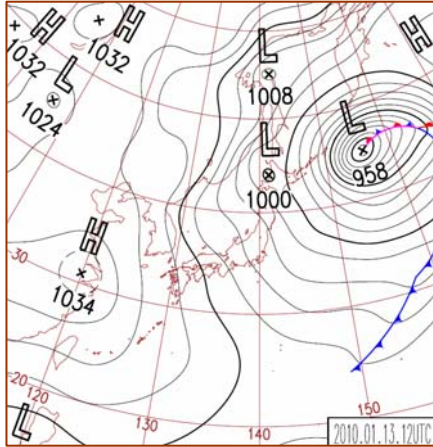
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

2 1月13日の大雪災害

(1) 気象概況

12日は、日本の東海上にのびる前線上に低気圧が発生し、三陸沖に進んだ。13日は、三陸沖の低気圧が発達しながら千島近海の東海上に進み、また、日本海中部の別の低気圧が東北地方を通過した。北日本の上空約5,000メートルには、氷点下42度以下の強い寒気が流れ込み、日本付近は、冬型の気圧配置が強まった。

この影響により、沿岸北部を中心に、大雪や雪を伴って強風となり、交通障害や久慈市と洋野町で農業施設に被害が発生した。



○13日の観測値

13日の降雪量 単位: cm

地点	降雪量	地点	降雪量
二戸	24	区界	16
久慈	20	宮古	18
奥中山	23	湯田	33
葛巻	20	遠野	17
岩手松尾	28	北上	11
岩泉	28	祭時	22
雫石	28	大船渡	0
盛岡	21	一関	1

【関連する注警報の発表状況:1月13日】

地域	警報	注意報
内陸	—	大雪、風雪、着雪
沿岸北部	大雪	風雪(強風)、着雪
沿岸南部	—	風雪(強風)

(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
農業 農業施設	17,760	繁殖豚舎と肥育豚舎の屋根損壊等3棟	久慈市、洋野町
計	17,760		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

3 2月28日の津波災害

(1) 気象概況

2月27日15時34分（日本時間）、チリ中部沿岸でマグニチュード（Mw^{注1}）8.8^{注2}の地震が発生した。この地震により津波が発生し、震源に近いチリの検潮所で2mを超える津波を観測するなど、太平洋沿岸諸国で津波を観測した。日本では、2月28日14時頃に、太平洋沿岸に津波が到達し、岩手県でも14時10分前後に、津波の第一波を観測した。この津波は、第一波到達から数時間後に最大の高さを観測し、3月1日早朝にかけて、1m近い津波が繰り返し押し寄せた。気象庁の現地調査では、海岸付近の建物に残された痕跡などから、岩手県内の高いところでは、約1～2mの高さの津波があったと推定された。

この地震と津波により、チリでは、死者528人以上の被害が発生した（2010年3月8日現在、被害は米国地質調査所による）。日本では、住家浸水、養殖施設の被害等が発生したが、人的被害はなかった（2010年3月10日現在、内閣府による）。

気象庁は、この地震に対して、太平洋沿岸を中心に、津波警報等を発表し、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県に「大津波」の津波警報を発表した。

注1：Mw（モーメントマグニチュード）断層のずれの規模（面積×ずれた量×岩石の硬さ）をもとにして計算したマグニチュード。

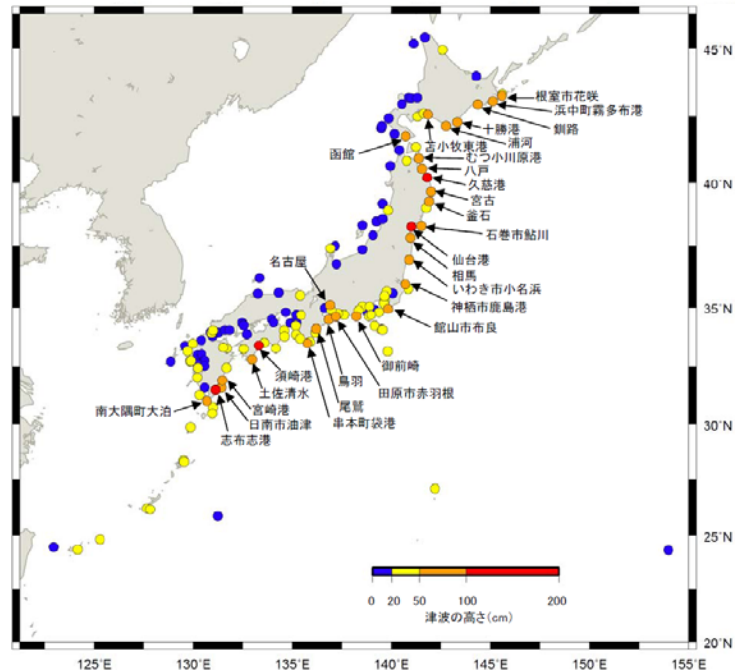
注2：気象庁による。

「岩手県」の津波警報、津波注意報発表状況

発表月日時分	内容
2月28日 9時33分	「大津波」の津波警報発表
2月28日 19時1分	「津波」の津波警報に切り替え
3月1日 1時7分	津波注意報に切り替え
3月1日 10時15分	津波注意報解除

現地調査による岩手県内の津波の高さ

調査地点	津波の高さ推定値 (m)
陸前高田市 両替漁港	1.9
〃 長部漁港	1.6
〃 矢の浦漁港	1.2
大槌町 大槌漁港白石地先	1.3



検潮所等で観測された津波の最大の高さ

観測値は気象庁による読み取り値（値は変更される場合がある）。
観測点には、内閣府、国土交通省港湾局、海上保安庁、国土地理院、愛知県、四日市港管理組合、兵庫県、宮崎県、日本コース工業株式会社の検潮所を含む

岩手県内の検潮所等で観測された津波の最大の高さ

津波情報 発表地点名	所属	最大の高さ	
		時刻	高さ (cm)
久慈港	国土交通省港湾局	2月28日 17時01分	120
宮古	気象庁	2月28日 18時25分	74
釜石	海上保安庁	2月28日 18時25分	56
大船渡	気象庁	2月28日 18時24分	42

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*	
水産業	水産施設	1,800	養殖施設の設置を示す浮標灯の破損8箇所	宮古市
	養殖施設	656,379	養殖施設の大破等3,489台	陸前高田市、大船渡市等6市町
	水産物	1,157,146	カキ殻付き3,391千個 カキ、ホタテむき身等3,208,382kg	陸前高田市、大船渡市等6市町
計	1,815,325			

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

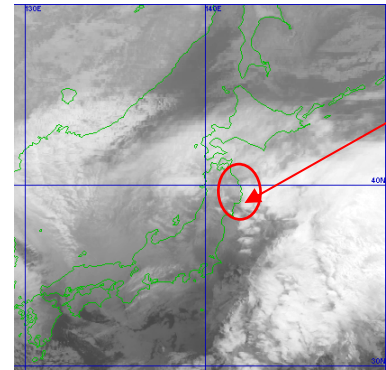
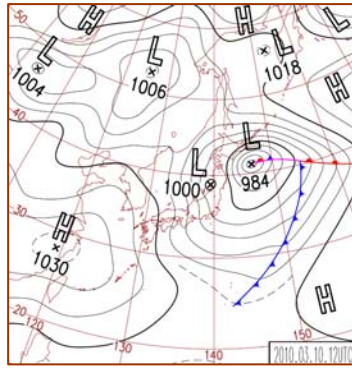
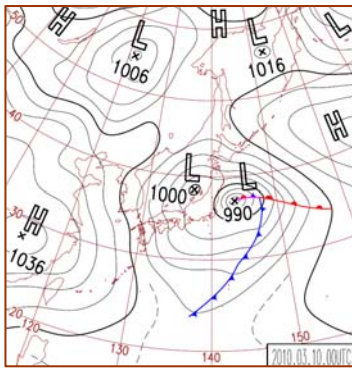
4 3月10日から11日にかけての大雪災害

(1) 気象概況

9日は、低気圧が本州南岸を東北東進し、関東沖に進んだ。10日は、関東沖の低気圧が、急速に発達しながら三陸沖を北東進し、別の低気圧が日本海を北東進し、日本付近に強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置となった。11日は、低気圧が北海道の東海上に進み、引き続き、北日本は、冬型の気圧配置となった。

低気圧の影響により、沿岸を中心に、大雪となり、久慈で10日の降雪量55cm、最深積雪57cmを観測した。降雪量と月最深積雪は3月として1位の値となった。

大雪により、沿岸北部を中心に、交通障害のほか、6市町村で、農業施設等に被害が発生した。



発達した雪雲

○10日の観測値

10日の最深積雪と降雪量(cm)

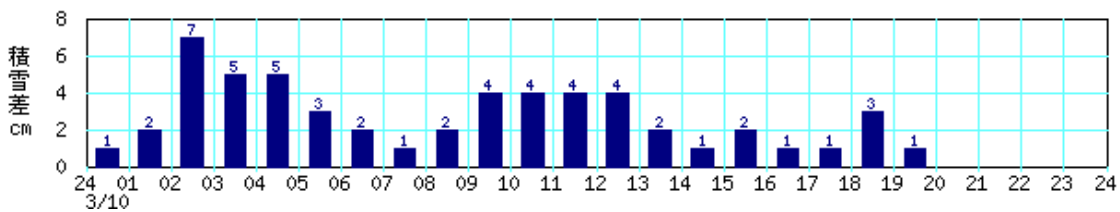
地点名	最深積雪	降雪量	地点名	最深積雪	降雪量
二戸	35	35	区界	52	10
久慈	57	55	宮古	42	35
奥中山	68	24	湯田	130	17
葛巻	18	18	遠野	9	11
岩手松尾	27	27	北上	10	10
岩泉	34	36	祭時	92	15
雫石	30	16	大船渡	18	11
盛岡	15	17	一関	14	6

注) 黄色の網がけは3月として1位の値を更新

【関連する注警報の発表状況:3月10日】

地域	警報	注意報
二戸地域	大雪	風雪、着雪
盛岡、花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雪、風雪、着雪
沿岸北部	大雪	風雪、着雪
釜石地域	大雪	風雪、着雪
大船渡地域	—	大雪、風雪、着雪

○久慈の時系列降雪量 1月9日24時~10日24時



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	529	こまつなの葉の損傷等 0.30ha	洋野町
	家畜等	276	鶏へい死 600羽	洋野町
	農業施設	72,867	鶏舎(パイプハウス)全壊等 50棟	洋野町、久慈市、野田村
林業	森林	200	アカマツ等幹折れ及び枝折れ 1箇所	野田村
水産業	漁船	900	動力船の船外機故障 3隻	山田町、宮古市
計		74,772		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

5 3月13日から14日にかけての強風災害

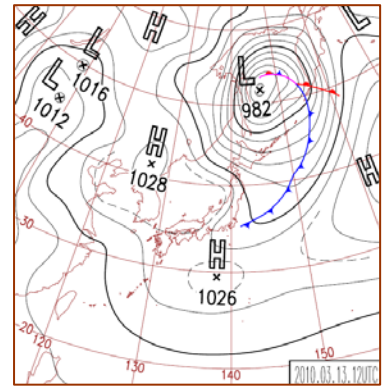
(1) 気象概況

13日は、沿海州の低気圧が、発達しながらサハリン沖に進み、この低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過した。その後14日にかけて、北日本は、冬型の気圧配置となった。

この影響により、内陸では、雪を伴って強風となったところがあり、奥州市と金ヶ崎町で、農業施設に被害が発生した。

【関連する注警報の発表状況:3月13～14日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪(強風)
沿岸北部	—	強風
沿岸南部	—	強風



地上天気図 3月13日21時

○13日～14日の観測値

13日～14日の日最大風速と日最大週間風速

奥州金ヶ崎地域

単位:m/s

日	地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
		風速	風向	風速	風向
13日	若柳	10.1	西	18.8	西北西
	江刺	7.7	西北西	14.1	西
14日	若柳	14.1	西北西	24.7	西北西
	江刺	12.6	北西	19.0	北北西

注)黄色の網がけは3月として1位の値を更新(統計期間5年以上の要素)

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域 [※]
農業	農業施設	739	パイプハウスのビニール破損34棟	奥州市、金ヶ崎町
計		739		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

6 3月21日の強風災害

(1) 気象概況

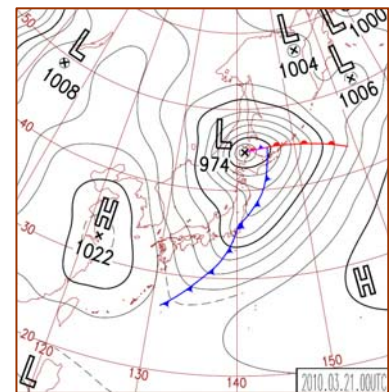
20日は、低気圧が前線を伴って日本海中部を北東進した。21日は、低気圧が発達しながら千島近海に進み、低気圧からのびる寒冷前線が本州付近を通過し、北日本は、冬型の気圧配置となった。

低気圧の影響により、県内は、雪を伴って強風、沿岸の海上では暴風となり、21日の日最大風速は、久慈や小本など4地点で、3月として1位の値を更新した(久慈は年としても1位の値を更新)。

強風により、住家損壊や交通障害のほか、盛岡市など13市町村で農業施設に被害が発生した。

【関連する注警報の発表状況:3月21日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪(強風)
沿岸北部	暴風	風雪(強風)
沿岸南部	暴風	風雪(強風)



地上天気図 3月21日9時

〇21日の観測値

21日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速

【最大風速12m/s以上の地点(アメダス)】

【官署及び特別地域気象観測】

単位:m/s

地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向		地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
	風速	風向	風速	風向		風速	風向	風速	風向
久慈	14.0	西	23.5	西	盛岡	10.2	西	22.0	西南西
岩泉	13.0	西南西	25.3	西南西	宮古	11.7	西南西	23.6	西
小本	13.8	西	27.2	西	大船渡	8.8	北西	20.5	北
雫石	13.3	西	21.8	西					
紫波	16.9	西	27.4	西					
住田	13.3	西北西	22.1	西					

注1) 黄色の網がけは3月として1位の値を更新(統計期間5年以上の要素)

注2) 橙色の網がけは年として1位の値を更新(統計期間5年以上の要素)

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	83	ほうれんそうの葉の損傷0.04ha
	農業施設	4,638	パイプハウスのビニール破損126棟
計	4,721		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

7 4月13日から14日にかけての強風災害

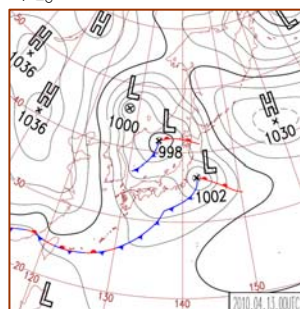
(1) 気象概況

13日は、低気圧が、日本海中部を発達しながら北東進し、この低気圧からのびる寒冷前線が、北日本を通過した。

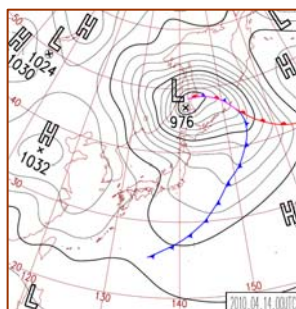
14日は、低気圧がさらに発達してオホーツク海に進み、北日本は、冬型の気圧配置となった。

この影響により13日から14日にかけて、県内は雪を伴って強風となり、14日の日最大風速は岩泉、紫波、大迫で4月として1位の値となった(大迫は年としても1位を更新)。

強風により、内陸を中心に、交通障害や停電被害のほか、15市町村で農業施設等に被害が発生した。



地上天気図 4月13日9時



地上天気図 4月14日9時

【関連する注警報の発表状況:4月13日~14日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	風雪(強風)

〇13日~14日の観測値

13日~14日の主な地点の日最大風速と日最大瞬間風速

【日最大風速11m/s以上の地点(アメダス)】

【官署及び特別地域気象観測所】

単位m/s

地点	起日	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風速		地点	起日	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風速	
		風速	風向	風速	風向			風速	風向	風速	風向
葛巻	14日	11.3	南南西	21.2	南南西	盛岡	14日	11.8	西	22.4	西
好摩	14日	11.1	南南西	21.3	北西	宮古	14日	8.4	西南西	13日 18.9	南南西
岩泉	13日	11.5	西南西	14日 23.0	南南西	大船渡	14日	9.9	北西	23.7	北
雫石	14日	13.2	西	25.2	西						
紫波	14日	17.7	西	27.3	西北西						
大迫	14日	11.2	西	20.0	西						

注1) 黄色の網がけは4月として1位更新(統計期間が5年以上の要素)

注2) 橙色の網がけは年として1位更新(統計期間が5年以上の要素)

注3) 宮古と岩泉の日最大瞬間風速の観測値は、日最大風速の起日と異なります。その他の地点は、最大風速・最大瞬間風速とも14日の観測値。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域※
農業	農作物等	97	水稲(苗)の損傷0.01ha	釜石市
	農業施設	7,613	パイプハウスのパイプ・ビニール破損等183棟	花巻市、遠野市等15市町村
計		7,710		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

8 4月21日から25日にかけての強風災害

(1) 気象概況

21日は、低気圧が、北海道の東海上にあって、県内は、強風となったところがあった。
 23日は、本州南岸の低気圧が三陸沖に進み、沿岸の海上を中心に、強風となったところがあった。
 25日は、低気圧が北海道付近にあって、県内は、強風となったところがあった。
 この期間、強風により、盛岡市や八幡平市など6市町村で、農業施設に被害が発生した。

【関連する注警報の発表状況：4月21日～25日】

期間	地域	警報	注意報
4月21日	岩手県	—	強風
4月23日	沿岸北部	—	強風
	沿岸南部	—	強風
4月25日	岩手県	—	強風

〇21日、23日、25日の観測値

21日、23日、25日の日最大風速と日最大瞬間風速
 盛岡地域の主な地点 単位：m/s

日	地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
		風速	風向	風速	風向
21日	好摩	10.6	北西	18.5	北北西
	雫石	8.9	西	15.3	西
	盛岡	10.5	北西	16.7	北西
	紫波	9.5	西北西	15.5	西北西
23日	好摩	4.5	北	7.8	北北東
	雫石	3.1	北東	4.9	東北東
	盛岡	6.1	北	9.8	北
	紫波	6.7	北北西	9.4	北
25日	好摩	9.2	南西	15.6	南西
	雫石	8.2	西南西	16.3	西
	盛岡	8.3	西南西	15.8	南西
	紫波	10.1	西	18.3	西北西

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域※
農業	農業施設	320	パイプハウスのビニール破損16棟	八幡平市、盛岡市等6市町村
計		320		

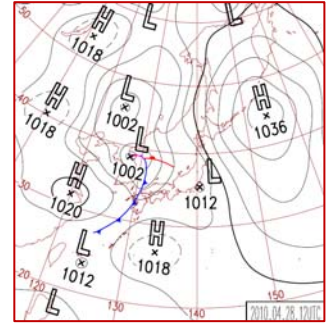
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

9 4月28日から29日にかけての大雨災害

(1) 気象概況

28日は、本州南岸の低気圧が、関東の東海上に進み、一方、千島近海に中心をもつ高気圧が、北日本に張り出した。29日は、朝鮮半島の低気圧が、日本海を北東進し、低気圧からのびる前線が、東北地方を通過した。

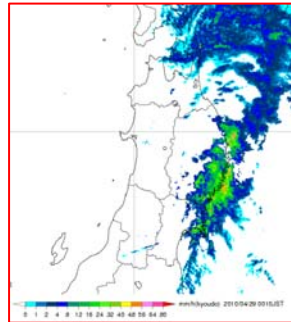
低気圧や南からの湿った空気の影響により、28日から29日にかけて、沿岸を中心に、大雨となった。28日に、大槌では、4月として日降水量1位となる70.5mmを観測し、大船渡では、4月として月最大24時間降水量2位の値となる183.0mmを観測した。大雨により、沿岸南部を中心に、浸水害や土砂災害、交通障害のほか、5市町で農地・農業用施設や水産施設等に被害が発生した。



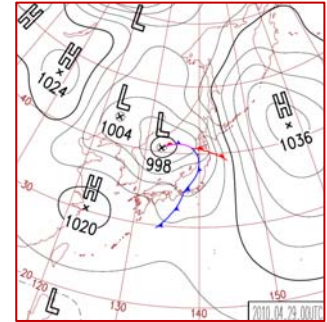
地上天気図 4月28日9時

【関連する注警報の発表状況：4月28日～29日】

地域	警報	注意報
盛岡地域	—	大雨、洪水
両磐地域	—	—
遠野地域	—	—
久慈地域	—	—
宮古地域	大雨	洪水
沿岸南部	大雨、洪水	—



レーダー画像 4月29日0時10分



地上天気図 4月29日9時

○28日～29日の観測値

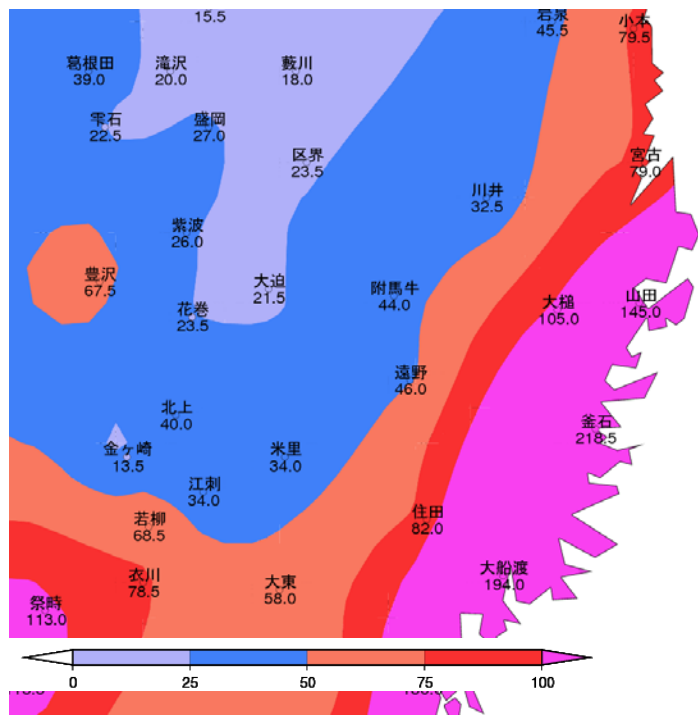
日降水量70mm以上の地点 単位：mm

地点	日降水量		日最大	
	28日	29日	1時間降水量	
大槌	70.5	34.0	9.5	29日
山田	74.5	70.5	15.5	29日
釜石	128.5	90.0	20.5	29日
祭時	105.0	5.0	7.0	28日
衣川	71.5	6.5	6.5	28日
大船渡	115.0	79.0	18.0	28日

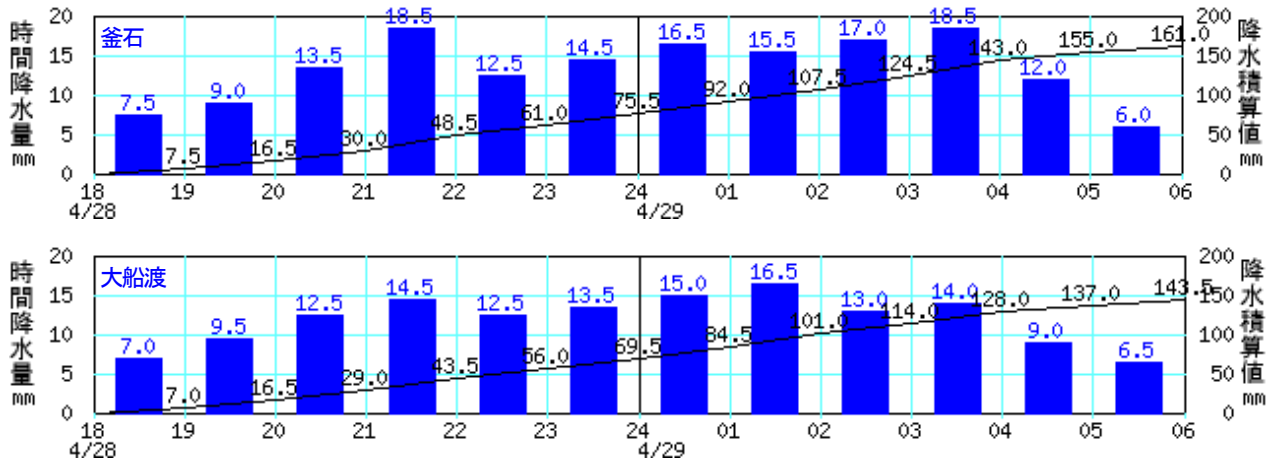
注1)黄色の網がけは4月として1位の値を更新
(統計期間5年以上の要素)

注2)「値」はデータの一部に欠測があることを示す

県南の降水量分布図(28日-29日) 単位：mm



○時系列降水量 28日18時～29日6時



(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農地・農業用施設	2,000	水田の法面崩壊等3箇所	陸前高田市、大槌町
林業	林業施設	57,332	山腹崩壊、法面崩壊等34箇所	大船渡市、奥州市等4市
水産業	水産施設	1,200	千歳漁港の臨海道路法面崩落により破損1箇所	大船渡市
	漁船	1,100	千歳漁港の臨海道路法面崩落により破損7隻	大船渡市
	漁港施設	5,020	漁港へのごみの流入等10箇所	大船渡市、陸前高田市
計		66,652		

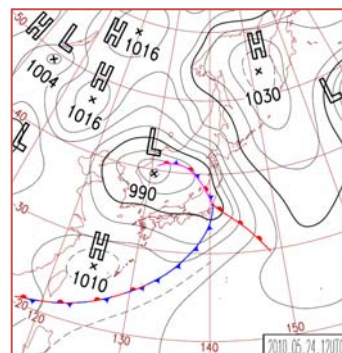
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

10 5月24日から25日にかけての大雨災害

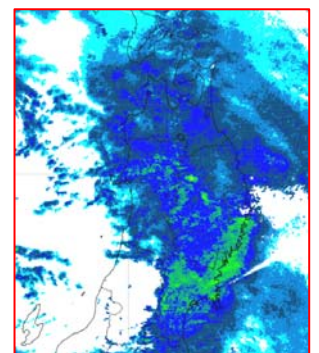
(1) 気象概況

24日は、朝鮮半島の低気圧が前線を伴って東シナ海から日本海西部に進み、低気圧に暖かく湿った空気が流れ込んだ。25日は、日本海西部の寒気を伴った低気圧が停滞し、前線上の三陸沖で、別の低気圧が発生し、釧路沖に進んだ。

低気圧や湿った空気の影響で、24日から25日にかけて大雨となり、大船渡市と陸前高田市で土砂災害や林業施設被害が発生した。



地上天気図 5月24日21時



レーダー画像 5月24日17時30分

○24日～25日の観測値

24日～25日の日降水量と日最大1時間降水量

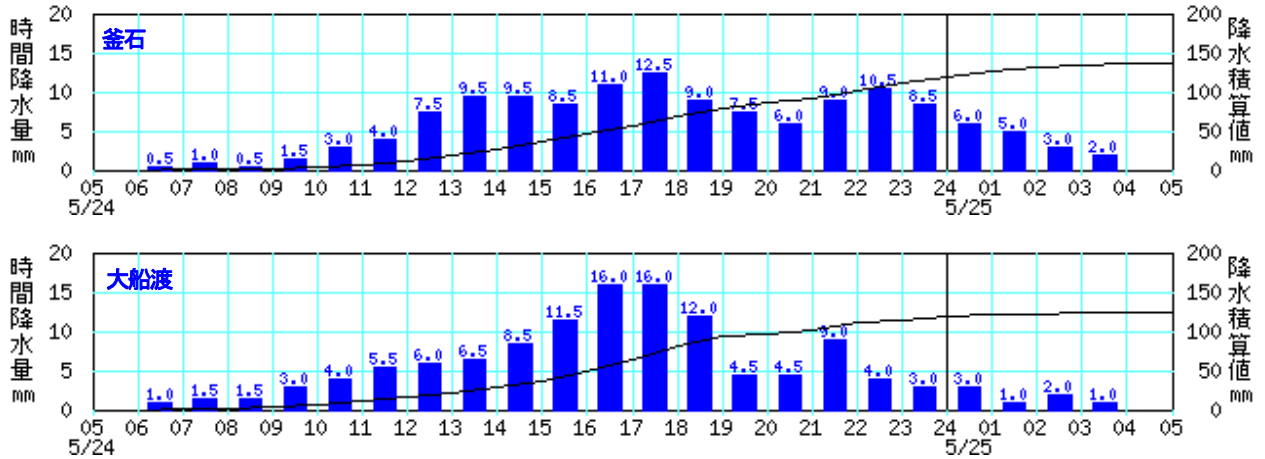
沿岸南部の地点 単位:mm

地点	日降水量		1時間降水量	
	24日	25日	日最大	起日
大槌	80.0	7.0	8.5	24日
山田	92.5	15.5	12.5	24日
釜石	120.5	16.5	13.5	24日
住田	61.0	3.0	7.0	24日
大船渡	118.0	7.5	17.5	24日

【関連する注警報の発表状況:5月24日～25日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	大雨、洪水

○時系列降水量 28日18時～29日6時



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
林業 林業施設	16,700	法面崩壊等 23 箇所	大船渡市、陸前高田市
計	16,700		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

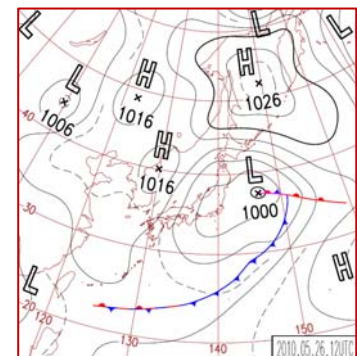
1.1 5月26日から27日にかけての波浪災害

(1) 気象概況

26日は、本州付近の低気圧と関東の東海上の低気圧が一つにまとまり、三陸沖に進んだ。27日は、低気圧が北東進し、釧路沖に進んだ。低気圧の影響により、沿岸を中心に、強風、海上では、しけとなり、普代村で、水産施設に被害が発生した。

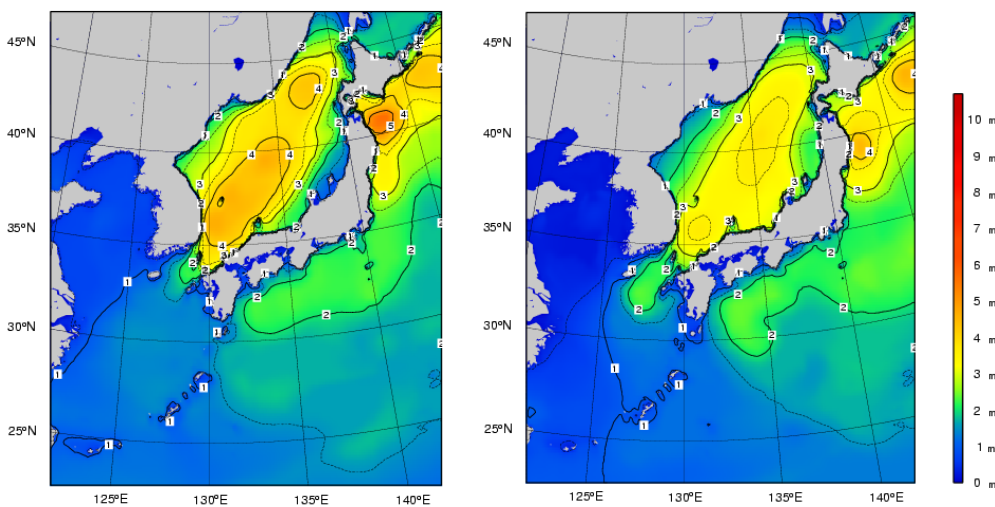
【関連する注警報の発表状況: 5月26日～27日】

地域	警報	注意報
沿岸北部	—	波浪、強風
沿岸南部	—	波浪、強風



地上天気図 5月26日21時

○沿岸波浪図



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
水産業 水産施設	300	養殖施設のアンカー流失 10 箇所	普代村
計	300		

1.2 5月31日の降雹災害

(1) 気象概況

31日は、日本付近は高気圧に覆われて晴れた。上空の寒気や明け方の放射冷却の影響により、県内では、最低気温が平年を大きく下回るところがあった。葛巻町で霜が降り、果樹に凍霜害が発生した。

○31日の観測値

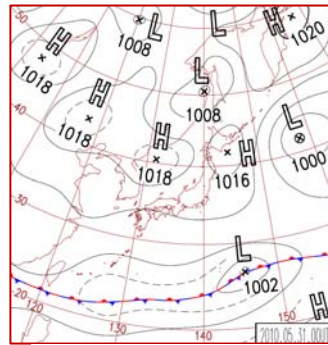
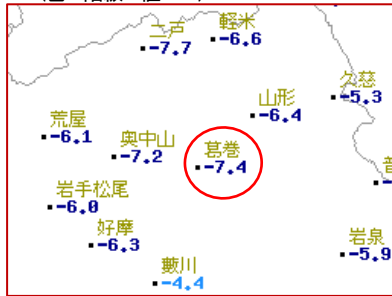
日最低気温(°C)

地点名	実況値	平年値	平年差
葛巻	1.0	8.4	-7.4

【関連する注警報の発表状況:5月31日】

地域	警報	注意報
盛岡地域	—	—

31日の最低気温平年差分布図
(色:階級・値:°C)



地上天気図 5月31日9時

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業 農作物等	1,211	凍霜害(新梢の枯死、葉焼け)1.83ha	葛巻町
計	1,211		

1.3 6月3日及び5日の降雹災害

(1) 気象概況

3日は、寒気を伴った気圧の谷が、東北地方を通過した。

また、地上の気温が上昇したため、大気の状態が不安定となり、内陸南部を中心に、積乱雲が発達した。昼過ぎに、奥州市で雹が降り、花きなどの農作物に被害が発生した。

【関連する注警報の発表状況】

日	地域	警報	注意報
3日	岩手県	—	雷(突風、ひょう)
5日	岩手県	—	雷(突風、ひょう)

5日は、約5,500mの上空で、氷点下22°C以下の寒気を伴った気圧の谷が北日本を通過し、東北地方は、大気の状態が不安定となり、各地で積乱雲が発達した。紫波町や盛岡市で、13時から14時にかけて雹が降り、紫波町で、果樹などの農作物に被害が発生した。

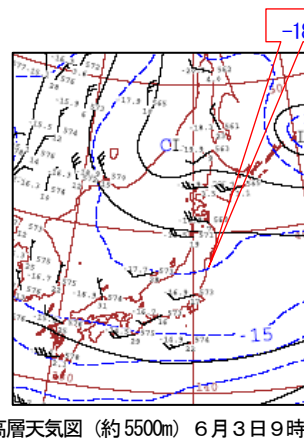
○3日及び5日の観測値

地上気温(日最高気温:°C)

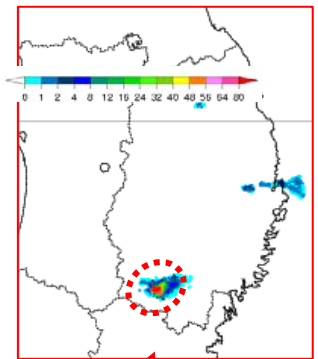
観測日時	地点	観測値	平年差
3日	若柳	26.9	+4.7
	江刺	28.3	+5.9
5日	盛岡	21.3	-1.4
	紫波	20.8	-0.9

秋田上空約5500mの気温(°C)

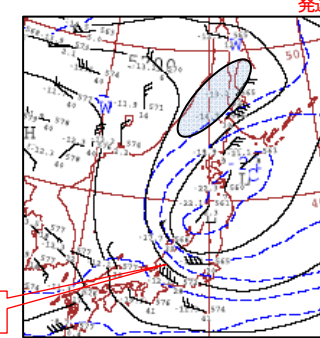
観測日時	観測値	平年差
3日09時	-18.5	-3.7
5日09時	-22.1	-7.8



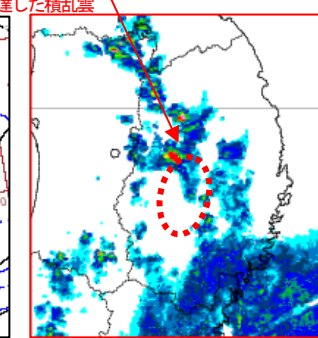
高層天気図(約5500m) 6月3日9時



レーダー画像 6月3日14時10分



高層天気図(約5500m) 6月5日9時



レーダー画像 6月5日13時30分

(2) 被害状況

○6月3日の降雹被害

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	5,488	りんどうの葉の損傷等 3.67 h a	奥州市
計		5,488		

○6月5日の降雹被害

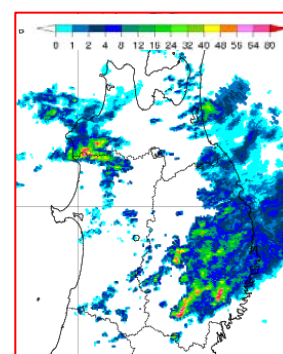
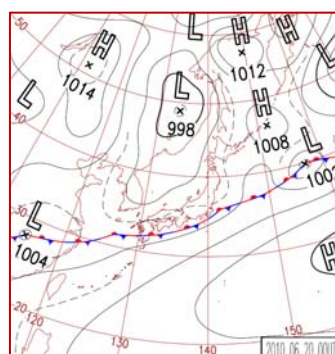
(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	45,569	果実などの損傷等 25.60 h a	紫波町
計		45,569		

1.4 6月20日の大雨災害

(1) 気象概況

20日は、本州南岸から日本の東に、梅雨前線が停滞した。寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過し、大気の状態が不安定となった。県南を中心に、雷を伴って局地的に激しい雨となったところがあり、米里など4地点で、日最大1時間降水量が6月として1位の値となった。交通障害や停電被害のほか、奥州市で農地・農業用施設に被害が発生した。



○20日の観測値

20日の日降水量と日最大1時間降水:

奥州市の地点 単位:mm

地点	日降水量	日最大1時間降水量
米里	40.5	37.5
若柳	18.0	17.5
江刺	24.5	24.0
衣川	15.5	15.5

注)黄色の網がけは6月として1位の値を更新

【関連する注警報の発表状況:6月20日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	大雨、洪水、雷

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	1,000	水路の破損 1箇所	奥州市
計		1,000		

15 7月2日から4日にかけての大雨災害

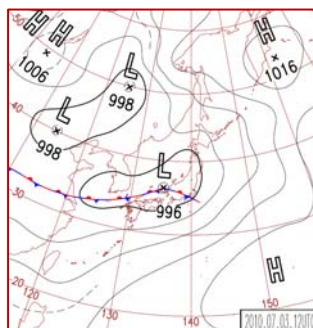
(1) 気象概況

2日は、上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過した。また、県内には、南からの暖かく湿った空気が流れ込んでいた。

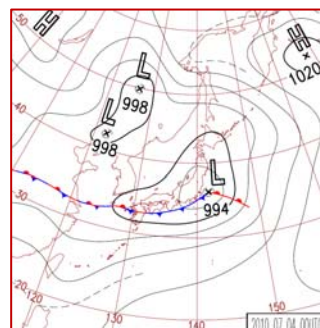
3日は、梅雨前線上の低気圧が日本海西部を東進し、4日は、この低気圧が三陸沖に進み、梅雨前線が三陸沖から本州南岸に停滞した。東北地方は気圧の谷となり、県内には、南から湿った空気が流れ込んでいた。

2日から4日にかけて、上空の寒気や暖かく湿った空気の流入、日中の気温上昇の影響で、大気の状態が不安定となり、県内では、雷雨や局地的に大雨となる場所があった。この間の日最大1時間降水量は、2日に荒屋で54.0mm、3日に奥中山で34.0mm、4日に千厩で42.0mm、大東で40.5mmを観測した。荒屋など3地点の日最大1時間降水量は、7月として1位の値となった（荒屋は年としても1位の値を更新）。

この影響により、2日から4日にかけて、内陸を中心に、浸水害や土砂災害、交通障害のほか、八幡平市や葛巻町など4市町で、農地・農業用施設や林業施設に被害が発生した。



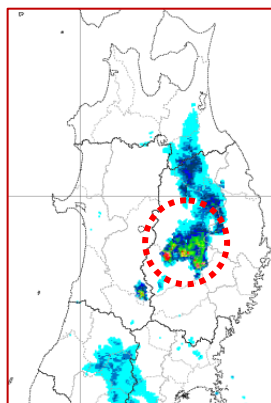
地上天気図 7月3日21時



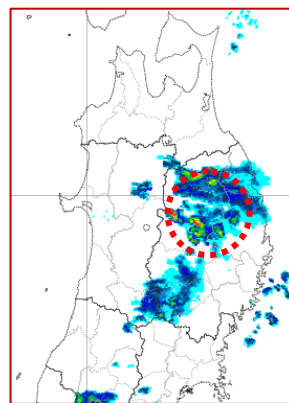
地上天気図 7月4日9時

【関連する注警報の発表状況
:7月2日~4日】

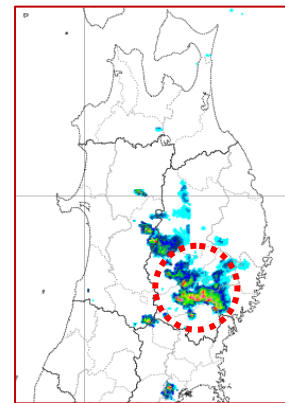
地域	警報	注意報
岩手県	大雨、洪水	雷



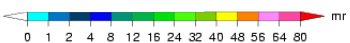
7月2日20時



7月3日18時



7月4日17時30分



○: 発達した積乱雲

○期間中の観測値

日最大1時間降水量30mm以上の地点 単位:mm

7月2日

地点	日降水量	日最大1時間降水量
荒屋	56.0	54.0
好摩	26.5	25.5
紫波	40.5	30.5
大迫	53.5	30.0

7月3日

地点	日降水量	日最大1時間降水量
奥中山	34.5	34.0
藪川	37.5	34.5

注1)黄色の網がけは7月として1位の値を更新
注2)橙色の網がけは年として1位の値を更新
(統計期間5年以上の要素)

7月4日

地点	日降水量	日最大1時間降水量
種市	35.0	27.5
豊沢	28.0	20.0
大東	40.5	40.5
大船渡	21.5	20.5
千厩	56.0	42.0

(2) 被害状況

(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農業施設	400	たばこ乾燥小屋破損1棟	葛巻町
	農地・農業用施設	64,000	水路の破損、法面崩壊等46箇所	八幡平市、一関市、葛巻町、紫波町
林 業	林業施設	65,000	溪岸侵食2箇所	葛巻町
計		129,400		

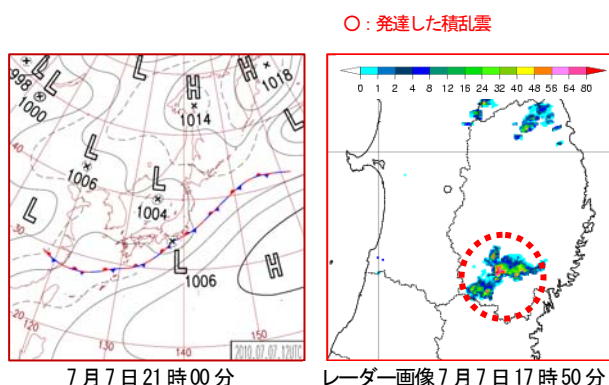
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

16 7月7日の大雨災害

(1) 気象概況

7日は、本州南岸に梅雨前線が停滞し、上空に寒気を伴った低気圧が日本海中部を東進した。県内には、南からの暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、県南を中心に、雷雨や局地的に大雨となるところがあった。

この影響により、奥州市で浸水害や土砂災害のほか、農地・農業用施設に被害が発生した。



【関連する注警報の発表状況：7月7日】

地域	警報	注意報
奥州金ヶ崎地域 両磐地域	大雨、洪水	雷
盛岡、二戸地域	—	大雨、洪水、雷
花北、遠野地域	—	雷
沿岸北部	—	雷
釜石地域	—	雷
大船渡地域	—	大雨、洪水、雷

○7日の観測値

7日の日降水量と日最大1時間降水量

奥州市の主な地点 単位：mm

地点	日降水量	日最大 1時間降水量
若柳	32.0	30.5
江刺	20.0	20.0

(2) 被害状況

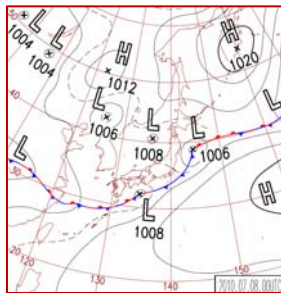
(単位：千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域
農 業	農地・農業用施設	12,000	法面崩壊等7箇所	奥州市
計		12,000		

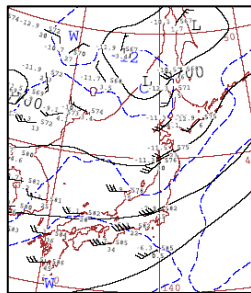
17 7月8日の降雹災害

(1) 気象概況

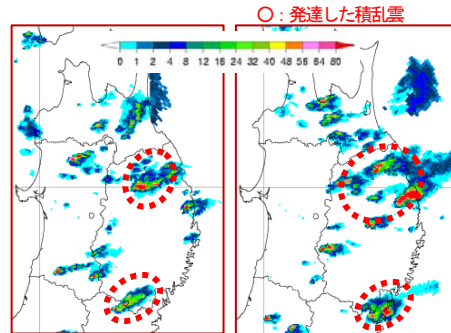
8日は、梅雨前線が、華中から本州の南岸を通過、三陸沖にのび、上空に寒気を伴った低気圧が日本海を東進した。東北地方は、約5,500mの上空に、氷点下9℃以下の寒気が流入した。また、地上の気温が上昇し、大気の状態が不安定となり、県内各地で積乱雲が発達し、雷雨となったところがあった。岩手町、岩泉町、葛巻町、一関市などでは12時から14時にかけて雹が降り、農作物（葉たばこ、野菜など）や農業施設に被害が発生した。



地上天気図 7月8日9時



高層天気図 7月8日9時
(上空約5,500m)



レーダー画像 7月8日 左13時 右14時

○8日の観測値

秋田上空約5500mの気温(℃)

観測日時	観測値	平年差
8日09時	-11.3	-3.3

地上気温(日最高気温:℃)

地点	観測値	平年差
荒屋	28.6	+5.3
奥中山	26.9	+5.1
葛巻	27.5	+4.1
岩手松尾	29.6	+5.3
岩泉	28.5	+4.9
一関	30.6	+5.7
千厩	30.6	+6.2

【関連する注警報の発表状況:7月8日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	雷(突風、ひょう)

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	葉たばこ、キャベツの葉等の損傷等 188.27ha	岩手町、岩泉町、一関市4市町村
	家畜等	豚溺死20頭	岩泉町
	農業施設	牛舎・豚舎の屋根破損等69棟	岩泉町、田野畑村、岩手町
計	142,571		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

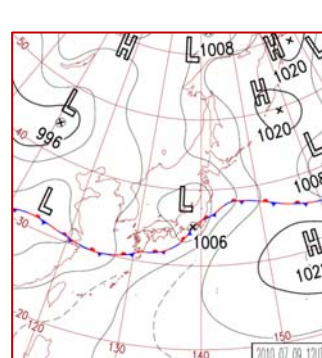
18 7月9日から10日にかけての大雨災害

(1) 気象概況

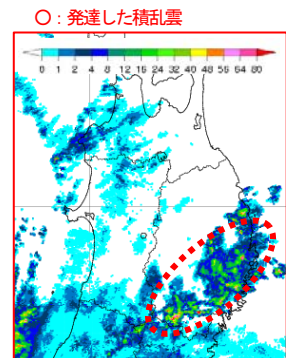
9日は、本州の南岸から日本の東に梅雨前線が停滞し、前線上の低気圧が関東沖に進んだ。10日は、低気圧が三陸沖を北東進した。東北地方は、暖かく湿った空気が流入した。

東北地方は、上空の寒気や前線付近の湿った空気の影響により、大気の状態が不安定となった。県内は雷を伴って局地的に激しい雨となったところがあった。

一関市、奥州市、陸前高田市で、農地・農業施設に被害が発生した。



地上天気図 7月9日21時



レーダー画像 7月9日22時10分

○9日～10日の観測値

9日～10日の日降水量と日最大1時間降水量

県南の主な地点 単位:mm

地点	日降水量		1時間降水量	
	9日	10日	日最大	起日
大槌町	49.5	3.0	36.5	9日
山田	37.5	7.5	32.0	9日
米里	7.5	25.0	16.0	10日
若柳	16.0	8.0	14.5	9日
衣川	33.0	5.5	29.5	9日
大東	21.0	16.0	12.0	9日
大船渡	41.0	3.0	39.0	9日
一関	30.5	0.5	26.5	9日

注)黄色の網がけは7月として1位の値を更新

【関連する注警報の発表状況
:7月9日～10日】

地域	警報	注意報
岩手県	-	大雨、洪水、雷

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農地・農業用施設	10,000	水路の破損、法面崩壊等 18箇所	一関市、奥州市、陸前高田市
計		10,000		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

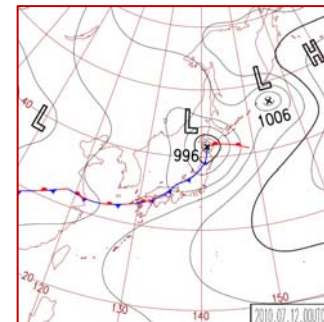
19 7月12日の強風災害

(1) 気象概況

12日は、日本海中部の低気圧が釧路沖に進み、梅雨前線が東北地方を南下し、本州付近に停滞した。低気圧の影響により、県内は強風となったところがあり、八幡平市荒屋で日最大風速11.2m/sを観測し、7月として1位の値となった。二戸市と一戸町で、農作物や農地・農業用施設に被害が発生した。

【関連する注警報の発表状況:7月12日】

地域	警報	注意報
岩手県	-	強風



地上天気図 7月12日9時

○12日の観測値

12日の日最大風速と日最大瞬間風速

二戸市、一戸町付近

単位:m/s

日	地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
		風速	風向	風速	風向
12日	二戸	10.5	南西	23.9	南西
	荒屋	11.2	南南西	17.8	南
	奥中山	7.1	西南西	16.2	西南西

注)黄色の網がけは7月として1位の値を更新(統計期間5年以上の要素)

(2) 被害状況

(単位:千円)

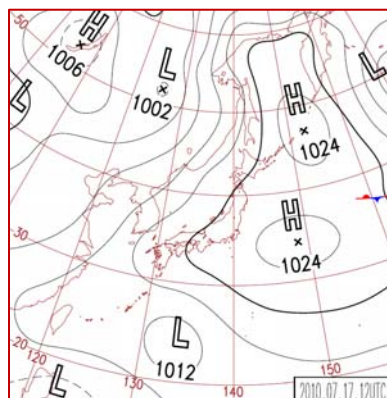
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	5,627	葉たばこの茎の傾き等 49.50ha	一戸町
	農地・農業用施設	150	さくらんぼの雨よけパイプハウスのビニール破損3棟	二戸市
計		5,777		

20 7月17日の大雨災害

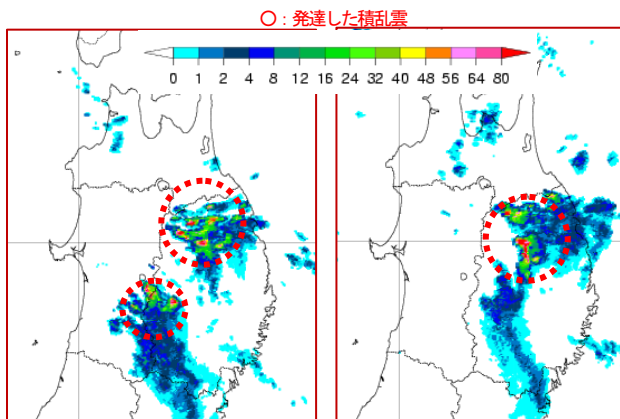
(1) 気象概況

17日は、日本の東海上に中心をもつ太平洋高気圧があり、この高気圧の縁を回る暖かく湿った空気が県内に流れ込んでいた。一方、東北地方の上空6,000m付近には、氷点下6度以下の寒気が入り、県内は、大気の状態が不安定となっていた。午後から県内の所々に発生した雨雲は、日中の気温の上昇も影響し、夕方から夜のはじめ頃にかけて発達し、雷を伴って局地的な大雨となる場所があった。17日のアメダスの日最大1時間降水量は、一戸町奥中山で27.0mm、葛巻で33.5mmを観測した。

この影響により、岩手町、葛巻町、一戸町で浸水害や洪水害、土砂災害のほか、農作物や農地農業用施設、林業施設等に被害が発生した。



7月17日21時



レーダー画像7月17日19時30分

7月17日20時30分

○17日の観測値

17日の日降水量と日最大1時間降水量
葛巻町、一戸町の地点 単位:mm

地点	日降水量	日最大1時間降水量
奥中山	34.0	27.0
葛巻	45.5	33.5

岩手町にはアメダスが配置されていません

【関連する注警報の発表状況:7月17日】

地域	警報	注意報
盛岡、二戸地域	大雨、洪水	雷
奥州金ケ崎、花北地域 両磐、遠野地域	—	大雨、洪水、雷
沿岸北部	—	大雨、洪水、雷
沿岸南部	—	大雨、洪水、雷

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域※	
農業	農作物等	58,035	水稻の倒伏等68.16ha	岩手町、葛巻町、一戸町
	農業施設	3,610	パイプハウスの破損等14棟	岩手町
	農地・農業用施設	846,000	水路の破損、法面崩壊、土砂流入・流出等299箇所	岩手町、葛巻町
林業	林業施設	796,706	山腹崩壊、溪岸侵食等49箇所	岩手町、一戸町、葛巻町
	林産物	3,155	しいたけのほだ木の流出など2箇所	岩手町
計	1,707,506			

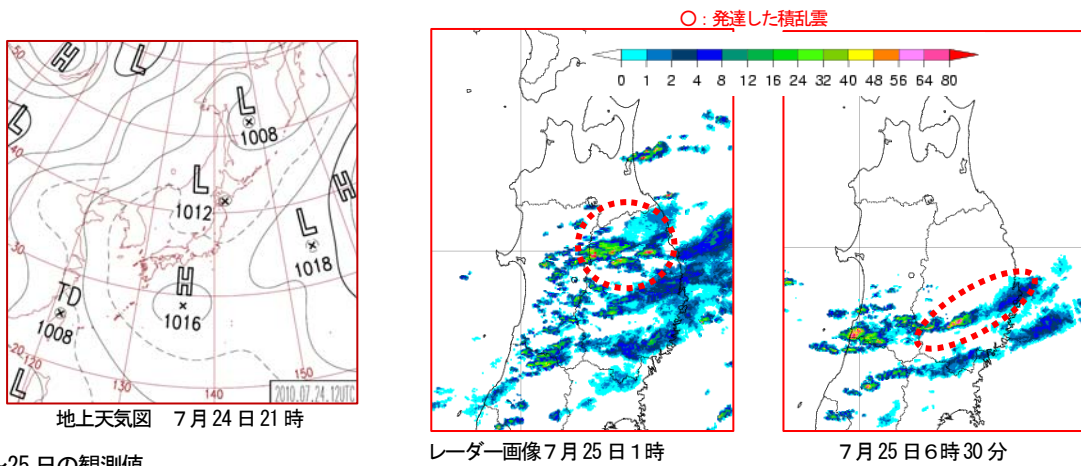
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

21 7月24日から25日にかけての落雷、大雨災害

(1) 気象概況

24日から25日にかけて、上空に寒気を伴った低気圧が、日本海中部から津軽海峡付近を通過して釧路沖に進んだ。東北地方は、大気の状態が不安定となり、雷を伴って局地的な大雨となる場所があった。

24日は、花巻市で落雷により農地・農業用施設に被害が発生した。また、24日から25日にかけては、岩手町で土砂災害や農作物に、奥州市で農地・農業用施設に被害が発生した。



○24日～25日の観測値

24日～25日の日降水量と日最大1時間降水量

岩手町周辺と奥州市の主な地点 単位:mm

地点	日降水量		1時間降水量	
	24日	25日	日最大	起日
奥中山	19.0	21.0	15.0	25日
岩手松尾	22.5	30.0	26.0	25日
好摩	27.0	2.0	12.5	24日
米里	3.0	53.5	39.0	25日
江刺	4.0	22.0	11.0	25日

【関連する注警報の発表状況:7月24日～25日】

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨、洪水	雷
二戸、花北地域 奥州金ヶ崎地域 遠野、両磐地域	—	大雨、洪水、雷
久慈地域	—	大雨、洪水、雷
宮古地域	大雨	洪水、雷
沿岸南部	—	大雨、洪水、雷

(2) 被害状況

○7月24日の落雷災害

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	10,000	地震観測装置などの故障1箇所	花巻市
計		10,000		

○7月24日から25日にかけての大雨災害

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	26,493	だいこんの葉の損傷等16.34ha	岩手町
計		26,493		

○7月25日の大雨災害

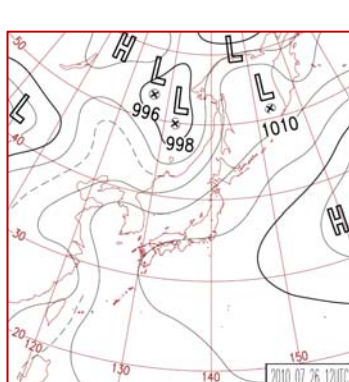
(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	4,000	法面崩壊4箇所	奥州市
計		4,000		

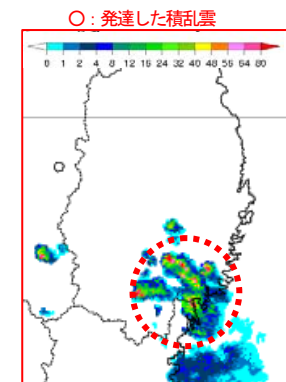
2.2 7月26日の大雨災害

(1) 気象概況

26日は、日本のはるか東に中心をもつ高気圧が、日本付近に張り出した。一方、地上気温の昇温と上空の寒気の影響で、東北地方は大気の状態が不安定となり、県内は、雷を伴って局地的な大雨となる場所があった。一関市で、農地・農業用施設に被害が発生した。



地上天気図 7月26日21時



レーダー画像7月26日17時

【関連する注警報の発表状況
:7月26日の両磐地域】

地域	警報	注意報
両磐地域	-	大雨、洪水、雷

○26日の観測値

26日の日降水量と
日最大1時間降水量

一関市の主な地点 単位:mm

地点	日降水量	日最大 1時間降水量
大東	47.0	37.5
一関	1.0	1.0
千厩	9.0	9.0

(2) 被害状況

(単位:千円)

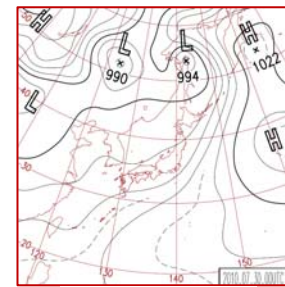
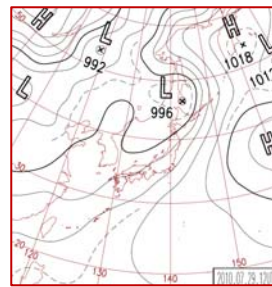
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業 用施設	2,000	法面崩壊2箇所	一関市
計		2,000		

2.3 7月29日から30日にかけての大雨災害

(1) 気象概況

29日から30日にかけては、日本のはるか東に中心を持つ高気圧の西の縁を南から暖かく湿った空気が流入した。また、上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過した。県内は、大気の状態が不安定となり、雷を伴って局地的な大雨となるところがあった。

この影響により、盛岡市、雫石町、葛巻町で浸水害や停電被害などのほか、農地・農業用施設と林業施設に被害が発生した。



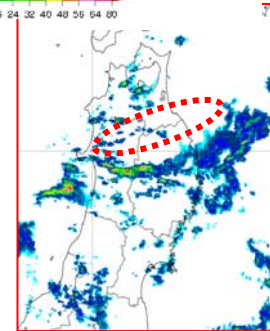
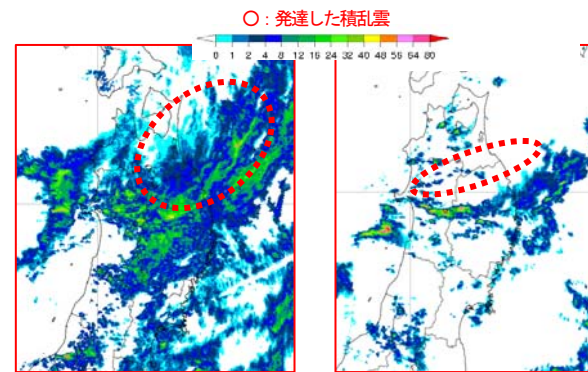
○29日～30日の観測値

29日～30日の日降水量と日最大1時間降水量

盛岡地域周辺の主な地点

単位: mm

地点	日降水量		1時間降水量	
	29日	30日	日最大	起日
奥中山	53.0	53.5	21.0	29日
葛巻	41.5	33.0	20.0	29日
岩手松尾	32.5	40.5	14.0	29日
好摩	55.5	40.0	25.0	29日
葛根田	56.5	93.5	29.0	30日
滝沢	55.0	82.0	20.5	30日
藪川	48.5	45.0	26.0	29日
雫石	31.0	92.0	26.0	30日
盛岡	38.0	56.0	26.5	30日

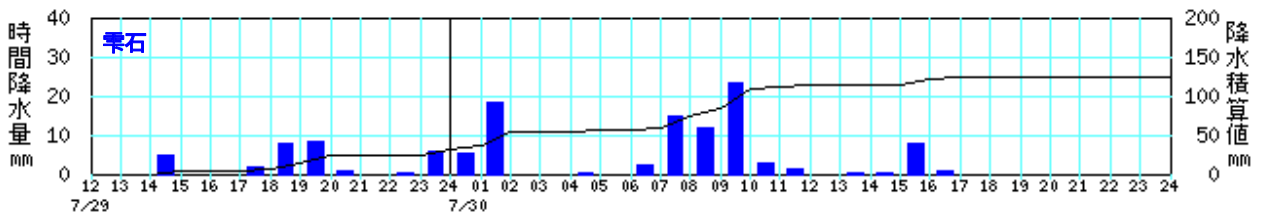
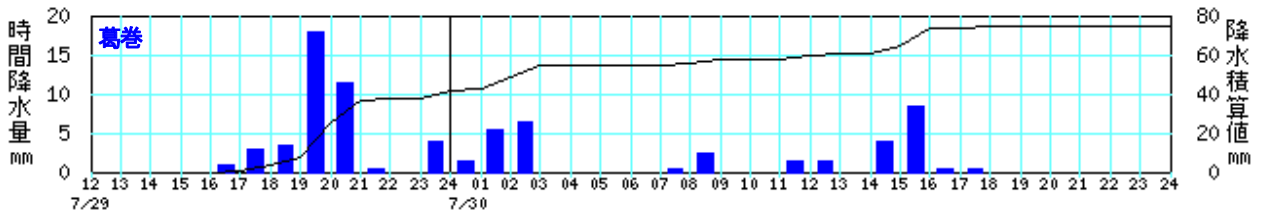


【関連する注警報の発表状況

盛岡地域: 7月29日～30日】

地域	警報	注意報
盛岡地域	大雨、洪水	雷

○葛巻と雫石の降水量時系列図 (7月29日12時～30日24時)



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農地・農業用施設	11,000	法面崩壊、水路の破損等9箇所	盛岡市、雫石町
林業	林業施設	17,630	法面崩壊など14箇所	雫石町、葛巻町
計		28,630		

*「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

2.4 8月12日の台風4号による災害

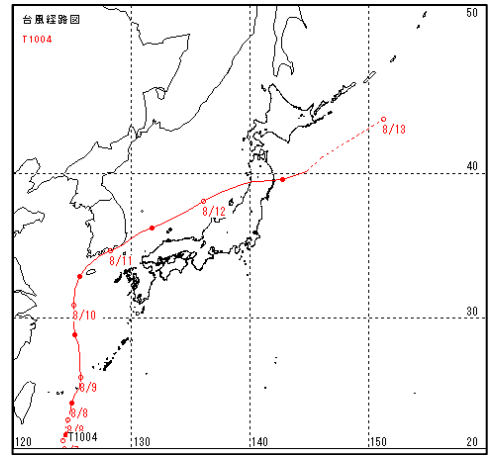
(1) 気象概況

8月8日21時頃、沖縄の南で発生した台風4号は、東シナ海を北上した。11日から12日にかけて、日本海を東北東に進み、日本海からオホーツク海には前線が停滞していた。

12日夕方、台風4号は、秋田県に上陸し、岩手県を横断した。その後、三陸沖に進み、13日未明に、日本の東海上で温帯低気圧に変わった。

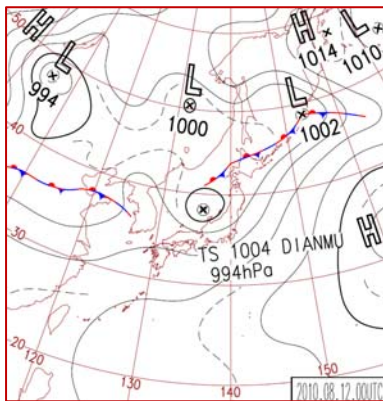
岩手県では、南からの湿った空気が流入し、11日夕方から雨が降りはじめた。その後、台風4号の通過により12日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて、内陸の北部を中心に、雷雨や大雨、海上では暴風やしけとなった。12日の日降水量は好摩98.0mm、葛根田93.5mm、滝沢99.5mm、盛岡75.5mm、日最大1時間降水量は好摩43.0mm、葛根田39.0mm、滝沢46.0mm、盛岡33.5mmを観測した。

この影響で、内陸の北部を中心に、浸水害や交通障害、停電被害のほか、盛岡地域の4市町村で農地・農業用施設に被害が発生した。

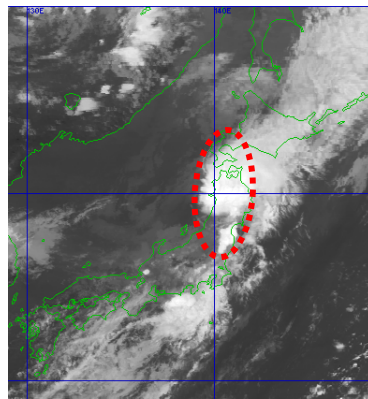


台風第4号経路図

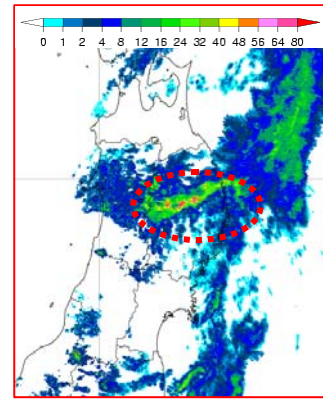
経路上の○印は傍らに記した日の午前9時、●印は午後9時の位置を示します。経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示します。



地上天気図8月12日9時



気象衛星赤外画像8月12日15時



レーダー画像8月12日17時

○12日の観測値

盛岡地域の主な地点の降水量

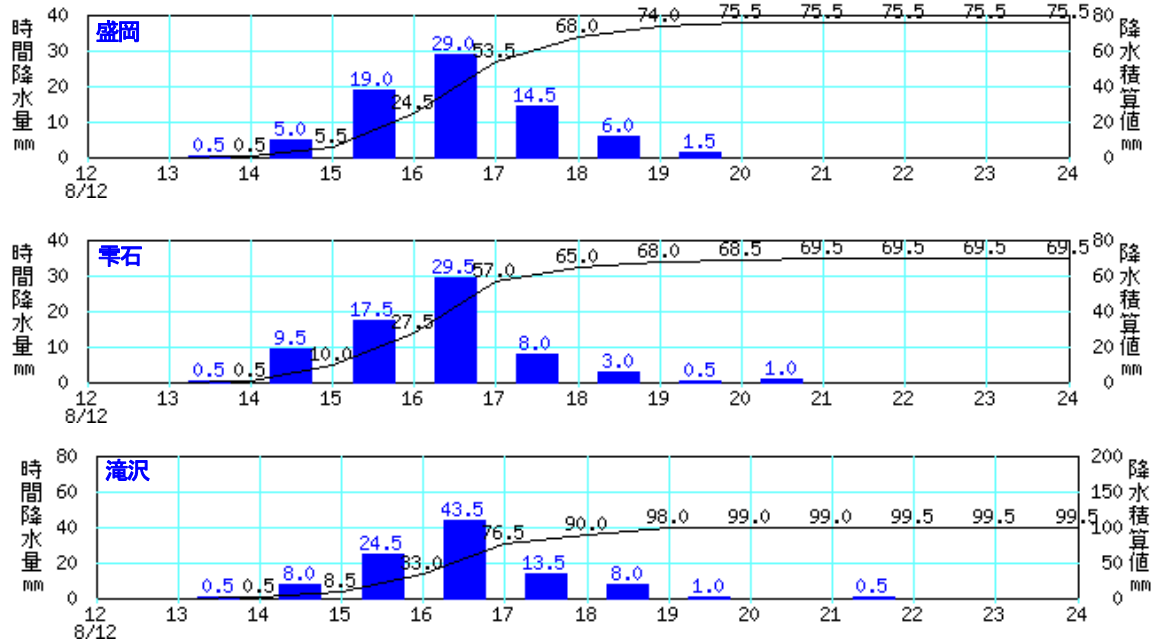
単位: mm

地点	日降水量	日最大1時間降水
岩手松尾	70.0	26.5
好摩	98.0	43.0
葛根田	93.5	39.0
滝沢	99.5	46.0
藪川	72.0	31.0
雫石	69.5	29.5
盛岡	75.5	33.5
紫波	50.0	24.0

【関連する注警報の発表状況: 8月12日】

地域	警報	注意報
盛岡、二戸地域	大雨、洪水	雷
奥州金ヶ崎、花北、遠野、両磐地域	—	大雨、洪水、雷
沿岸北部	大雨、洪水	雷
沿岸南部	—	大雨、洪水、雷

○主な地点の降水量時系列図（8月12日12時～24時）



(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
農業 農地・農業用施設	64,000	水路の一部破損、法面崩壊等 40 箇所	盛岡市、岩手町、雫石町、滝沢村
計	64,000		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

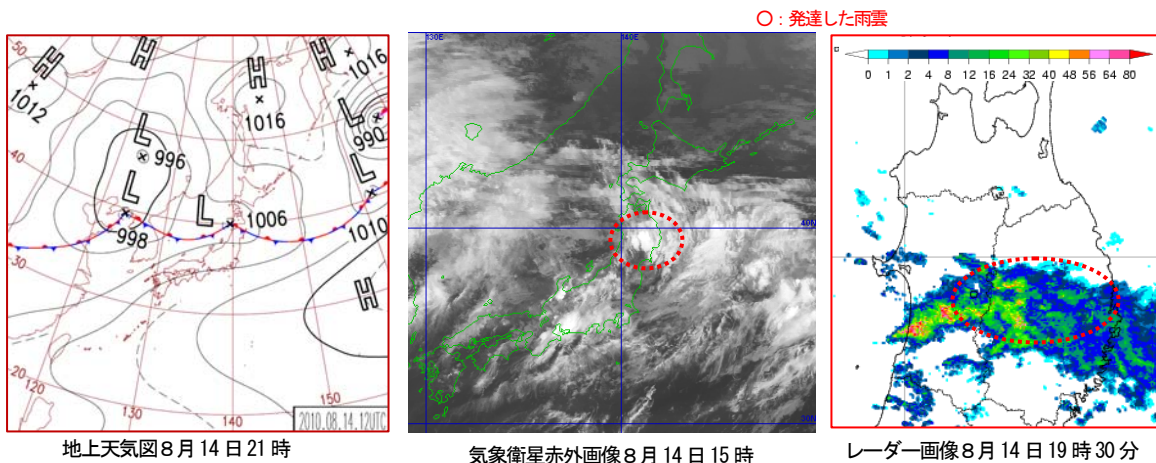
2.5 8月14日の大雨災害

(1) 気象概況

14日は、東北地方に前線が停滞し、前線上の日本海中部の低気圧が、秋田沖に進んだ。前線や低気圧の影響と南から暖かく湿った空気が流入したことにより、内陸を中心に、激しい雷雨となった。

14日の日降水量は、花巻で76.0mmとなり8月として1位の値となったほか、紫波で101.5mm、沢内で144.5mm、豊沢で101.5mmを観測した。

この影響により、内陸を中心に、浸水害や土砂災害、交通障害のほか、盛岡市など5市町で農地・農業用施設、林業施設に被害が発生した。



○14日の観測値

内陸の主な地点の降水量 単位: mm

地点	日降水量	日最大 1時間降水量
葛根田	72.5	29.5
雫石	67.5	19.0
盛岡	64.5	21.5
紫波	101.5	21.0
沢内	144.5	38.0
豊沢	101.5	21.5
花巻	76.0	17.0

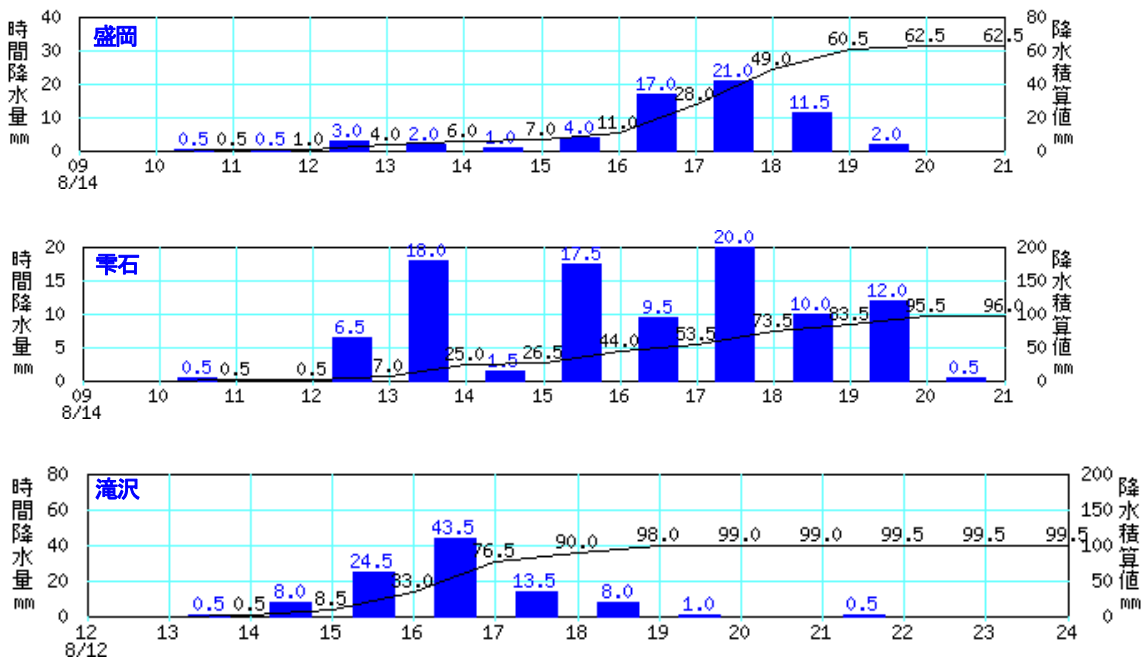
注) 黄色の網掛は8月として1位の値を更新
(統計期間5年以上の要素)

【関連する注警報の発表状況(内陸)

: 8月14日]

地域	警報	注意報
盛岡、花北地域	大雨、洪水	雷
遠野地域	大雨	洪水、雷
奥州金ヶ崎、花北、	—	大雨、洪水、雷
両磐地域	—	雷

○降水量の時系列図 (8月14日9時~21時)



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農地・農業用施設	11,000	水路の一部破損、法面崩壊等6箇所	西和賀町、盛岡市、雫石町5市町
林業	林業施設	1,447	路肩決壊など3箇所	紫波町
計		12,447		

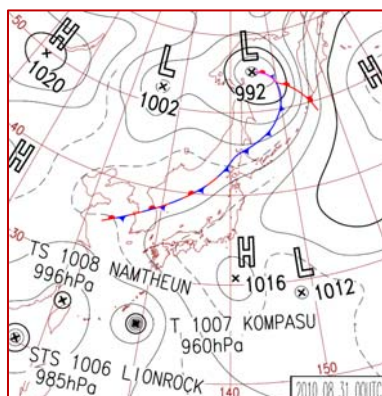
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

26 8月31日の大雨災害

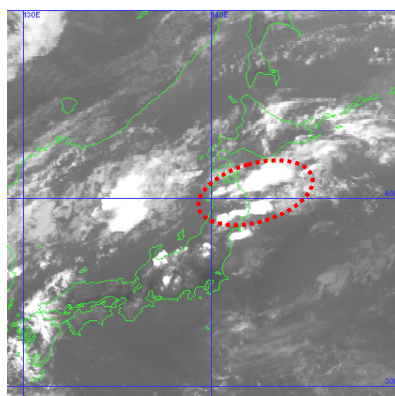
(1) 気象概況

31日は、オホーツク海の低気圧からのびる前線が日本海に停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ。東北地方は大気の状態が不安定となり、県内のところどころで雷雨、内陸の南部では、猛烈な雨となる場所があった。31日のアメダス日最大1時間降水量は、盛岡36.5mm、区界52.0mm（年として1位の値を更新）、祭時38.5mm、大船渡37.5mm、一関35.0mmを観測した。

この影響により、一関市を中心に浸水害や交通障害・停電被害のほかに、農地・農業用施設、林業施設に被害が発生した。

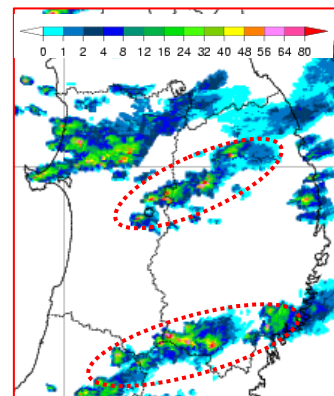


地上天気図 8月31日9時



気象衛星赤外画像8月31日15時

○：発達した積乱雲



レーダー画像8月31日15時

○31日の観測値

内陸の主な地点

単位：mm

地点	日降水量	1時間降水量	
		日最大	時分
盛岡	39.5	36.5	1717
区界	52.5	52.0	1809
祭時	62.5	38.5	1514
衣川	34.0	15.5	1444
大船渡	49.5	37.5	1515
一関	36.5	35.0	1545

注)黄色の網掛は8月として1位の値を更新

(統計期間5年以上の要素)

【関連する注警報の発表状況(内陸)

:8月31日】

地域	警報	注意報
盛岡、奥州金ヶ崎地域 両磐地域	大雨、洪水	雷
花北、遠野地域	—	大雨、洪水、雷

岩手県記録的短時間大雨情報発表(8月31日14時24分)

14時岩手県で記録的短時間大雨 一関市西部付近で約100ミリ

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農地・農業用施設	90,000	法面崩壊、水路の一部破損等132箇所	一関市、盛岡市
林業	林業施設	3,500	保安林管理道の路面流出1箇所	遠野市
水産業	水産物	54	いわなへい死47kg	一関市
計		93,554		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

27 6月から8月にかけての暑熱災害

(1) 気象概況

6月前半は、移動性高気圧に覆われ、晴れの日が多かった。6月後半から7月前半の梅雨期間は、気圧の谷や梅雨前線の影響で、曇りや雨の日が多かった。梅雨明け後は、日本付近で太平洋高気圧の勢力が強まり、晴れの日が多かったものの、内陸を中心に、前線や南からの湿った空気が流れ込んだ影響を受け、曇りや雨の日もあった。

夏を通して、オホーツク海高気圧の影響がほとんどなく、太平洋高気圧の勢力が強く、日本付近には南から暖かく湿った空気が流れ込んだ。3か月平均気温は岩手県内の全観測地点で平年よりかなり高く、盛岡と大船渡では統計開始以来3か月平均気温の1位の値となった。

東北北部の梅雨入りは、6月16日ごろで、平年（6月12日ごろ）より遅く、梅雨明けは、7月18日ごろで、平年（7月27日ごろ）より早かった。

夏（6月～8月）の記録的な高温により、人的被害（熱中症）のほか、26市町村で農作物や家畜などに被害が発生した。

○3か月間（6月～8月）の平均気温

<官署及び特別地域気象観測所（宮古・大船渡）>

単位：℃			
地点\要素	平均気温	平年差	階級区分
盛岡	23.7	2.7	かなり高い
宮古	21.2	1.8	かなり高い
大船渡	22.8	2.4	かなり高い

<アメダス>

31地点中、階級区分のない区界、花巻を除いた29地点で、平年より「かなり高い」となった。

○3か月間（6月～8月）の気温に関する極値更新

期間	要素	観測値、地点数など
3か月間	平均気温(高い方から)	盛岡 23.7℃
		大船渡 22.8℃
	日最高気温30℃以上の日数	盛岡 45日
		大船渡 27日
各月	月平均気温(高い方から)	6月 盛岡など16地点
		7月 大船渡など10地点
		8月 盛岡など26地点
	日最高気温の高い方から	6月 大船渡など10地点
		7月 —
		8月 花巻など6地点

注)3か月の統計対象は官署及び特別地域気象観測所。

○その他

アメダスでは、3か月間の日最高気温30℃以上の日数（真夏日）と日最高気温25℃以上の日数（夏日）が、平年を大きく上回った。

盛岡地方気象台は、8月5日に「長期間の高温と少雨に関する岩手県気象情報第1号」を発表した。

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	498,018	キャベツの高温・多湿等による生育不良等 630.90 h a	岩手町、西和賀町等 15 市町村
	家畜等	52,875	鶏(ブロイラー)89,403羽、肉・乳用牛へい死 18 頭等	九戸村、八幡平市など 13 市町村
計		550,893		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

28 11月3日の強風災害

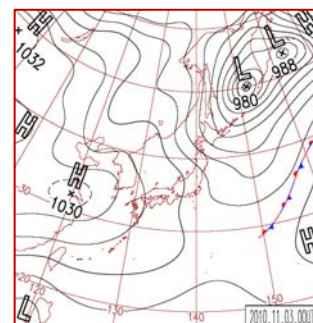
(1) 気象概況

2日から3日にかけて、発達した低気圧が千島近海からオホーツク海に進み、北日本は、冬型の気圧配置となった。

低気圧の影響により、内陸では雪を伴って強風となったところがあり、花巻市、北上市、西和賀町で、農業施設に被害が発生した。

【関連する注警報の発表状況:11月3日】

地域	警報	注意報
内陸	—	風雪
沿岸北部	—	強風
沿岸南部	—	強風



地上天気図 11月3日9時

○3日の観測値

3日の花北地域の日最大風速と日最大瞬間風速

単位:m/s

地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
	風速	風向	風速	風向
沢内	6.4	西南西	14.6	南西
花巻	10.6	西北西	18.5	西
大迫	8.3	西	18.1	西北西
湯田	4.4	北北西	11.0	北北西
北上	6.4	西北西	14.9	西

(2) 被害状況

(単位:千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農業施設	615	パイプハウスのビニール破損17棟	花巻市、北上市、西和賀町
計		615		

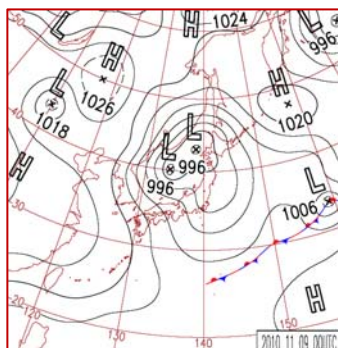
※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

29 11月9日から10日にかけての強風災害

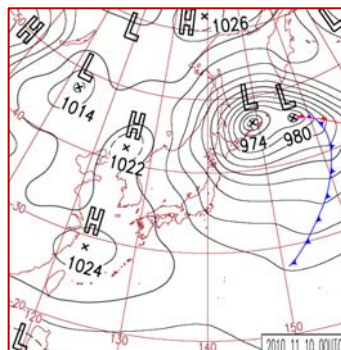
(1) 気象概況

9日は、低気圧が発達しながら北海道付近を通過した。10日は、発達した低気圧が千島近海に進み、北日本は、冬型の気圧配置となった。低気圧の影響により、県内は、強風となったところがあり、10日の日最大風速は、紫波で18.5m/sを観測し、11月として1位の値となった。

強風により、花巻市と北上市で、農作物と農業施設に被害が発生した。



地上天気図 11月9日9時



地上天気図 11月10日9時

【関連する注警報の発表状況:
11月9日~10日】

地域	警報	注意報
岩手県	—	強風

○9日～10日の観測値

11月9日～10日の日最大風速と日最大瞬間風速
花北地域と周辺の主な地点 単位:m/s

日	地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
		風速	風向	風速	風向
9日	紫波	7.7	西	13.0	西
	花巻	6.0	西北西	10.8	西
	大迫	3.4	西	7.0	南南西
	北上	4.2	西北西	11.2	西北西
10日	紫波	18.5	西	29.1	西北西
	花巻	10.2	西	17.5	西北西
	大迫	8.0	西	18.2	西
	北上	6.0	西北西	14.1	北西

注)黄色の網掛は11月として1位の値を更新(統計期間5年以上の要素)

(2) 被害状況

(単位:千円)

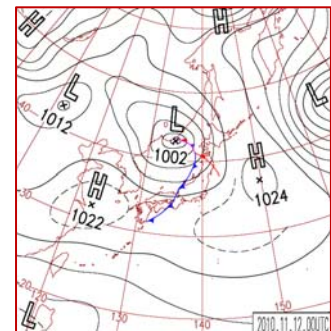
区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	2,270	リンゴの落下 36.70 h a	花巻市、北上市
	農業施設	730	パイプハウスのビニール破損 18 棟	花巻市、北上市
計		3,000		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

30 11月12日の強風災害

(1) 気象概況

12日は、低気圧が日本海北部を北東進し、低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過した。低気圧や寒冷前線の影響により、県内は、強風となったところがあり、紫波町で、農作物に被害が発生した。



地上天気図 11月12日9時

【関連する注警報の発表状況:11月12日】

地域	警報	注意報
盛岡、二戸地域 花北、両磐地域 奥州金ヶ崎地域	—	強風
沿岸北部	—	強風
沿岸南部	—	強風

○12日の観測値

12日の紫波の日最大風速と日最大瞬間風速
単位:m/s

地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
	風速	風向	風速	風向
紫波	12.1	西	19.6	西北西

(2) 被害状況

(単位:千円)

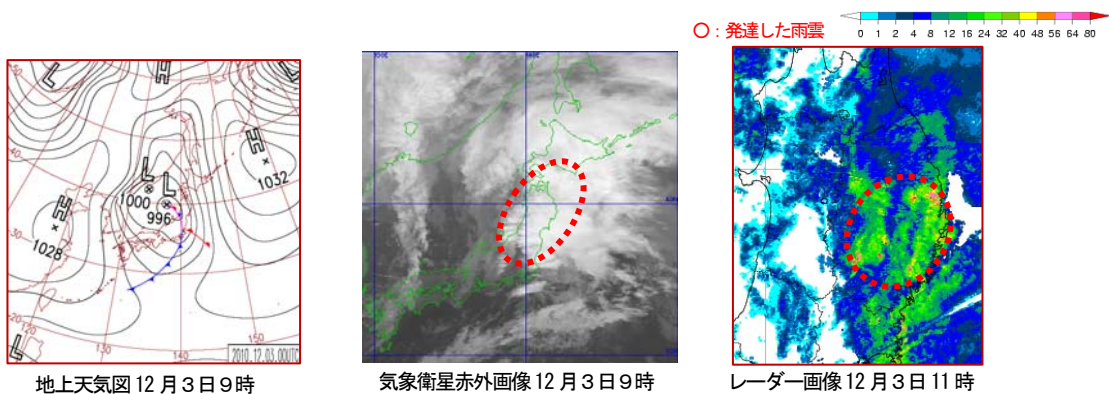
区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農作物等	499	リンゴの落下 5.80 h a	紫波町
計		499		

3.1 12月3日から4日にかけての大雨、暴風、波浪災害

(1) 気象概況

3日は、低気圧が発達しながら日本海を北北東に進み、この低気圧からのびる前線が東北地方を通過した。低気圧や前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となって、沿岸を中心に、激しい雨となるところがあった。3日の日最大1時間降水量は、盛岡13.5mm、大槌31.5mm、住田28.5mmなど、18地点でそれぞれ12月として1位の値となった。また、3日の日降水量は豊沢など6地点で12月として1位の値となった（統計期間5年以上の要素）。その後、発達した低気圧は、北海道の西の海上からオホーツク海に進み、4日にかけて、北日本は冬型の気圧配置となった。岩手県では、沿岸南部を中心に、3日から4日にかけて、大雨や暴風、海上では大しけとなり、大荒れの天気となった。

この影響により、沿岸南部で土砂災害や交通障害・停電被害が発生した。また、8市町で農業施設、農地・農業用施設、森林、沿岸では漁港施設に被害が発生した。



○3日～4日の観測値

3日の県南部の主な地点の降水量

単位:mm

観測所	日降水量	
	3日	日最大1時間降水量
盛岡	49.0	13.5
紫波	50.0	16.0
沢内	56.0	7.5
豊沢	74.0	16.5
花巻	54.0	18.5
附馬牛	53.5	13.0
大槌	112.0	31.5
湯田	54.5	9.5
北上	64.0	23.0
釜石	106.5	25.0
若柳	71.0	26.0
江刺	44.5	16.0
衣川	71.0	27.0
住田	76.0	28.5
大船渡	76.0	30.0

注)黄色の網罫は12月として1位の値を更新
(統計期間5年以上の要素)

【関連する注警報の発表状況:12月3日～4日】

地域	警報	注意報
盛岡、花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雨、洪水 強風、雷
二戸地域	—	強風、雷
遠野地域	大雨	洪水、強風、雷
久慈地域	暴風、波浪	雷、高潮
宮古地域	大雨、洪水 暴風、波浪	雷、高潮
沿岸南部	大雨、洪水 暴風、波浪	雷、高潮

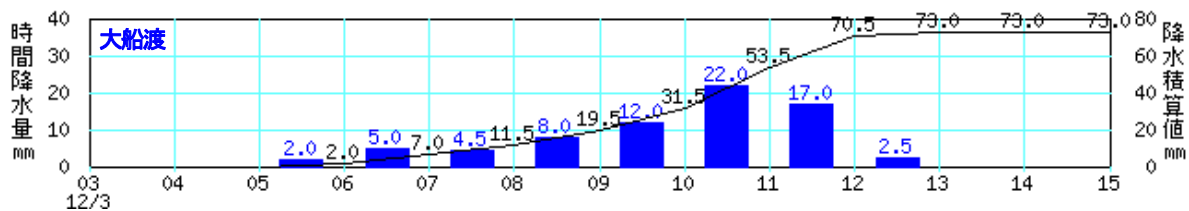
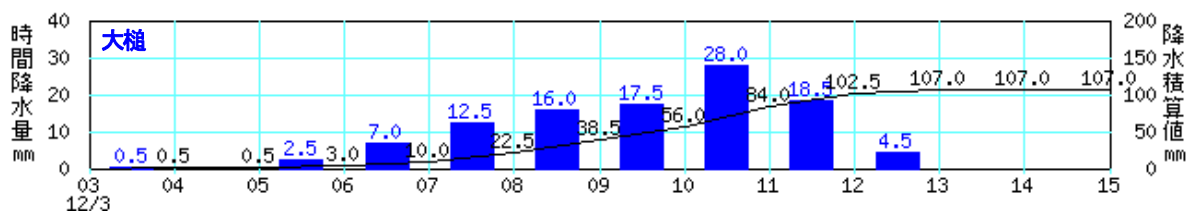
4日の県南部の主な地点の

日最大風速と日最大瞬間風速 単位:m/s

地点	日最大風速/風向		日最大瞬間風速/風向	
	風速	風向	風速	風向
盛岡	9.8	南西	20.8	南西
紫波	10.3	西	20.0	西北西
沢内	12.8	西南西	27.3	西南西
江刺	10.3	北西	18.8	西北西
住田	13.2	西北西	23.9	西
千厩	10.8	西北西	21.4	西

注)黄色の網罫は12月として1位の値を更新
(統計期間5年以上の要素)

○大槌と大船渡の降水量時系列図（12月3日3時～15時）



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区分		被害額	被害状況	被害地域*
農業	農業施設	1,533	パイプハウスのビニール破損40棟	花巻市、北上市、遠野市等5市町
	農地・農業用施設	15,000	堤体の決壊1箇所	陸前高田市
林業	森林	2,000	治山ダム施行地の崩落1箇所	矢巾町
水産業	漁船	200	船外機船沈没1隻	大槌町
	漁港施設	100	岸壁(側溝蓋)の消失1箇所	陸前高田市
計		18,833		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

3 2 12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害

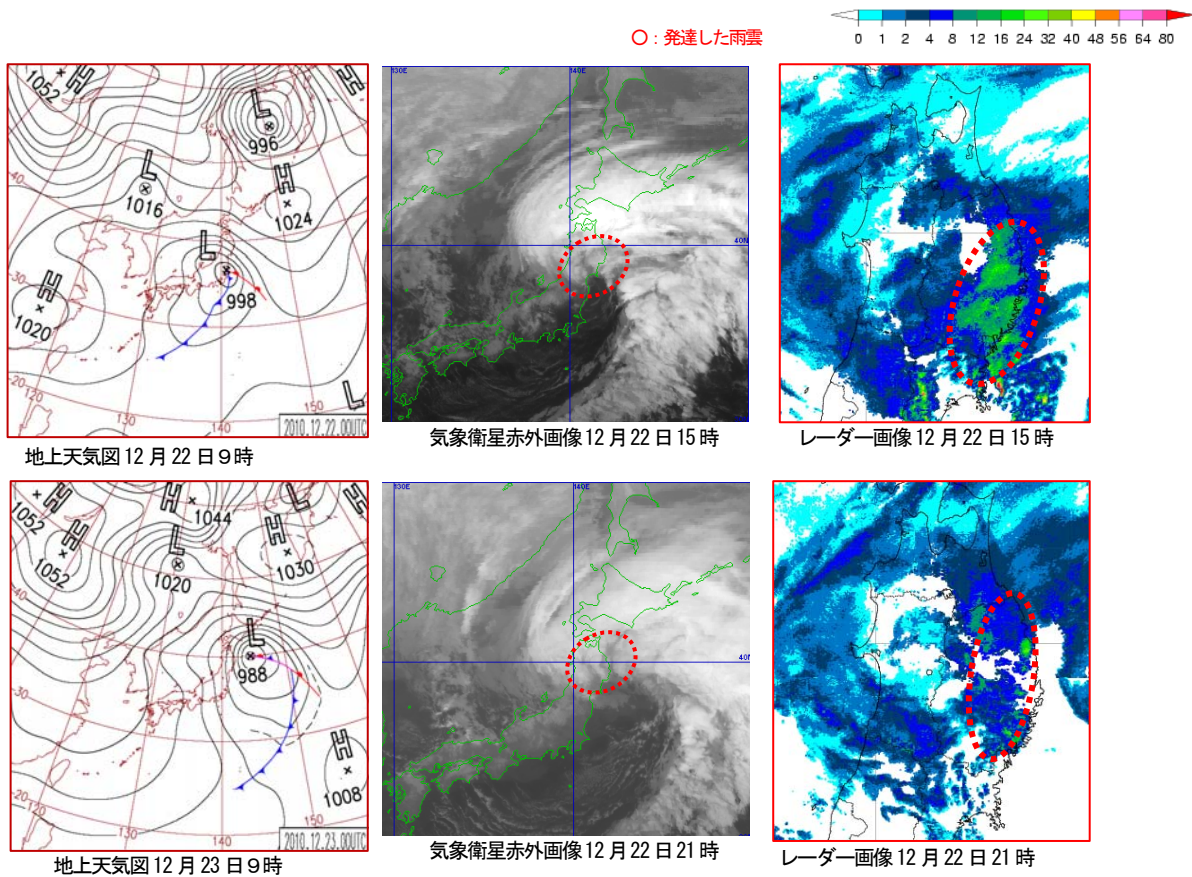
(1) 気象概況

21日9時に、九州南部付近にあった前線を伴った低気圧は、発達しながら関東付近を通り、22日には、東北地方の太平洋側沿いを更に発達しながら北上し、23日夜には北海道の南東に進んだ。

このため、岩手県では、22日の明け方に雨が降り出し、22日の昼過ぎから1時間に10mm以上のやや強い雨となり、低気圧が最も接近した22日夜から23日未明にかけて、沿岸部を中心に、1時間に50mm以上の非常に激しい雨となった。宮古では最大1時間降水量が72mmと、年を通した極値を更新するなど記録的な大雨となった。総降水量(22日4時～23日12時)は岩泉で250.5mm、宮古で220.5mm、久慈市下戸鎖で201.0mmを観測するなど、沿岸北部を中心として150mm以上の大雨となった。22日夜遅くから、県北部の山沿いでは、雨から雪に変わって大雪となり、一戸町奥中山では23日8時までの12時間降雪量は26cmとなった。

また、海上中心に、暴風となり、波の高さは8メートルを超える大しけとなった。

この影響により、岩手県では大雨や暴風となり、沿岸を中心に、浸水害、土砂災害、交通障害、停電被害などが発生した。また、盛岡市、葛巻町など24市町村で農業施設、林業施設等、沿岸では漁船水没や漁港施設などに被害が発生した。



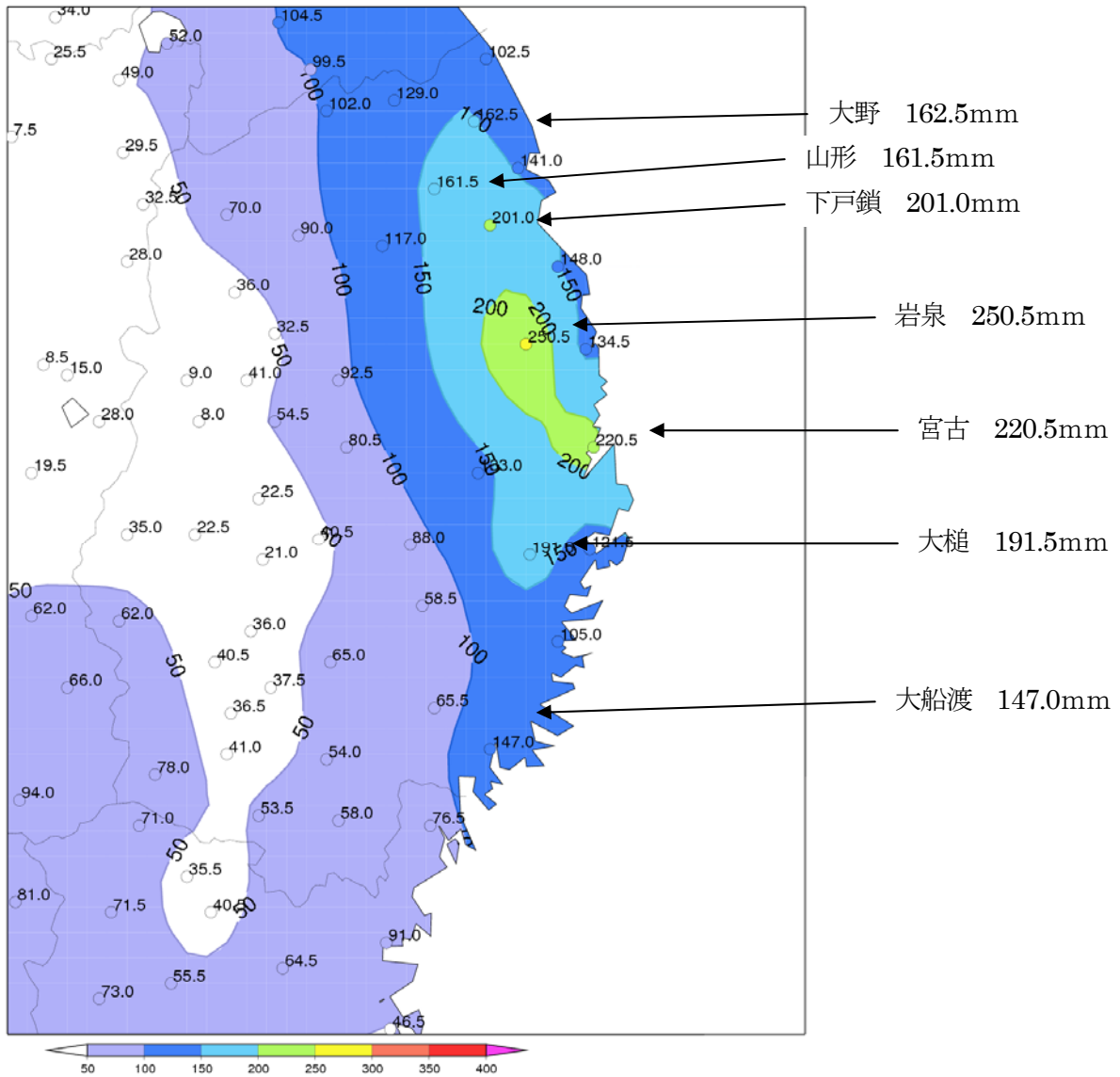
【関連する注警報の発表状況：12月22日～23日】

地域	警報	注意報	地域	警報	注意報
盛岡地域 二戸地域	大雨、洪水	強風(風雪)、雷 大雪、着雪	久慈地域	大雨、洪水 暴風、波浪	雷、高潮 大雪、着雪
花北地域 奥州金ヶ崎地域 両磐地域	—	大雨、洪水 強風(風雪) 雷	宮古地域	大雨、洪水 暴風、波浪	雷、高潮
遠野地域	大雨	洪水 強風(風雪) 雷	沿岸南部	大雨、洪水 暴風、波浪	雷、高潮

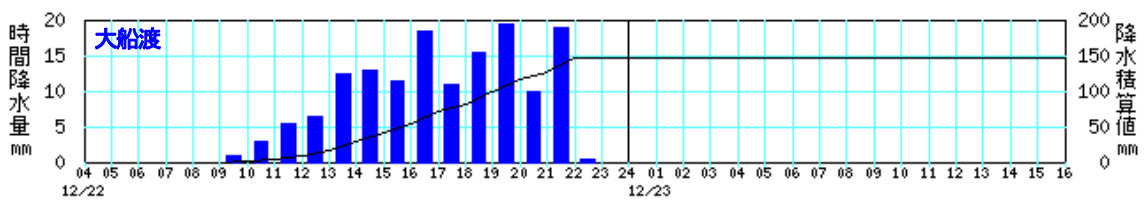
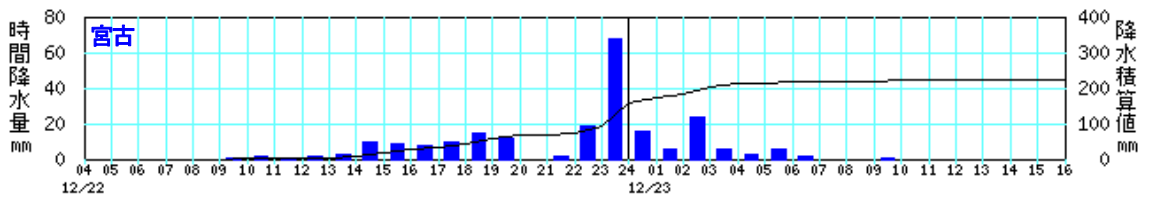
岩手県記録的短時間大雨情報発表 (12月23日00時24分)
0時岩手県で記録的短時間大雨 宮古市東部付近で約100ミリ

○22日～23日の観測値

22日4時～12月23日12時の総降水量 (mm)



○宮古と大船渡の降水量の時系列図 (12月22日4時～23日16時)



総降水量と最大1時間降水量

2010年12月22日04時～23日12時

単位：mm

地点	総降水量	日最大1時間降水量	
		最大	起時
種市	102.5	10.0	23日01時40分
軽米	129.0	10.0	22日22時51分
二戸	102.0	8.0	22日21時47分
大野	162.5	14.0	23日01時26分
山形	161.5	12.0	22日23時05分
久慈	141.0	16.0	23日00時53分
葛巻	117.0	11.0	22日18時20分
下戸鎖	201.0	24.0	23日02時01分
普代	148.0	27.5	23日04時06分
岩泉	250.5	35.0	23日01時10分
小本	134.5	22.0	23日00時02分
宮古	220.5	72.0	23日00時07分
川井	133.0	16.5	22日21時16分
大槌	191.5	43.5	22日20時33分
山田	121.5	21.5	22日19時31分
釜石	105.0	30.0	22日19時49分
大船渡	147.0	22.5	22日20時13分

注1) 黄色の網掛は12月として1位の値を更新
 注2) 橙色の網掛は年として1位の値を更新
 (ともに統計期間5年以上の要素)

最大風速と最大瞬間風速

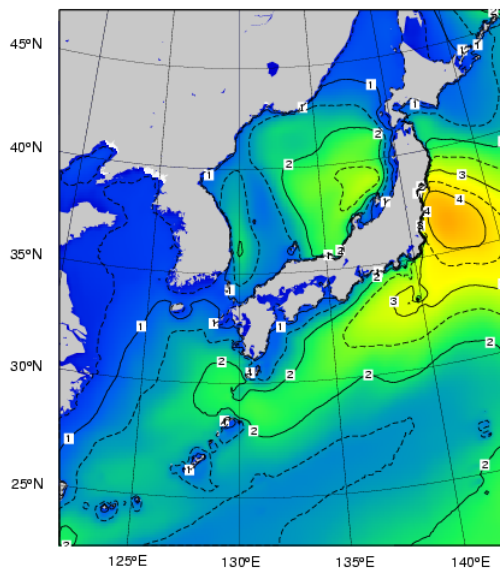
2010年12月22日04時～23日12時

単位：m/s

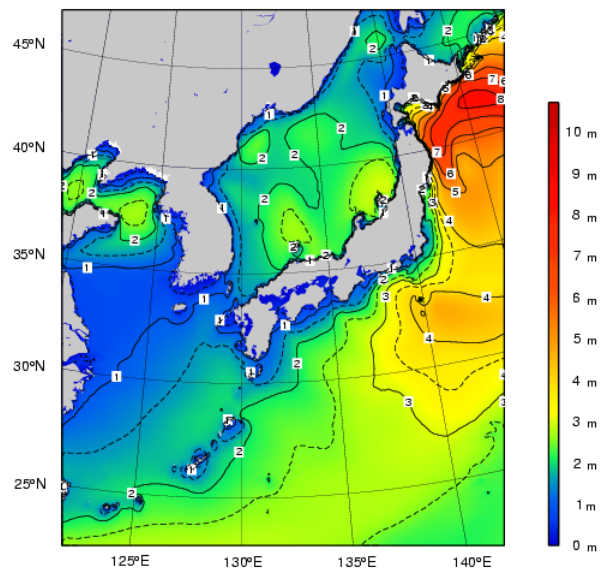
地点	最大風速			最大瞬間風速		
	風速	風向	起時	風速	風向	起時
久慈	10.4	北東	22日23時05分	22.2	北北西	23日01時33分
岩泉	11.0	東北東	22日23時45分	22.7	東北東	22日22時11分
小本	19.4	東北東	22日21時59分	30.3	東北東	22日21時50分
盛岡	14.0	北東	23日01時27分	23.9	北北西	23日00時18分
宮古	15.1	北北東	22日22時07分	28.5	北北東	22日22時00分
紫波	17.6	北北西	23日01時09分	26.7	北北西	23日02時38分
花巻	14.1	北北西	23日03時55分	22.1	北北西	23日01時40分
江刺	11.6	北北西	23日02時13分	19.3	北北西	23日01時29分
住田	10.9	西北西	23日03時28分	17.7	東南東	22日10時09分
大船渡	11.2	北西	23日02時52分	23.4	北北東	22日16時56分
千厩	12.9	北西	23日05時26分	23.5	北北西	23日04時31分

注1) 黄色の網掛は12月として1位の値を更新
 注2) 橙色の網掛は年として1位の値を更新
 (ともに統計期間5年以上の要素)

沿岸波浪図



沿岸波浪図 12月22日9時



沿岸波浪図 12月23日9時

(2) 被害状況

(単位：千円)

区分	被害額	被害状況	被害地域*
農業	農作物等	35	倒壊したハウスの下敷きによるベビーリーフの被害0.05ha
	家畜等	3,126	停電により搾乳できず30,927kg
	農業施設	6,855	パイプハウス破損等69棟・箇所
農業	農地・農業用施設	16,000	法面崩壊等17箇所

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
林 業	林業施設	43,571	林地崩壊等 60 箇所	岩手町、宮古市、岩泉町 6 市町
	森 林	2,276	県有林幹折れ等 0,92 h a	軽米町、釜石市、大槌町
水産業	水産施設	12,289	荷捌き施設の破損等 9 箇所	洋野町、久慈市、岩泉町
	漁 船	17,010	漁船の流失・破損等 49 隻	久慈市、洋野町、山田町 7 市町村
	漁 具	1,028,800	定置網の流失等 44 ヶ統・箇所	久慈市、普代村、田野畑村 8 市町村
	養殖施設	35,950	養殖施設の破損等 389 台	野田村、山田町、久慈市 8 市町村
	水産物	107,250	養殖物の落下等 794,500 kg	普代村、野田村、田野畑村
	漁港施設	130,540	防波堤の傾斜、ごみ漂着等 27 箇所	普代村、久慈市、洋野町 8 市町村
計		1,458,232		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

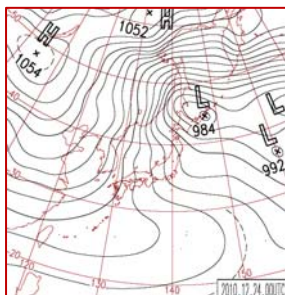
3.3 12月24日から26日にかけての大雪災害

(1) 気象概況

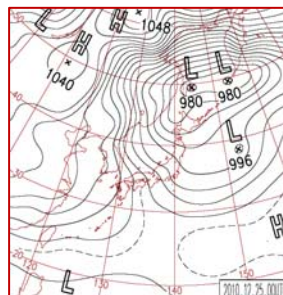
24日から26日にかけて、日本付近は強い冬型の気圧配置が続き、内陸を中心に、大雪となった。24日から26日の降雪量は、各地で平年を大きく上回り、25日の降雪量は、北上で43cmを観測し、12月として1位の値となった。

また、26日の最深積雪は、北上で56cmを観測し、12月として1位の月最深積雪を記録した。

この影響により、内陸を中心に、盛岡市や葛巻町など11市町で、雪圧による農業施設、樹木の倒木や枝折れの農林業被害が発生した。



地上天気図 12月24日9時



地上天気図 12月25日9時

【関連する注警報の発表状況：

12月24日～26日】

地域	警報	注意報
内陸	—	大雪、着雪
久慈地域	—	大雪
宮古地域	—	大雪、着雪
沿岸南部	—	大雪、着雪

○24日～26日の観測値

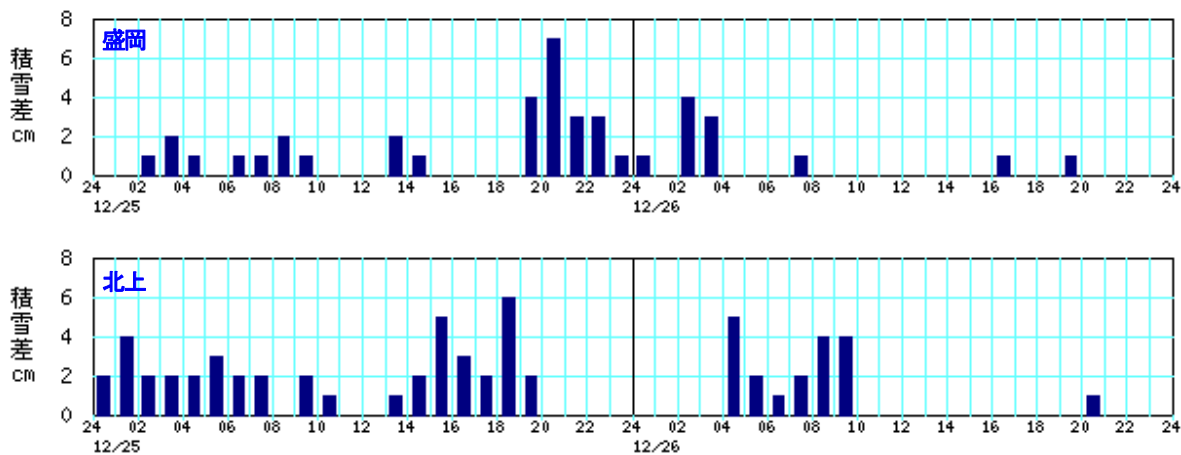
24日～26日の内陸の降雪量

地点	降雪量(cm)			
	24日	25日	26日	合計
二戸	8	20	2	30
奥中山	9	19	1	29
葛巻	4	15	7	26
岩手松尾	6	18	3	27
雫石	16	17	16	49
盛岡	9	30	11	50
区界	13	40	10	63
湯田	26	42	27	95
遠野	0	22	10	32
北上	2	43	19	64
祭時	23	33	21	77
一関	0	24	4	28

注)黄色の網罫は12月として1位の値を更新

(統計期間6年以上の地点)

○盛岡と北上の降雪量の時系列図（12月24日24時～26日24時）



(2) 被害状況

(単位: 千円)

区 分		被害額	被害状況	被害地域*
農 業	農業施設	93,219	パイプハウスの破損等 265 棟	花巻市、盛岡市、一関市 9 市町
林 業	森 林	36,114	県有林の倒木等 25.55 h a	岩手町、葛巻町
計		129,333		

※「被害地域」の欄の市町村は、被害額が多い順に記載。

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 2月28日の津波災害

(1) 水産関係被害に対する対策

① 被災漁家への対策

定置網の破損・流出などにより、大きな被害が発生したが、被害を受けた定置網の殆どが、漁業施設共済に加入していないことから、漁業共済組合と連携し、平成21年10月から導入された「地震等限定特約」も含め、漁業施設共済への加入促進を働きかけた。

また、被害を受けた漁業者に対する資金の円滑な融通及び既往借入金の償還猶予等が図られるよう、金融機関等に要請した。

② 復旧対策事業等（技術対策等）

【養殖施設の復旧支援】

将来にそなえ、単なる復旧にとどまらず、耐波性能が高く災害に強い養殖業を再構築する養殖施設の整備に対して支援。

- 強い水産業づくり交付金（国庫交付金） 70,478千円
- 地域営漁計画推進特別対策事業（県単補助金） 31,691千円

【漁業施設資材・水産物等の廃棄処分支援】

破損した定置網や養殖施設資材、水産物の撤去及び廃棄処分に要する経費について、市町村が負担及び漁協へ補助する経費を補助。

- 地域営漁計画推進特別対策事業（県単補助金） 21,375千円

【養殖用種苗の購入支援】

被災により流失した養殖用種苗の購入に対し市町村が漁協へ補助する経費を補助。

- 地域営漁計画推進特別対策事業（県単補助金） 8,480千円

【激甚災害指定】

4月23日に政令公布され、かき、ほたてがい、ほや、わかめ、こんぶ、えぞいしかげがいの養殖施設が対象となり、本県では、大槌町のほたてがい養殖漁業者13名が養殖施設災害復旧事業を活用。

- 復旧事業費 3,921,538円（国庫補助金額 3,529,373円）

2 7月2日から4日にかけての大雨災害

(1) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し12箇所25,917千円の採択を申請した。

国による災害査定は、9月6日から8日にかけて実施され、12箇所15,441千円が採択された。

なお、国庫補助率は、農地50%、農業用施設65%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高及び激甚法に基づく特別措置の適用を申請したことにより、農地91.1%、農業用施設95.9%となった。

(2) 林地荒廃に対する対策

葛巻町の2箇所で、溪岸浸食により発生した土砂が、下流の草地及び町道に流出する被害が発生した。復旧対策については、国庫補助治山事業等の導入に向けて計画している。

3 7月8日の降雹災害

(1) 農作物被害に対する対策

① 技術対策等

降雹による農作物被害を最小限に抑えるため、関係機関・団体に対し、農作物技術情報（号外（降雹被害事後対策）：7月9日）の発行についてメール等で周知するとともに、

ホームページによる公開、報道機関への連絡など、農家への周知につとめた。

② 復旧対策事業

降雹により、キャベツ、だいこんに葉の損傷等が発生し、生育不良や軟腐病等病害の発生による生産量、品質の低下が懸念された。

このため、岩手町において、緊急薬剤防除対策及びまき直し、代作等に要した経費に対して、同様の被害が懸念された7月17日及び7月24日から25日の大雨被害対策と一体的に助成を行った。

【平成22年7月8日の降雹による農作物災害復旧対策事業実績】

振興局等	市町村	対象作物	対策の内容	事業面積 (a)	事業費 (千円)	県補助金 (千円)
盛岡	岩手町	キャベツ	緊急薬剤防除	300	148	1,721
			まき直し	600	2,038	
			改植	200	1,167	
			代作(だいこん)	400	907	
		だいこん	まき直し	400	907	
		合計	1,900	5,167		

(2) 畜産関係被害に対する対策

① 被災畜産農家への対策

飼料用とうもろこし被害への対応について、「エン麦+ライ麦」の作付けによる粗飼料確保について指導を行った。

4 7月17日の大雨災害

(1) 作物被害に対する対策

① 技術対策等

大雨による農作物の被害を最小限に抑えるため、市町村や関係機関・団体に対し、大雨に関する技術指導通知を発出(7月16日)した。また、被害のあった地域において、影響を最小限に抑えるための病虫害防除(緊急防除)やまき直し等の指導を徹底した。

② 復旧対策事業

大雨やそれに伴う圃場への土砂流入により、キャベツやだいこんに生育不良や軟腐病等病害の発生による生産量、品質の低下被害が懸念された。

このため、岩手町において、緊急薬剤防除対策及びまき直し、代作に要した経費に対して、同様の被害が懸念された7月8日の降雹及び7月24日から25日の大雨被害対策と一体的に助成を行った。

【平成22年7月17日の大雨による農作物災害復旧対策事業実績】

振興局等	市町村	対象作物	対策の内容	事業面積 (a)	事業費 (千円)	県補助金 (千円)
盛岡	岩手町	キャベツ	緊急薬剤防除	285	141	96
			代作(だいこん)	47	107	
		だいこん	まき直し	19	43	
		合計	351	291		

(2) 農地・農業用施設被害に対する対策

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し50箇所265,372千円の採択を申請した。

国による災害査定は、9月27日から10月8日にかけて実施され、51箇所246,275千円が採択された。

また、岩手町横沢地区では、農地災害関連区画整備事業の導入により、災害復旧事業に併せ、区画整備を実施することとした。

なお、国庫補助率は農地 50%、農業用施設 65%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高及び激甚法に基づく特別措置の適用を申請したことにより、農地 98.2%、農業用施設 99.8%となった。

(3) 林業関係被害に対する対策

① 林業施設被害への対策

林道施設災害復旧事業については、暫定法に基づき、岩手町及び一戸町が管理している林道施設 2 路線 3 箇所 18,182 千円について、国に対し査定申請を行った。

9 月 9 日から 10 日の現地査定の結果、2 路線 3 箇所 13,398 千円が、国庫補助の災害復旧事業として採択され、年度内に、全箇所の復旧工事が完了した。

なお、国庫補助率は奥地 65%、その他 50%が基本であるが、本災害に係る国庫補助率は、暫定法による補助率増高及び激甚法に基づく特別措置の適用を申請したことにより、74.9%及び 96.6%となった。

② 林地荒廃への対策

林地荒廃の被害については、災害関連緊急治山事業により、岩手町 10 箇所、一戸町 2 箇所の計 12 箇所を事業費 323,279 千円で復旧整備を実施することとなった。

また、災害関連緊急治山事業施行地以外の被災箇所については、平成 23 年度以降、国庫補助治山事業等により、復旧整備を図ることとしている。

5 6 月から 8 月にかけての暑熱災害

(1) 農作物被害に対する対策

① 技術対策等

高温、暑熱による農作物被害を最小限に抑えるため、関係機関・団体に対し、高温、暑熱に関する農作物技術情報（第 5 号：7 月 29 日、第 6 号：8 月 25 日、号外（高温対策）：8 月 5 日、号外（水稻適期刈り取り対策）：9 月 2 日）の発行について、メール等で周知するとともに、ホームページによる公開、報道機関への連絡など、農家への周知につとめた。

また、市町村や関係機関・団体に対し、暑熱対策等に関する技術指導通知を发出（8 月 11 日、8 月 26 日）した。

さらに、各農業改良普及センター等において、巡回、指導会等やチラシ及び FAX 情報を活用した技術情報の提供など、被害を最小限に抑えるための技術指導を徹底した。

なお、中央農業改良普及センターでは、今後の技術対策の資料とするため、対策効果が認められた技術や優良事例を収集し、「平成 22 年度高温気象による農作物への影響について」（12 月発行）を作成した。

② 復旧対策事業

7 月から 8 月の暑熱（異常高温）により、ほうれんそうの生育不良などによる生産量の低下被害が懸念された。

このため、久慈市及び洋野町において、まき直しに要した経費に対して助成を行った。

【平成 22 年 6 月から 8 月までの暑熱による農作物災害復旧対策事業実績】

振興局等	市町村	対象作物	対策の内容	事業面積 (a)	事業費 (千円)	県補助金 (千円)
県北 (本局)	久慈市	ほうれんそう	まき直し	820	1,480	493
	洋野町	ほうれんそう	まき直し	760	1,441	457
	合計			1,580	2,921	950

(2) 畜産関係被害に対する対策

① 被災畜産農家への対策

換気扇等による送風や家畜への散水、牛の毛刈りやビタミン、ミネラルの栄養補足など、牛の健康管理や飼養面から、具体的な暑熱対策についての指導を行った。

6 12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害

(1) 農業施設被害に対する対策

① 被災農畜産農家への対策

農業共済の対象となる園芸施設（ビニールハウス等）や建物（牛舎、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、農業共済組合による現地確認や損害評価を速やかに実施し、共済被害量・共済金支払額を確定させ、農家への共済金の支払が早期に行われるよう、農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農林水産業者への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に協力要請するとともに、生産活動の継続や再開のための制度資金の紹介等を行う融資相談窓口を本庁及び広域振興局等に設置して助言等を行った。

② 復旧対策事業

暴風、波浪、大雪等で被災した地域の農業の復興を図るため、いわて希望農業担い手応援事業費補助で、新たな産地づくりに必要な施設等の整備を支援した。

(単位：千円)

振興局名	市町村名	事業費	補助金額	主な事業内容
盛岡	盛岡市	26,084	8,694	パイプハウス 26 棟、畜舎 1 棟
	八幡平市	8,632	2,877	パイプハウス 15 棟
	葛巻町	49,406	16,465	パイプハウス 3 棟、畜舎 4 棟、堆肥舎 13 棟
	岩手町	37,275	12,423	パイプハウス 46 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)
	滝沢村	9,196	3,065	パイプハウス 4 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)
	紫波町	7,182	2,394	パイプハウス 6 棟
	矢巾町	9,100	3,033	パイプハウス 8 棟
	(計)	146,875	48,951	パイプハウス 108 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、畜舎 5 棟、堆肥舎 13 棟
県南) 花巻	花巻市	50,867	16,955	パイプハウス 25 棟、ぶどう棚 7 件(1.1ha)
沿岸) 宮古	宮古市	28,400	9,466	パイプハウス 31 棟、畜舎 2 棟
	岩泉町	41,880	13,959	パイプハウス 30 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、畜舎 1 棟
	田野畑村	3,960	1,320	畜舎 1 棟
	(計)	74,240	24,745	パイプハウス 61 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、畜舎 4 棟
県北) 二戸	一戸町	12,317	4,105	パイプハウス 9 棟、畜舎 1 棟
	九戸村	1,323	441	堆肥舎 1 棟
	(計)	13,640	4,546	パイプハウス 9 棟、畜舎 1 棟、堆肥舎 1 棟
計		285,622	95,197	パイプハウス 203 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、ぶどう棚 7 件(1.1ha)、畜舎 10 棟、堆肥舎 14 棟

(2) 畜産関係被害に対する対策

① 被災畜産農家への対策

停電に伴う搾乳機器、生乳保冷機器（バルククーラー）の稼働不能による乳牛の体調不良（乳房炎等）の回復のための助言、指導を行った。

(3) 林業関係被害に対する対策

① 特用林産施設被害に対する対策

大雪により、しいたけ栽培用ハウス（パイプハウス等）が倒壊し、9市町村で57棟の被害があった。その対策については、事業者が加入する保険等の補償などによるほか、復興に向けいわて希望農業担い手応援事業により支援した。

② 林道施設被害への対策

釜石市ほか4市町で47路線57箇所の被害となっており、小災害のため管理者である市町において、通常の維持管理等で対応することとしている。

③ 林地荒廃に対する対策

平成23年度国庫補助治山事業等により、岩手町1箇所、宮古市1箇所を、事業費49,000千円で復旧整備を図ることとしている。

(4) 水産関係被害に対する対策

① 被災漁家への対策

定置網の破損・流出などにより、大きな被害を受けた漁協があったが、被害を受けた定置網の共済加入が「地震等限定特約」にとどまっていたため、漁業共済組合と連携し、低気圧災害に対応できる通常填補方式の共済加入を働きかけた。

既存の制度資金では十分な対応が難しい定置網の復旧に対しては、定置網の購入・修繕に要する資金を貸し付けするため、県単独の定置網復旧緊急支援資金を創設するなどして対応した。

② 復旧対策事業等（技術対策等）

当該災害の被害状況確定前に、平成22年12月30日から平成23年1月2日にかけての大雪、暴風、波浪災害に見まわれ、より大きな被害を受けたことから、復旧対策事業は、一体的に実施した。

【養殖施設の復旧支援】

復旧にとどまらず、耐波性能が高く災害に強い養殖業を再構築する養殖施設の整備に対して支援した。

なお、国の制度改正に伴い、平成23年度からは強い水産業づくり交付金（国庫交付金）が県を經由せず直接地区協議会へ交付されることから、国庫交付金を活用した復旧については、事務手続き等の指導を実施した。

○ 地域営漁計画推進特別対策事業（県単補助金） 予算額 40,573千円

【漁業施設資材・水産物等の廃棄処分支援】

被災により破損した定置網や養殖施設資材、水産物の撤去および廃棄処分の経費について、市町村が負担および漁協へ補助する経費を補助。

○ 地域営漁計画推進特別対策事業（県単補助金） 予算額 37,646千円

【養殖用種苗の購入支援】

被災により流失した養殖用種苗の購入に対し市町村が漁協へ補助する経費を補助。

○ 地域営漁計画推進特別対策事業（県単補助金） 予算額 5,125千円

(5) 漁港施設被害に対する対策

防波堤倒壊、消波ブロック飛散等、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（以下「負担法」）の採択基準を満たす被害が、普代村管理の白井漁港において発生した。しかし、災害査定前の平成22年12月30日から平成23年1月2日にかけての大雪、暴風、波

浪災害により増破したことから、平成 23 年災害として増破分と併せて負担法に基づく申請を行い、平成 23 年 3 月 1 日から 4 日の災害査定により事業採択された。

負担法の対象とならない県管理漁港の大槌漁港における泊地へのごみの堆積や久慈市管理の小袖漁港における用地舗装の破損など、その他の災害については、それぞれ県、市町村単独災害復旧事業により復旧を行った。

7 12 月 24 日から 26 日にかけての大雪山災害

(1) 農業施設被害に対する対策

① 被災農家への対策

農業共済の対象となる園芸施設（ビニールハウス等）や建物（牛舎、作業小屋等）等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、農業共済組合による現地確認や損害評価を速やかに実施し、共済被害量・共済金支払額を確定させ、農家への共済金の支払が早期に行われるよう、農業共済団体を指導した。

② 復旧対策事業

被災した地域の農業の復興を図るため、いわて希望農業担い手応援事業費補助で、新たな産地づくりに必要な施設等の整備を支援した。

(単位：千円)

振興局名	市町村名	事業費	補助金額	主な事業内容
盛岡	盛岡市	26,084	8,694	パイプハウス 26 棟、畜舎 1 棟
	八幡平市	8,632	2,877	パイプハウス 15 棟
	葛巻町	49,406	16,465	パイプハウス 3 棟、畜舎 4 棟、堆肥舎 13 棟
	岩手町	37,275	12,423	パイプハウス 46 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)
	滝沢村	9,196	3,065	パイプハウス 4 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)
	紫波町	7,182	2,394	パイプハウス 6 棟
	矢巾町	9,100	3,033	パイプハウス 8 棟
	(計)	146,875	48,951	パイプハウス 108 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、畜舎 5 棟、堆肥舎 13 棟
県南) 花巻	花巻市	50,867	16,955	パイプハウス 25 棟、ぶどう棚 7 件(1.1ha)
沿岸) 宮古	宮古市	28,400	9,466	パイプハウス 31 棟、畜舎 2 棟
	岩泉町	41,880	13,959	パイプハウス 30 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、畜舎 1 棟
	田野畑村	3,960	1,320	畜舎 1 棟
	(計)	74,240	24,745	パイプハウス 61 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、畜舎 4 棟
県北) 二戸	一戸町	12,317	4,105	パイプハウス 9 棟、畜舎 1 棟
	九戸村	1,323	441	堆肥舎 1 棟
	(計)	13,640	4,546	パイプハウス 9 棟、畜舎 1 棟、堆肥舎 1 棟
計		285,622	95,197	パイプハウス 203 棟(しいたけ栽培用ハウス含む)、ぶどう棚 7 件(1.1ha)、畜舎 10 棟、堆肥舎 14 棟

(2) 林業関係被害に対する対策

県有林の被害状況については、葛巻町 2 箇所、岩手町 5 箇所の計 7 箇所 36,114 千円の被害となっており、通常の除間伐作業と併せて被害木の整理を図ることとしている。

V 参考資料

農林水産部災害対策実施マニュアル

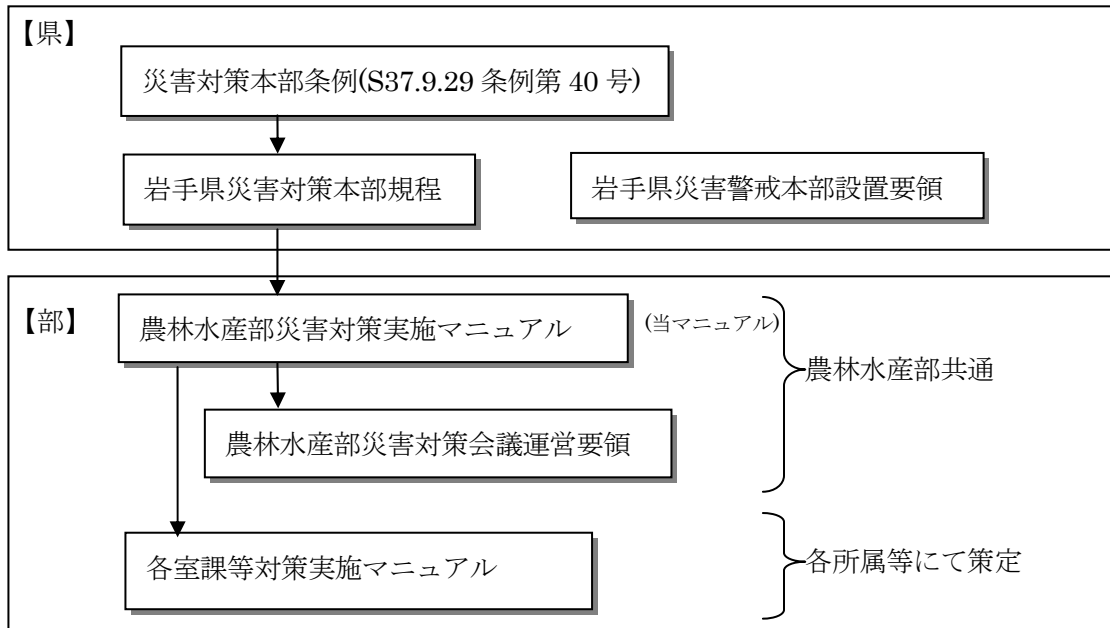
制 定 平成15年5月1日

最終改正 平成18年4月1日

このマニュアルは、岩手県災害対策本部規程（平成8年岩手県災害対策本部長訓令第2号）第9条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合(以下「災害発生時」という。)において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第3章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行なわれる。

また、岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、関係する広域振興局、総合支局及び地方振興局（以下、「振興局等」という。）に地方支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

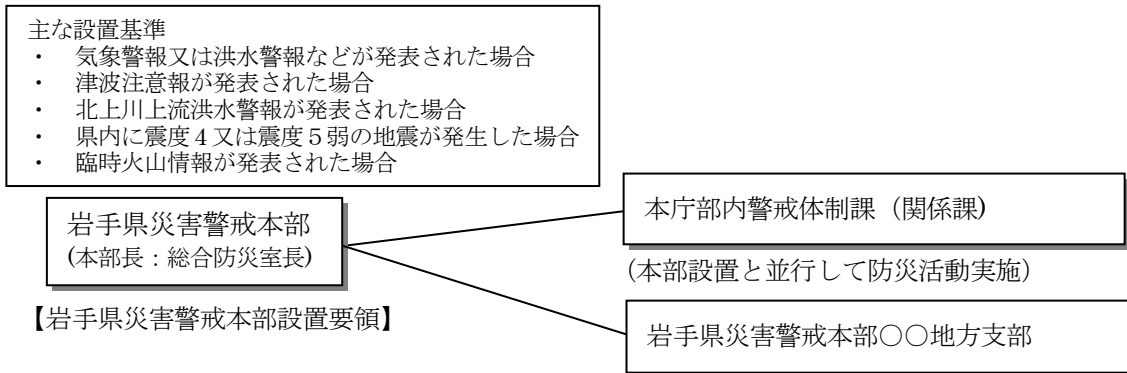
岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 『農林水産部災害対策実施マニュアル』

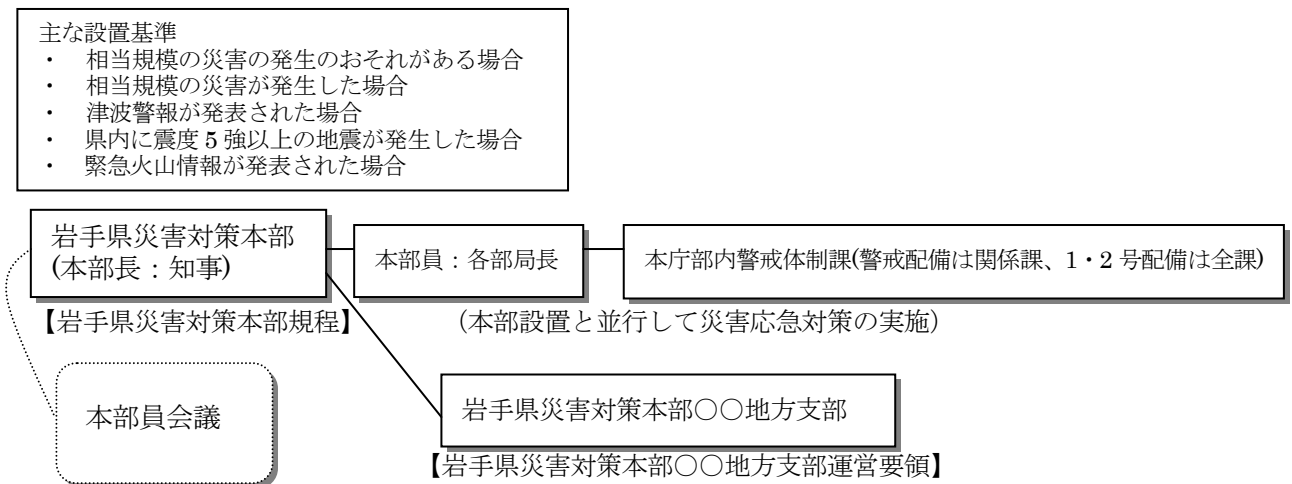
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第3章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置



★岩手県災害対策本部の設置



III 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第21条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①警戒配備、②1号非常配備、③2号非常配備となっている。

また、気象予警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒体制をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。
- (3) 振興局等農林水産担当部等の職員及び出先機関の職員は、振興局等各部長又は各地方支部長の指示を受けた所属長の指示により執務する。

警 戒 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		1 気象警報、高潮警報、波浪警報、洪水警報、津波注意報若しくは臨時火山情報（火山噴火予知連絡会の統一見解を除く。）が発表され、又は大規模な火災、爆発等により相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 2 北上川上流洪水警報、北上川上流水防警報又は閉伊川水防警報が発表され、かつ、相当規模の災害の発生のおそれがあると認められる場合 3 津波警報が発表された場合 4 県内に震度5強の地震が発生した場合 5 県内の火山について緊急火山情報が発表された場合	
本 庁	活動要領	部 長	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。 (1) 災害対策本部員会議への付議 (2) その他必要と認める事項の処理 2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。 3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。 4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。
		各室課の長	(農林水産企画室長処理事項) 本庁関係課、振興局等農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。 (各室課の長共通処理事項) 1 マニュアルに従い、振興局等農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。 2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課、漁港漁村課及び部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当並びに各課の長があらかじめ指名する職員	
振興局等農林水産担当部等	活動要領	振興局等農林水産担当部長等	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課又は農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。
		配備職員	振興局等農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員
出先機関	活動要領	出先機関の長	1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。 2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。 3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。 4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。
		配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

1 号 非 常 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		1 相当規模の災害が発生した場合 2 大津波警報が発表された場合	
本 庁	活 動 要 領	部 長	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		室 課 の 長	(農林水産企画室長処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 警戒配備体制における活動に準ずる。
	配備職員	すべての課の主査相当職以上の職員及び各課の長があらかじめ指名する職員	
部 等 振 興 局 等 農 林 水 産 担 当	活 動 要 領	振 興 局 等 農 林 水 産 担 当 部 長 等	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
			配備職員
出 先 機 関	活 動 要 領	出 先 機 関 の 長	警戒配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
			配備職員

2 号 非 常 配 備 体 制

区 分		説 明	
配備基準		1 大災害が発生した場合において、本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認められる場合 2 県内に震度6弱以上の地震が発生した場合	
本 庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
	配備職員	全職員	
部 等 林 水 産 担 当 振 興 局 等 農	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
	配備職員	全職員	
出 先 機 関	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。	
	配備職員	全職員	

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、部長が部内の職員のうちから指名する。

本部連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令の伝達、各部門間の連絡・調整及び情報収集の業務を担当する。

4 緊急初動特別班員（県災害対策本部規程第17条）

本部（及び地方支部）に、緊急初動特別班を置き、班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。

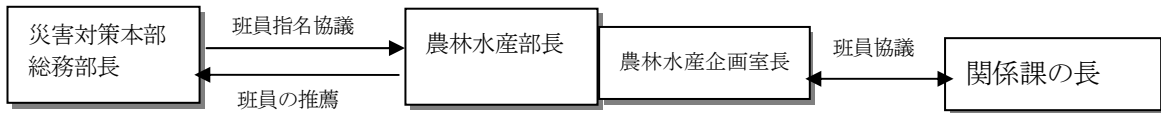
緊急初動特別班員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害情報の収集・報告・周知、災害応急対策の実施、国、市町村その他の関係機関との連絡等に関する事務を行う。

5 災害対策本部調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第19条）

岩手県災害対策本部に調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

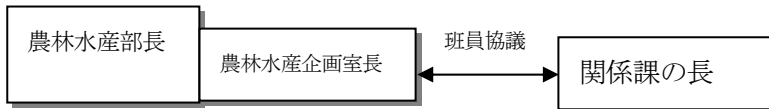
班員は、総務部長が農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

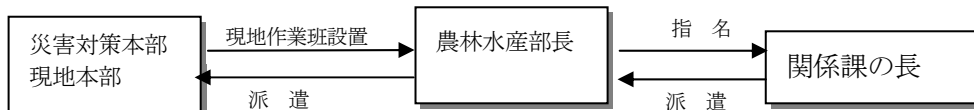
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第20条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認めるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 29 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 23 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、本部連絡員にも伝えられる】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

③ 振興局等農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

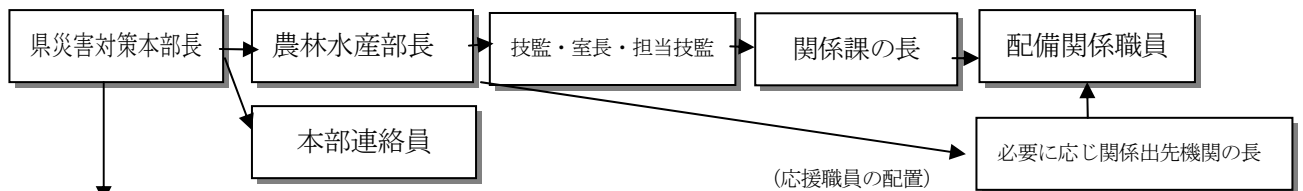
④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

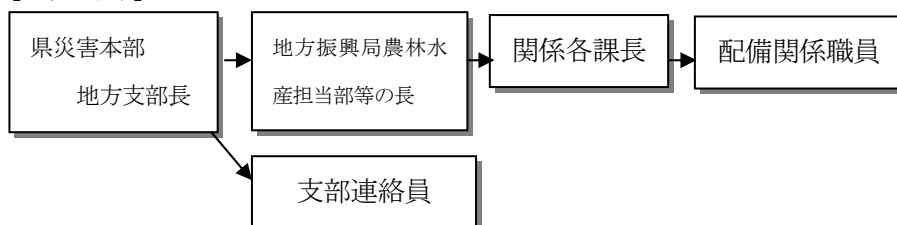
⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

非常招集体系図

【本庁・出先機関】



【振興局等】



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 24 条）

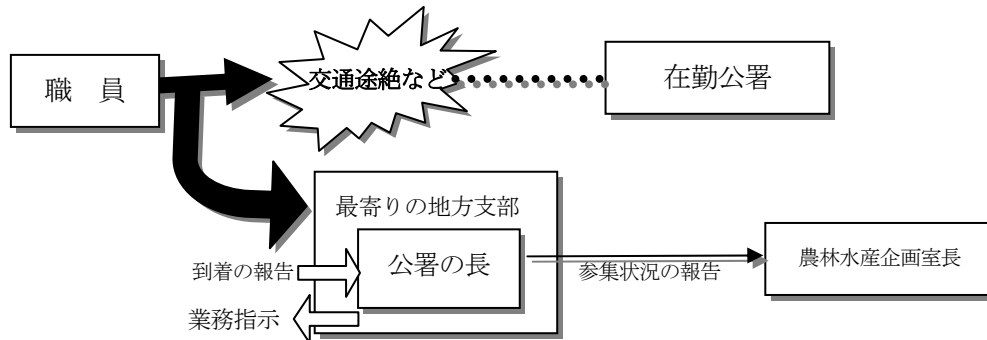
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である】

2 在勤公署に参集できない場合の対応

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集し、参集先の公署の長に到着の報告を行なうとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。

その場合、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当者

本庁各室課の長、振興局等農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、振興局等農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農林水産企画室	1 部内各課等の連絡調整に関すること。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関すること。	1 情報の収集・伝達計画 ・農業施設被害報告 ・農作物等被害報告 ・家畜等被害報告 ・水産関係被害報告 2 広報広聴計画 ・所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 3 林野火災応急対策計画 ・農業施設被害情報の収集 ・農作物等被害情報の収集 ・家畜等被害情報の収集	
団体指導課	1 農業共済に関すること。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関すること。		
流通課	1 農畜産物及びその加工品の調達及びあっせんに関すること。 2 食料品取扱機関との連絡に関すること。	1 相互応援協力計画 ・米穀の調達に係る岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・畜産副食物の調達に係る畜産加工品製造業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料供給計画 ・農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん	
農業振興課	1 経営構造対策事業及び山村等振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。		1 農作物気象災害対策のとりまとめに関すること。
農業普及技術課	1 農作物の被害の技術対策に関すること。 2 農業気象に関すること。 3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。 4 病害虫防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。 5 病害虫防除に関すること。	1 相互応援協力計画 ・肥料及び病害虫防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 農林水産物応急対策計画 ・栽培・管理及び病害虫防除に係る技術指導	1 低温・日照不足の異常気象による被災農家の救済対策や消費者に対する適時適切な情報提供等に関すること。
農村計画課	1 他課等に対する応援に関すること。		

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
農村建設課	<ol style="list-style-type: none"> 1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。 2 農地、農業用施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 国営土地改良事業及び県営土地改良事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害報告 3 農地農業用施設応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設に係る被害状況調査及び応急対策の実施 	
農産園芸課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。 2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。 3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・農作物の種苗及び蚕種の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	
畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害の取りまとめに関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・畜産対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 木材及び木炭の調達及びあっせんに関すること。 2 林産物及び林業関係施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産施設関係被害報告 ・林産物関係被害報告 ・国有林の施設・森林等被害報告 2 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 生活必需品供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木炭の調達及びあっせん 4 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 5 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 6 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産施設関係被害情報の収集 ・林産物関係被害情報の収集 ・国有林の施設・森林等被害情報の収集 	

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防に関すること。 2 林業種苗の調達及びあっせんに関すること。 3 林業関係施設（林業振興課の主管に属するものを除く。）の被害調査及び応急対策に関すること。 4 森林の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・森林関係被害報告 2 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消火薬剤及び消防資機材の調達及びあっせん ・森林関係被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 県有林の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害報告 ・県有林関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産施設、林道、作業道以外の林業施設関係被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関すること。 2 水産食品の調達及びあっせんに関すること。 3 漁業災害補償に関すること。 4 海上輸送（漁船によるものに限る。）に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁船による海上輸送の要請 2 相互応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業協同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産物の調達及びあっせん 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 沿岸魚場整備開発施設の被害調査及び応急対策に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関係障害物の除去 4 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在港船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	

2 振興局等農林水産担当部等

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
振興局等 { 農政(林)部 水産部 農村整備室 林務事務所 家畜保健衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

3 出先機関

所 属 等	県災害対策本部規程で定める分掌事務	県地域防災計画(応急対策計画)で定める分掌事務 (H18 組織再編による分掌事務整理後)	その他の分掌事務
病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学校	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命ぜられたこと。		

本庁各室課の長、地方振興局農林水産担当部長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種 類	内 容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画 (様式1)	原則として、電子メール及び県行政情報ネットワークによるものとし、防災行政無線(電話、FAX)等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方 支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間(災害発生初期)に、種類別に報告するもの	〃 (様式F及び3、 10～16、		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	〃 (同上)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室
その他の報告	前記の報告以外で、必要な事項について報告するもの	〃 (任意様式)		市町村本部～地方 支部～農林水産部 ～総合防災室

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系図は12頁)

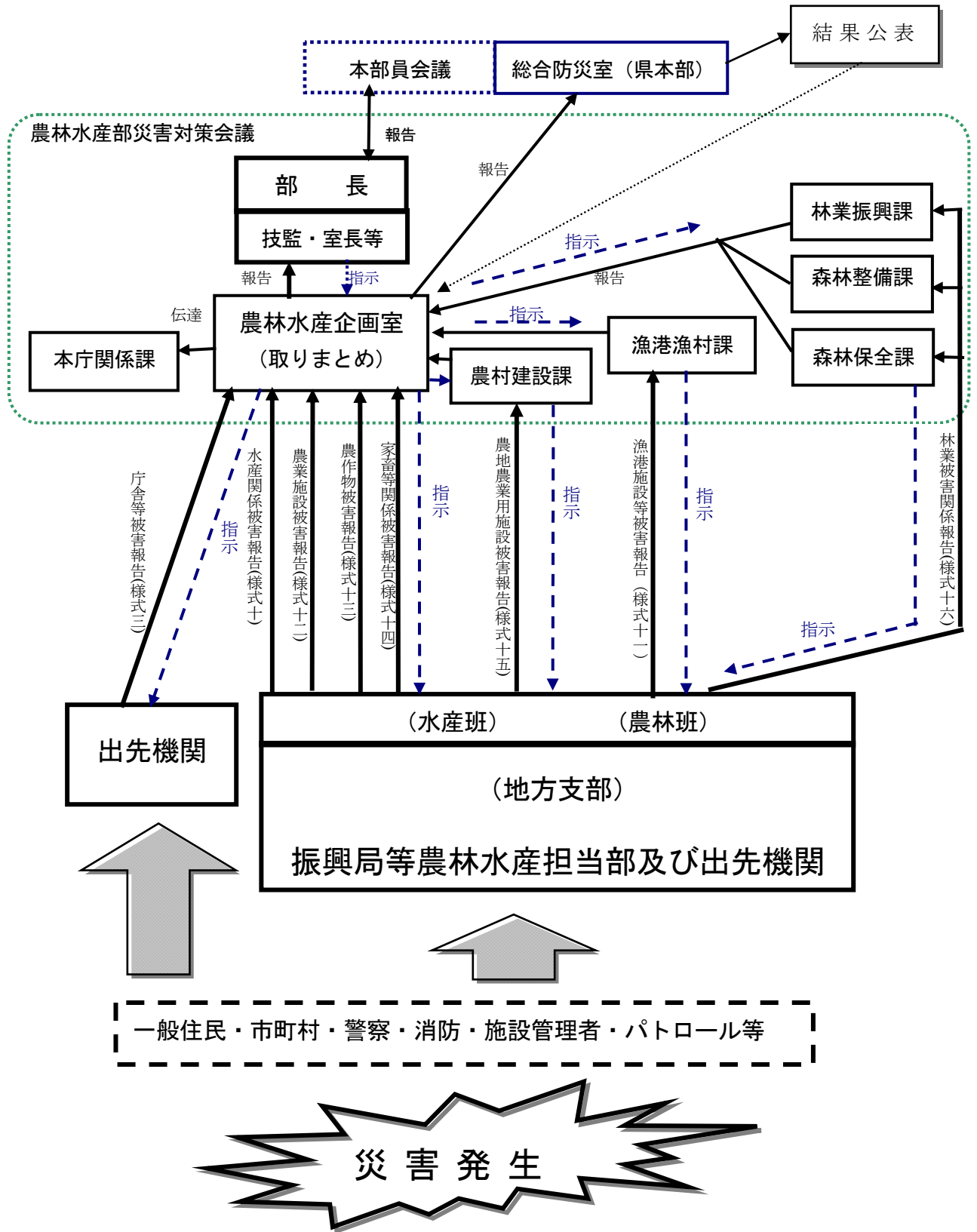
報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
農業施設被害報告	様式12	市町村本部	農林水産企画室	関係課に伝達	部 長
農作物等被害報告	様式13	↓			
家畜等関係被害報告	様式14	振興局等(農	農林水産企画室 農村建設課 林業振興課 森林整備課 森林保全課 漁港漁村課	農林水産企画室に報告	県災害対策本部長 (総合防災室)
水産関係被害報告	様式10	林水産担当			
農地農業用施設被害報告	様式15	部等)及び出			
林業関係被害報告(林産施設・林産物)	様式16	先機関			
〃 (作業道、市町村有林、私有林)	様式16				
〃 (林産施設・作業道以外の林業施設)	様式16				
漁港施設等被害報告	様式11				

2 応急対策及び指示

- (1) 振興局等農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部長の指示確認)	別紙様式1	振興局等農林水産担当部等 及び出先機関	農林水産企画室又は本庁 関係課(情報伝達と同様)	部 長

災害情報収集・報告区分別系統図



Ⅶ 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合(警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、森林整備課長、森林保全課長、水産振興課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	技監、室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

- ・本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。
- ・勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。
- ・拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課(V 分掌事務参照)の長が対象となること。

VIII その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (振興局等の長)	緊急初動特別班員の指名	毎年度当初	本庁及び振興局等
本庁各室課の長 振興局農林水産担当部長 出先機関の長	非常招集系統図（配備体制区分 がわかるもの）作成	毎年度当初	本庁は農林水産 企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常招集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画(災害応急対策計画)に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等災害防止対策本部(以下「本部」という。)を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議(以下「対策会議」という。)が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局、広域振興局総合支局及び地方振興局（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長又は農林部長をもって充て、副地方支部長は、盛岡地方振興局農政部にあつては農業振興室長、県南広域振興局農林部にあつては地域農政推進課長、その他の広域振興局等の農政部及び農林部にあつては農林水産調整主幹（宮古地方振興局農政部にあつては農林水産調整監）並びに所管区域を所掌する農業改良普及センター所長（花巻及び北上地方支部にあつては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあつては地方支部長と、副本部長にあつては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

- この要綱は、平成13年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成14年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成15年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成16年4月1日から施行する。
- この要綱は、平成17年8月8日から施行する。
- この要綱は、平成18年8月17日から施行する。
- この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

別表 1 (要綱第 3 関係)

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
中央農業改良普及センター	所長

別表 2 (要綱第 6 関係)

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	企画マーケティング担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
中央農業改良普及センター (県域普及グループ)	

農林漁業セーフティネット資金の概要

「農林漁業セーフティネット資金」は、不慮の災害や経済環境の変化等によって収支が悪化し、資金繰りに支障を来している場合などに利用できる低利な長期資金（償還期間 10 年以内うち据置 3 年以内）です。

項 目	内 容
貸 付 対 象 者	①認定農業者 ②認定就農者 ③林業経営改善経営計画の認定を受けている林業経営者 ④漁業経営の改善に関する計画の認定を受けている中小漁業者 ⑤農林漁業に係る所得が総所得の過半を占めるか粗収益が 200 万円以上の個人 ⑥農林漁業に係る売上高が総売上高の過半を占めるか 1000 万円以上の法人
	①災害の被害を受けた ②疾病や病虫害等の被害により殺処分や出荷停止の指導を受けた ③前期より粗収益が 10%以上減少した ④最近 3 ヶ月の粗収益が前年同期を下回っており、今後も減少が見込まれる ⑤前期より所得率や純利益が悪化している ⑥燃油や資材費等の高騰により一時的に経営が悪化している ⑦取引先や取引金融機関が破綻し、経営に支障を来している
取 扱 融 資 機 関	日本政策金融公庫 ※農協、銀行等を窓口として融資される
資 金 使 途	経営の維持安定に必要な長期運転資金
貸 付 限 度 額	個人、法人とも 300 万円（特認：年間経営費の 3/12 以内（決算書等により年間経営費が確認できること））
貸 付 利 率	0.75～0.95%（H23. 3. 4 現在）
協会保証及び保証料率	無（保証人、担保等については別途要相談）
償 還 期 限	10 年以内（うち据置 3 年以内）
そ の 他	日本政策金融公庫盛岡支店 TEL019-653-5121

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	水稻 麦	気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）	【当然加入制】 ・水稻 30 a 以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25 a 以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・麦 10a 以上（全組合）	【一筆・半相殺・全相殺方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合） 【水稻品質・麦災害収入共済方式】 基準生産金額の6～9割
	りんご ぶどう	・気象災害（冷害、風水害、干害等） ・病虫害、鳥獣害 【特定危険方式】 ・特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜）	・栽培面積 10a 以上（最低加入基準） 【特定危険方式】 ・20 a 以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに 10a 以上の栽培面積と栽培経験 5 年以上	【半相殺方式】 早・中・晩生種ごとと園地ごとに求め農家ごとに合計 【樹園地単位方式】 早・中・晩生種ごとと樹園地ごと 単位当補償金額×標準収穫量×補償割合 組合共済規程に定める最低割合～最高補償割合の中から選択し、それを乗じて共済金額を求める
	大豆 ----- ホップ ----- 蚕繭 （春・初秋・晩秋）	・気象災害（冷害・風水害・干害等） ・病虫害、鳥獣害、火災 ----- ・気象災害（風水害、地震等） ・病虫害、鳥獣害、火災	・栽培面積 5 a 以上（最低加入基準） ----- 最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1 箱以上）、初秋蚕繭（0.5 箱以上）、晩秋蚕繭（0.5 箱以上）	【一筆単位方式】 耕地ごとの基準収穫量の 7 割×単位当補償金額 【半相殺・全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の（8 割：半相殺・9 割：全相殺）×単位当補償金額 ----- 【全相殺方式】 農家ごとの基準収穫量の 8 割×単位当補償金額 ----- 【全相殺方式】 基準収穫量の 8 割×単位当補償金額（蚕期ごと（小蚕期ごと）に計算）
家畜共済	牛 馬 豚	死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、 廃用（胎児・肉豚を除く）、 病気（胎児・肉豚を除く）、 傷害（胎児・肉豚を除く） 【事故除外】 特定の事故のみ限定	・乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛） （等の中に（人工授精等の後 240 日以上）の胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）	・共済価額×付保割合で共済金額を求め、この範囲内で死廃用事故にかかる共済金が支払われる（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8 割の間で選択） ・高被害率農家（死廃事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死廃事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1 a 当たりの再建築価額が3万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く 	<p>共済価額（施設時価額）×付保割合 付保割合（組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択）</p> <p>※施設内農作物は、施設の再建築価額（新築価額）に該当施設内農作物の価額算定率をかけ、さらに付保割合をかけて共済金額を求める（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）</p>

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損等 <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に収容されている家具、家財 ・農作業場等に収容されている小農器具 	<p>（火災事故）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済期間は掛金納入日の午後4時から1年間 ・損害額×（加入金額／再建築価格×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払 <p>（風水害事故）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損害額が再建築価格の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価格）
農機具共済	農機具	<p>（火災共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突等 <p>（総合共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 <p>（更新共済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立 	<ul style="list-style-type: none"> ・所有または管理している未使用の状態を取得した農機具 	<p>損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額</p> <p>※損害額1万円以上の事故から対象</p> <p>※機械の腐食等の自然消耗等は対象外</p>

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法	
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	過去5年間の漁獲金額のうち最高と最低を除く3年平均×一定割合(漁業種類ごとに一律)	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる 「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式 【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式 【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合は不てん補とする方式 【約定限度内低事故不てん補方式】 共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補するが、低事故(共済限度額に対する割合が5%)部分は不てん補とする方式 【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限度内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業				

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
<p style="text-align: center;">特定養殖共済</p>	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき</p> <p>過去5年間の養殖単位当たり生産金額のうち最高と最低を除く3年平均 × 契約年のさく数、台数、または幹縄の延長数 × 一定割合(養殖種類ごとに一律)</p>	<p>【収穫高保険方式】 生産金額が病虫害等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定して、てん補する方式</p> <p>【支払上限付てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合は不てん補とする方式</p> <p>【約定限度内低事故不てん補方式】 共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補するが、低事故(共済限度額に対する割合が5%)部分は不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【大損害比例てん補方式】 加入区全体の損失割合が30%以上の場合は全額がてん補対象で、30%未満の場合は約定割合の1/2を填補する方式(漁協一括契約のみ)</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

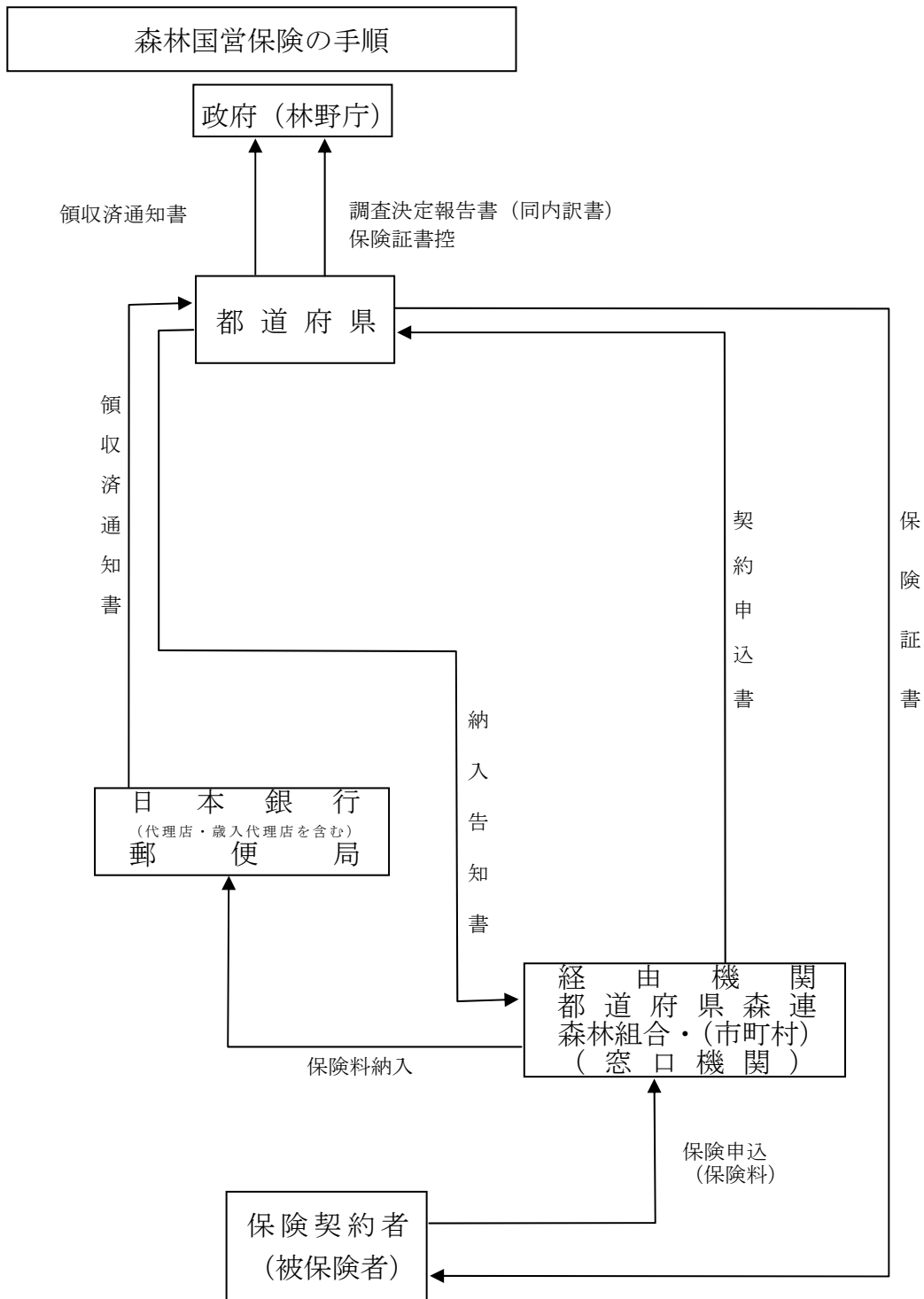
引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁業施設共済	漁具	定置網	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が台風等の自然 災害により受け た損壊や第三者 により受けた損 害(盗難を除く) を補償	水域ごとに全ての施設が加 入	【全損契約】 全部損害の場合のみ補償 【分損特約契約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定てん補(分損)契約】 地震・噴火又は、これらによる津 波が原因で3割以上の損害の場合に 補償
	養殖施設	浮流し はえ縄 いかだ 網いけす			

- ※1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁協一括契約
漁協が加入する方式
- 3 集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧事業と被害地等森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧事業			被害地等森林整備事業 (指定被害地造林等)		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			災害、気象害、病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 (激甚災害が暴風雨による場合) 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			指 定 被 害 地 造 林	林野庁長官が指定した市町村 ① 数都道府県にまたがり被害を受け、森林被害額の合計が30億円以上の場合の当該都道府県、又は被害額が15億円以上の都道府県内で被害額500万円以上かつ要回復面積30ha以上の市町村 ② 森林被害額が3,000万円以上で、かつ、要回復面積が150ha以上の市町村	
					被 害 地 造 林	指定被害地造林以外の地域
事業 内容	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし	作業路の開設	人工林被害跡地における被害木等の伐採・搬出及び造林	倒伏した造林木の引きこし (指定被害地のみ)	作業路の開設
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、任意団体、森林所有者		
補助率	国：1/2、県：1/6			国：3/10、県：1/10 (査定係数 120、140)		
事業費 査定	あり			なし		

森林国営保険の概要



注) 保険の目的が都道府県有林で、被保険者かつ契約者が都道府県である場合の事務の流れは上図と異なる。(※経由機関に委任している事務を都道府県が実施する。)

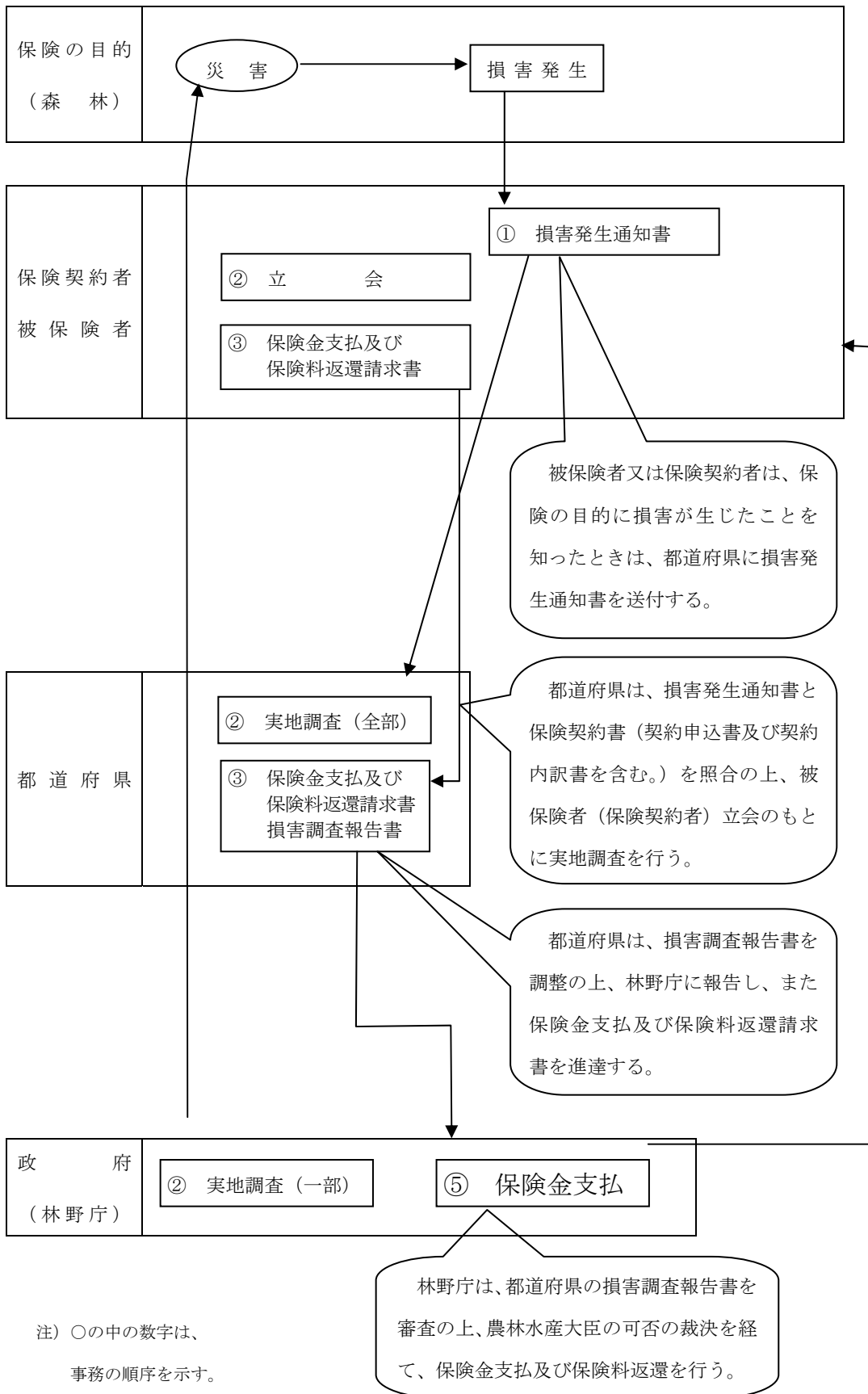
森林国営保険に係る損害てん補業務

業務の流れ	仕事をすべき者	費用負担者等
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険事故の発生</div> ↓	森林所有者 (保険契約者・被保険者)	・発生に係る通知は森林所有者 保険契約者・被保険者<個人負担>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">損害発生通知書</div> ↓		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">同上の受理・送付</div> ↓	経由機関 (市町村、森林組合、都道府県森連)	経由機関 <市町村等交付金・手数料> ・通知書の作成は経由期間の受理業務の一環
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">同上の受理</div> ↓	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">損害の現地調査</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">概況調査</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現地調査</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現地調査立会</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">現地調査補助</div> ↓	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">損害調査報告書 保険金支払及び保険料 返還請求書</div> ↓	都道府県 (委託している場合は受託者)	都道府県 <都道府県交付金(都道府県委託費)> ・保険金等の請求書作成、請求印受領も調査の一環
(報告)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">同上受理</div> ↓	都道府県	都道府県 <都道府県交付金>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険金支払い</div> ↓	林野庁	林野庁
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険金代理受理</div> ↓	保険金受取人(被保険者)の 委任を受けた者	保険金受取人<個人負担>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">保険金受理</div> ↓	保険金受取人	

(注)

- 1 損害発生通知書、保険金支払請求書の作成の考え方は、民間損保も同様である。
- 2 現地調査立会と現地調査補助は別の立場である。立会者に調査手伝いをさせた場合の経費は都道府県又は都道府県森連が都道府県交付金または都道府県の委託費から負担する。

森林国営保険損害てん補の手順



農作物災害対策要綱

(昭和 61 年 4 月 1 日制定)
(平成 8 年 3 月 25 日一部改正)
(平成 13 年 4 月 1 日一部改正)
(平成 17 年 9 月 6 日一部改正)
(平成 19 年 12 月 11 日一部改正)

(趣旨)

第 1 この要綱は、農作物について、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）の未然防止並びに被害の軽減回復及び拡大防止のための対策を推進し、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(対策の内容)

第 2 この要綱による対策の内容は、次のとおりとする。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植、代作の対策
- (3) 生育回復対策
- (4) 農業経営維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握)

第 3 県は、気象災害が発生したときは、別に定める農業被害報告要領に基づき、農業被害状況を取りまとめるものとする。

- 2 県は、前項の規定により取りまとめた農業被害状況を対策実施の基礎とするとともに、必要があると認めるときは現地調査を行うものとする。

(助成措置の適用)

第 4 県は、原則として、次の各号のすべてに該当する場合に助成措置を講ずるものとする。

- (1) 2 以上の市町村における農作物の被害額が 1 億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が 31 パーセント以上（第 2 第 2 号に掲げる対策を実施する場合にあっては 71 パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第 2 の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害の未然防止又は被害の軽減回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 災害発生都度（発生が予測される場合を含む。）、別に定める補助事業の交付要領等により算出される県の補助金の見込額が、1 市町村 1 作目当たり 15 万円以上であり、かつ、1 市町村における県の補助金の見込額が 30 万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第 5 被害の把握については農林水産企画室長が、助成措置の適用については農産園芸課総括課長が所掌する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成22年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況							
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考		
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病虫害防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村		
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村		
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村		
						生育回復	4.9	92	30	川崎村		
							小計	8.8	1,267	421	7市町村	
							桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村
							計	1,351.9	15,087	5,020	7市町村	
	9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病虫害防除	78.0	3,779	1,259	大東町		
	年度計							1,429.9	18,866	6,279		
	S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病虫害防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村	
生育回復							121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村		
小計							673.6	41,991	13,909	14市町村		
野菜						改植	10.0	2,961	986	滝沢村		
						桑	生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村	
						葉たばこ	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村	
						計	2,462.9	56,225	18,589	25市町村		
8月16日～18日		大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病虫害防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村		
						病虫害防除	2.1	11	3	藤沢町		
					豆類	代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村		
						小計	4.9	607	201	2町村		
						野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
8月29日		大雨洪水	970.4	236,652	野菜	生育回復	5.5	59	19	川崎村		
						小計	45.1	8,453	2,813	4市町村		
					桑	生育回復	84.1	4,457	1,483	北上市等5市町村		
						計	1,558.6	25,441	8,470	7市町村		
9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病虫害防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村			
					野菜	代作	3.2	689	224	紫波町		
						計	142.2	5,044	1,664	4市町村		
				年度計							4,163.7	86,710
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病虫害防除	2.8	29	9	安代町		
						改植	5.0	672	224	安代町		
						小計	7.8	701	233			
					果樹	病虫害防除	31.0	1,126	374	二戸市		
						計	38.8	1,827	607	2市町		
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	水稲	病虫害防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村		
						病虫害防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村		
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町		
						小計	110.4	2,479	824	4市町村		
					野菜	病虫害防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村		
						代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村		
						小計	149.0	12,683	4,165	6市町村		
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市							
		計	747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期	低温・日照不足	95,026.0	30,127,805	別途対策事業を実施								
年度計							786.1	22,199	7,329			
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村		
						小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村	
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村		
					果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町		
					とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村		
							計	233.3	15,323	5,088	6市町村	
	7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病虫害防除	110.2	2,622	873	紫波町		
						揚水機購入	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村		
					計	110.2	25,701	8,490	4市町村			
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病虫害防除	185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村			
年度計							529.0	45,947	15,201			

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町	
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町	
					小計		94.0	6,665	2,219	2町村	
					キャベツ	病害虫防除	10.0	161	53	一戸町	
	計		104.0	6,826	2,272	2町村					
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市	
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町	
						代作	8.0	1,031	343	紫波町	
						小計	10.0	1,054	350		
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市	
						代作	2.0	258	85	花巻市	
						小計	4.0	275	90		
					ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村	
					ブロッコリー	病害虫防除	4.0	28	9	花巻市	
代作						4.0	515	171	花巻市		
小計						8.0	543	180			
レタス	代作	3.0	386	128	遠野市						
ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市						
わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村						
計		32.2	5,186	1,722	4市町村						
年度計						193.2	14,068	4,678			
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町	
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	りんご	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村
						病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村	
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村	
小計		842.7	35,330	11,706	15市町村						
夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施							
年度計						911.1	46,528	15,384			
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市	
年度計						30.0	534	178			
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施							
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町	
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町	
						計	36.4	5,114	1,704	2町	
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町	
						だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町
						キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町
						はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町
						さといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市
						牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町
	計		87.8	34,062	11,313	5市町村					
9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず							
年度計						124.2	39,176	13,017			
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稻	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村	
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町	
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石巻町	
						小計	30.3	7,289	2,426	4市町村	
					ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石巻町、大迫町	
						ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688	紫波町、石巻町、大迫町	
小計		60.1	61,649	20,452	3市町村						
計		90.4	68,938	22,878	5市町村						
年度計						1,385.4	84,152	27,934			
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町	
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302		雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町	
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町	
					計	58.4	36,898	12,298	2町		
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村		
計		47.2	4,782	1,593	2町村						
年度計						1,825.4	58,728	19,570			
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村	
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村	
計		0.7	4,966	1,655	2町村						
年度計						0.7	4,966	1,655			
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村	
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計						1.5	1,898	632			

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況					
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町
					りんご	病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村
						代作	0.9	1,164	387	二戸市
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村
					おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	茨波町等4市町村				
計	697.4	53,473	17,805	14市町村						
8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							697.4	53,473	17,805	
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市
						播き直し	0.07	134	45	北上市
					ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市
					スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市
					水稲	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町
	計	317.27	5,411	1,802						
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町
				キャベツ	緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町	
				だいこん	緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村	
計	225.18	11,947	3,981							
年度計							542.45	17,358	5,783	
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稲	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村
						代作	10.9	7,928	2,637	雫石町等6市町村
					計	1,900.3	18,817	6,262		
年度計							1,900.3	18,817	6,262	
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず					
	年度計							0.0	0	0
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稲	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村
					りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村
					計	24.0	2,217	738		
	年度計							24.0	2,217	738
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤防除	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区)
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)
	計	70.0	3,670	1,223						
10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							70.0	3,670	1,223	
H19	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	二戸市
						生育回復対策	29.3	269	89	二戸市
					おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	二戸市
						生育回復対策	2.5	103	34	二戸市
					計	63.6	1,319	438		
	9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区
					大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町
				飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町	
計	106.0	20,822	6,934							
年度計							169.6	22,141	7,372	
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤防除	20.5	857	285	軽米町
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町
					加工もも	生育回復対策	16.5	986	329	軽米町
	計	57.5	3,248	1,082						
年度計							57.5	3,248	1,082	
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤防除	30.0	1,003	334	遠野市
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市
					計	60.0	1,459	486		
	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市
						緊急薬剤防除	29.79	669	223	江刺市
計	30.069	2,163	721							
年度計							90.069	3,622	1,207	
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤防除	5.85	289	96	岩手町
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町
						改植	4.00	2,335	778	岩手町
						代作(大根)	4.47	1,014	337	岩手町
					大根	まき直し	6.89	1,563	520	岩手町
	計	27.21	7,239	2,410						
	7月から8月	暑熱			ほうれんそう	まき直し	15.80	2,921	950	岩手町
年度計							43.01	10,160	3,360	

1億円以上の被害額となった災害：53災害 (S61～H22)
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：39災害

※ただし、1億円以上の被害が見込まれたH17の1災害を含む

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災害名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
2	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	
	2月26日大雪災害		4,395		4,395										15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害															
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484	200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雹災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雹災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降霜災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害														11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498				800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
	11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000							1,300	40	3,175		4,515
	12月15日～16日にかけての波浪災害											1,730				1,730
	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404					300		700,898
5月25日の凍結災害	80,209			80,209											80,209	
6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000	
6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145	
7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000	
7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073	
7月24日の降雪等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876	
7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000	
8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186						18,820	165,128	
8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000	
8月26日の降雹等災害	277,266	5,812		283,078											283,078	
9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000	
9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000	
9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,588	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781		22,080	65,428	8,400	13,095	109,003	4,212,976	
10月24日の波浪災害										3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	
10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991	
11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404		10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	7,137,848	
11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994	
11月30日～12月1日にかけての台風26号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404						3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	
1月19日の波浪災害															2,600	
2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781				2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	
2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542	
3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森 林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計	
3	6月12日～14日にかけての大雨災害					40,000			40,000							40,000	
	6月16日の豪雨災害			64,000	64,000											64,000	
	6月30日の豪雨災害			3,000	3,000											3,000	
	7月10日～11日にかけての豪雨災害	11,589		29,000	40,589											40,589	
	7月16日～17日にかけての豪雨災害			222,000	222,000											222,000	
	7月21日の大雨災害					65,000			65,000							65,000	
	7月24日～25日にかけての豪雨災害			105,000	105,000	55,288			55,288							160,288	
	8月22日の豪雨災害			67,000	67,000									44,160		67,000	
	8月30日～31日にかけての台風14号による大雨洪水災害	104,153	65,634	2,411,000	2,580,787	456,594		18,089	474,683					44,160		3,099,630	
	8月7日の豪雨災害			59,000	59,000	18,804			18,804							77,804	
	9月17日～18日にかけての台風19号による大雨洪水災害	21,648		288,000	309,648	156,216		4,687	160,903	200	121,440	300				121,940	
	9月27日～28日にかけての台風19号による強風災害	2,452,393	1,364,292	35,000	3,851,685	5,300	3,705	56,348	65,353	5,205	4,430					9,635	3,926,673
	10月10日～14日にかけての台風21号による大雨洪水災害	9,390		990,000	999,390	357,055			1,152	358,207						1,357,597	
長雨、日照不足、低温による災害	25,761,883			25,761,883											25,761,883		
12月28日～29日にかけての強風災害		3,905		3,905											3,905		
5月21日の降雪災害		10,106		10,106											10,106		
5月28日の降雪災害		5,073		5,073											5,073		
6月14日の降雪災害		144,624		144,624											144,624		
6月28日の降雪災害		9,609		9,609											9,609		
8月8日～9日の台風10号による災害	27,408	4,411		31,819											31,819		
9月11日～12日の台風17号による波浪災害							20,220						20,220		20,220		
1月15日の地震災害			10,000	10,000											10,000		
1月29日の強風災害			763	763											763		
2月6日～7日の大雨・融雪災害			83,000	83,000											83,000		
3月8日の波浪災害										1,607			99,000		100,607		
4月18日の強風災害	7,387	78,330		85,717											85,717		
4月28日の強風災害		2,468		2,468											2,468		
5月6日の地震災害			14,000	14,000											14,000		
6月2日～4日の大雨・洪水・波浪災害		83,000	83,000	83,000	84,823			84,823						33,631	201,454		
6月9日の降雪災害	20,477	1,200		21,677											21,677		
7月25日～26日の大雨災害	5,541	300		5,841											5,841		
7月28日～29日の大雨・洪水・波浪災害	112,727	850	2,643,000	2,756,577	1,453,148		17,576	1,470,724	5,000	1,500			3,500		4,237,301		
8月27日～28日の台風11号による大雨・洪水・波浪災害	9,972	5,483	200,000	215,455	57,143			57,143	100				5,400	133,609	411,707		
9月4日の台風13号による大雨災害			75,000	75,000	502,976			502,976							577,976		
10月24日～25日の強風災害	27,707	4,240		31,947											31,947		
異常低温・日照不足等による災害	102,690,977			102,690,977											102,690,977		
1月29日～30日の大雪による災害	12,356	73,714		86,070											86,070		
2月9日～10日の大雪による災害		60		60											60		
2月21日～23日の強風による災害	3,271	28,299		31,570						2,570	11,480	9,561	37,770		61,381		
4月3日の強風による災害		1,532		1,532											1,532		
5月15日の大雨災害				40,000					40,000						40,000		
6月3日の降雪による災害	17,031			17,031											17,031		
6月9日の降雪による災害	20,290			20,290											20,290		

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
6	6月17日の降雪と雷雨による災害	105,419			105,419											105,419
	7月1日～2日の大雨による災害			15,000	15,000											15,000
	8月18日～21日の大雨と強風による災害	33,971	17,749	156,000	207,720	94,390			94,390							302,110
	7月～8月の高温乾燥と少雨による災害	4,541,905			4,541,905											4,541,905
	9月8日～9日の強風と降雪による災害	75,209	4,180		79,389											79,389
	9月15日の大雨による災害	31,931		542,000	573,931	350,548			350,548							924,479
	9月18日～22日の台風24号による波浪災害				614,123	614,123			614,123	96,940	430,130	106,325		287,716	3,774,893	5,310,727
	9月30日の台風29号による災害	155,193	13,059	920,000	1,088,252											1,088,252
	10月4日の北海道東方沖地震津波による災害					10,000			10,000			236,989		718,576		1,238,240
	10月11日～12日にかけての大雨による地すべり災害															10,000
	11月4日の強風による災害	51,680			51,680											51,680
	12月28日の三陸はるか沖地震・津波による災害		5,582	5,582	50,591	3				50,594		3,500	14,091	7,029		80,796
	1月7日の地震による災害		13,298		105,000	105,000	15,325			15,325						120,325
	7	4月20日の強風による災害		2,949		40,909										
5月31日の降雪による災害		37,960			40,909											40,909
7月10日の豪雨による災害				4,000	4,000											4,000
8月2日～7日の大雨洪水による災害		1,338,377	3,249	1,044,000	2,385,626	185,719			187,719							2,573,345
8月22日の大雨による災害		2,073		246,000	248,073											248,073
8月24日～26日の大雨による災害		7,079		323,000	330,079	47,677			48,699							379,378
11月7日～9日の暴風雪・波浪による災害		293,169	122,772		415,941				700	425	192				617	417,258
12月24日～25日の暴風雪・波浪による災害													60		8,620	8,620
9月2日の大雨・強風による災害				261,000	261,000											261,000
9月22日～23日の台風17号による災害																193,219
4月3日の融雪災害						88,890			88,890							88,890
6月24日～25日にかけての大雨災害						47,000			47,000							47,000
2月6日～7日の暴風雪・波浪による災害											450			18,810		19,260
3月31日の強風による災害			14,565		14,565											14,565
11月6日の強風による災害	12,612			12,612											12,612	
11月21日の強風による災害		384		384											384	
9	1月6日～7日にかけての大雪災害							301,084	301,084							301,084
	2月4日～5日の波浪による災害									4,420	9,163		48,630	57,493	119,706	119,706
	3月1日の強風による災害		835		835				672						1,507	1,507
	3月11日の強風による災害		6,131		6,131										6,131	6,131
	4月10日の強風による災害		2,423		2,423										2,423	2,423
	5月2日の強風による災害		920		920										920	920
	5月7日～8日の強風による災害			8,000	8,000											8,000
	6月20日～21日の台風7号による災害			53,000	53,000											53,000
	6月23日の雷雨と降雪による災害	30,605		78,000	108,605	500			500							109,105
	6月28日～29日の台風8号による災害	8,832		623,000	631,832	155,369			155,369							787,201
	7月4日～5日の強風による災害	28,454	1,908		30,362	54,218			54,218							84,580
	8月12日の局地的大雨による災害			5,000	5,000											5,000
	8月3日～4日の局地的大雨による災害			9,000	9,000											9,000
	9月16日～17日の台風19号による災害			1,000	1,000											1,000

年	災害名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
9	9月2日～3日の大雨による災害			7,000	7,000											7,000
	10月8日～9日の強風による災害	1,259			1,259											1,259
	11月22日の大雨、洪水災害					7,655			7,655							7,655
	1月15日～16日の大雪による災害		18,635		18,635	700		1,957	2,657		600				600	21,892
	4月2日～4日の大雪による災害		498		498	80,000			80,000							80,498
	5月11日の降雪による災害	142,760			142,760											142,760
	6月19日～20日の強風による災害		1,480		1,480											1,480
	6月26日～29日の大雨による災害	2,359		113,000	115,359	4,300			4,300							119,659
	7月23日の大雨による災害			16,000	16,000	200			200							16,200
	7月28日の大雨による災害					300			300							300
10	8月6日～7日の大雨による災害			30,000	30,000	29,492			29,492							59,492
	8月11日～12日の大雨による災害			32,000	32,000	3,608			3,608							35,608
	8月13日の大雨による災害	1,394		161,000	162,394											162,394
	8月14日の大雨による災害			104,000	104,000	6,104			6,104							110,104
	8月15日～16日の大雨による災害	692		63,000	63,692	57,750			57,750							121,442
	8月26日～9月1日の大雨洪水による災害	1,261,302	17,132	3,915,000	5,193,434	3,402,254	2,325	9,347	3,413,926	6,038					6,038	8,613,398
	9月3日の内陸北部地震による災害			46,000	46,000	4,669,000		4,667	4,673,667							4,719,667
	9月15日の地すべり災害					700,000			700,000							700,000
	9月15日～16日の台風5号による災害	235,454	135,479	228,000	598,933	188,951			188,951	400	8,150	3,610	5,451		17,611	785,495
	9月22日～23日の台風7号による災害	54,837	8,426		63,263											63,263
11	9月25日の強風災害					7,200			7,200							7,200
	9月29日～10月2日の大雨・波浪による災害			60,000	60,000	357,151			357,151					143,432	143,432	560,583
	10月18日の台風10号による災害	40,221	2,435		42,656											42,656
	11月4日～5日の強風による災害		171		171											171
	11月14日の降雪による災害			5,000	5,000											5,000
	12月17日の強風による災害		5,126		5,126											5,126
	1月7日の地滑りによる災害			40,000	40,000											40,000
	1月9日～10日の強風による災害			950	950											950
	2月12日～13日の大雪による災害			4,533	4,533											4,533
	2月27日～28日の強風による災害		3,484		3,484											3,484
3月6日の強風による災害		1,812		1,812											1,812	
3月15日～16日の大雪による災害		15,016		15,016	5,484			5,484				9,000	24,000	33,000	53,500	
3月22日～23日の風雪による災害		2,181		2,181											2,181	
4月25日～26日にかけての大雨災害						5,000		5,000							5,000	
5月3日～5日にかけての大雨災害						47,891		47,891							47,891	
5月20日の強風による災害			100	100											100	
6月8日～9日の降雪による災害	72,099			72,099											72,099	
6月24日の強風による災害		2,840		2,840											2,840	
6月29日～7月1日にかけての大雨災害						2,000		2,000							2,000	
7月12日～14日の大雨による災害	126,161	553	1,977,000	2,103,714	2,479,901		29,896	2,509,797							4,613,511	
7月下旬～8月中旬の高湿乾燥による災害	677,408			677,408											677,408	
9月10日～11日の大雨による災害			15,000	15,000	7,600			7,600							22,600	
9月14日～15日の大雨による災害			135,000	135,000											135,000	

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農機・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
11	9月24日～25日の台風18号による災害		2,512		2,512											2,512
	10月27日～28日の大雨による災害	229,072	36,297	8,462,000	8,727,369	4,800,318	5,643	20,679	4,826,640	8,500	63,200	300			72,000	13,626,009
	3月16日～17日の大雪による災害		10,300		10,300											10,300
	3月28日～29日の大雨による災害			37,000	37,000	85,000			85,000							122,000
	4月1日～2日の強風による災害		4,162		4,162											4,162
	4月7日～8日の強風による災害		2,954		2,954											2,954
	4月10日～11日の大雨による災害	217			217											217
	4月20日～21日の大雨による災害	6,783		14,800	21,583											21,583
	5月8日の降雪による災害	8,457	3,940		12,397											12,397
	7月4日の降雪による災害	100,644	256		100,900											100,900
	7月8日～9日の大雨・洪水・暴風による災害	545,492	5,182	681,000	1,231,674	1,134,756	460	12,376	1,147,592	200	2,150	200	100,100	357,476	480,126	2,839,392
7月16日の大雨による災害	8,486		70,000	78,486											78,486	
7月下旬～8月中旬の高温による災害	186,950			186,950											186,950	
8月3日の大雨被害					47,706				47,706						47,706	
8月5日～8日の降雪、大雨等による災害	75,880	520	313,000	389,400							7,400		6,028	13,428	402,828	
8月23日の局地的な降雪と突風による災害	24,890	275		25,165											25,165	
10月18日の強風による災害	50,794	450		51,244											51,244	
10月26日の強風による災害	18,204			18,204											18,204	
11月21日の強風による災害		3,540		3,540											3,540	
12月19日～23日の強風による災害		881		881											881	
1月7日～10日の大雪による災害		10,815		10,815											10,815	
1月18日～4月9日の低温による災害			199,000	199,000											199,000	
1月28日の大雪による災害			1,732	1,732											1,732	
2月2日～4日の大雪・強風による災害			1,490	1,490											1,490	
3月18日～21日の強風による災害		8,618		8,618											8,618	
4月13日の強風による災害		423		423											423	
4月20日の強風による災害		900		900											900	
4月下旬の低温・降雪による災害	1,883,809			1,883,809											1,883,809	
6月19日～20日の大雨による災害			21,000	21,000	5,000				5,000						26,000	
6月25日～26日のペルー沖地震津波による災害												470			470	
6月29～30日にかけての大雨による災害						60,300			60,300						60,300	
6月30～7月1日にかけての大雨による災害						5,000			5,000						5,000	
7月4日の大雨による災害			120,000	120,000											120,000	
7月23日～24日の大雨による災害			93,000	93,000											93,000	
7月30日～8月2日の大雨による災害	173,156	1,290	1,209,000	1,383,446	608,626		1,170	609,796							1,993,242	
7月下旬の高温による災害	30,063			30,063											30,063	
8月3日～4日の大雨による災害			23,000	23,000											23,000	
8月22日～23日の台風11号による災害	2,548		36,000	38,548	4,680		346	5,026				50	1,500	1,550	45,124	
8月27日～28日の大雨による災害			30,000	30,000											30,000	
9月10日～12日の台風15号による災害	7,822		442,000	449,822	470,422		534	470,956		3,200	2,200	350		5,750	926,528	
9月22日～23日の低温・降雪による災害	99,945			99,945											99,945	
10月1日～3日にかけての大雨による災害					70,000			70,000							70,000	
12月14日～16日の大雪による災害		2,200	32,850		35,050										35,050	

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
14	1月27日～28日にかけての暴風雪による災害	1,591	55,566	475,676	532,833	7,045		1,636,265	1,643,310	11,471	66,272	124,844	524,076	786,163	1,514,826	3,690,969
	3月6日～7日にかけての大雪による災害					97,100			97,100							97,100
	4月5日～7日にかけての低気圧通過による災害															
	4月下旬～5月上旬にかけての降雪による災害	97,363			97,363					1,330	6,100	3,000	28,743	105,000	144,173	97,363
	5月下旬～6月上旬にかけての降雪による災害	30,620			30,620											30,620
	台風6号による災害	1,330,021	34,314	10,073,000	11,437,335	6,711,859	18,238	43,342	6,773,439	5,450	10,000	3,343	12,050	33,683	64,526	18,275,300
	8月の長雨・日照不足による災害	686,136		463,000	1,149,136	30,100			30,100							1,179,236
	7月～9月の暑熱による災害		70,922		70,922											70,922
	台風21号による災害	375,816	73,444	37,000	486,260	71,145		7,204	78,349	20,915	147,586	22,898	99,950	3,800	295,149	859,758
	10月21日～22日にかけての大雨暴風雨による災害	919			919				1,300	500	72,000				73,000	75,219
	11月の低温による災害	5,184			5,184											5,184
	2月20日から21日にかけての大雪による災害															
	3月1日から2日にかけての暴風による災害		933		933											933
	3月7日から10日の暴風雪、大雪及び波浪による災害	9,955	153,620		163,575	104,786		421,600	526,386	3,057	25,458	467,019	2,291,362	1,249,500	4,036,396	4,726,357
4月1日の融雪災害					146,055			146,055							146,055	
4月12日～13日の強風災害		583		583											583	
降雪の遅れによる農作物の被害	16,733			16,733											16,733	
4月下旬から5月上旬にかけての降雪災害	21,152			21,152											21,152	
5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	881	150,461	500,000	651,342	514,950	27,885	620	543,455	27,493	410		721,100		749,003	1,943,800	
5月26日に発生した三陸南地震（震度6弱）による被害	2,135			2,135											2,135	
7月10日から11日にかけての大雨災害					110,000			110,000							110,000	
7月24日～27日にかけての大雨災害					276,961		533	277,494	300					300	277,794	
7月26日に発生した地震（震度4）による被害			59,000	59,000											59,000	
8月25日の降雪による被害	1,454			1,454											1,454	
台風10号による被害	10,508	162		10,670	200			200							10,870	
台風14号による被害	24,115	6,358		30,473											30,473	
平成15年十勝沖地震に伴う津波被害																
6月下旬以降の異常気象に伴う農作物被害	32,906,921			32,906,921								154,394	273,981		433,502	32,906,921
11月16日の強風災害	3,232	2,790		6,022											6,022	
12月7日の強風災害		1,189		1,189											1,189	
1月14日強風災害		1,192		1,192											1,192	
2月15日強風災害		1,300		1,300											1,300	
2月23日強風災害	23,716			23,716	295			295			4,000			4,000	28,011	
3月6日大雪災害		1,044		1,044											1,044	
3月31日強風災害		4,668		4,668											4,668	
4月20日強風災害		52,742		52,742						200	7,730			7,930	60,672	
4月～5月降雪被害	115,327			115,327											115,327	
6月15日降雪災害	17,708			17,708											17,708	
6月21日台風6号災害	5,297	950	116,000	122,247	52,430			52,430							174,677	
6月30日降雪災害	19,802			19,802											19,802	
7月11日～20日大雨災害	30,559		166,000	196,559	84,800			84,800							281,359	
7月26日～27日落雷・降雪災害	12,850	230	22,000	35,080											35,080	
8月5日～7日大雨災害			47,000	47,000											47,000	

年	災害名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
16	8月8日降雹災害	763			763											763
	8月9日大雨災害			16,000	16,000											16,000
	8月20日台風15号災害	392,461	81,398		473,859					2,781	1,943				4,724	478,583
	8月31日台風16号災害	209,739	19,254		228,993					2,113	1,900	1,260	3,660		8,933	237,926
	7月1日～8月31日高温被害	94,626			94,626					1,004					1,004	94,626
	9月8日台風18号災害	87,312	26,993		114,305											114,305
	9月21日～22日大雨被害			28,000	28,000											28,000
	9月30日台風21号災害	100,785	27,286	1,836,000	1,964,071	316,236		800	317,036	6,127	2,100				8,227	2,289,334
	10月10日台風22号災害	1,011	491		1,502											1,502
	11月27日強風災害	12,998	146,165		159,163	9,015		3,681	12,696	3,899	6,760		55,150	2,400	102,328	274,187
	9月～11月降雨による品質低下減収被害	363,914			363,914											363,914
17	1月17日大雪・波浪災害	71	220		291			543	543	2,773	49,270	12,347	46,760	539,300	650,450	651,294
	平成16年末からの積雪による被害	13,171	90,357		103,528			2,863	2,863							106,391
	4月7日強風災害		4,795		4,795											4,795
	4月7日落雷災害			2,000	2,000											2,000
	4月29日・5月1日強風災害		1,645		1,645											1,645
	5月19日強風災害		130		130											130
	5月20日地すべり災害					98,115			98,115							98,115
	5月27日落雷災害			8,000	8,000											8,000
	6月4日大雨災害	1,438			1,438											1,438
	6月11日大雨災害					224		42	266							266
	6月19日・20日降雹災害	93,263			93,263											93,263
	6月27日大雨災害	140		119,000	119,140							1,560			1,560	119,140
	7月26日台風7号災害		20		20	9,937			9,937							9,937
	7月31日大雨災害			3,000	3,000											3,000
	8月の高温災害	22,583			22,583											22,583
	8月14日～15日大雨災害			5,000	5,000	57,900		162	58,062							63,062
	8月16日地震災害		4,000	22,000	26,000	1,006	3,000		4,006	90					90	30,096
	8月20日降雹災害	1,864			1,864											1,864
	8月21日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	8月23日落雷災害		50		50											50
	8月22～23日大雨災害			11,000	11,000	4,161			4,161							15,161
	9月7日台風14号災害	9,723	848		10,571	4,100		137	4,237							14,808
	10月22日から23日大雨及び低気圧災害			9,000	9,000					50	100				150	9,150
	11月8日強風災害		50		50											50
	11月15日地震災害			16,000	16,000											16,000
	12月20日強風災害		100		100											100

年	災害名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
18	平成18年豪雪災害	17,227	505,764	13,000	535,991	5,039	500	234,538	240,077							776,068
	2月の低温災害			36,000	36,000											36,000
	3月20日強風災害		18,787		18,787											18,787
	4月11日地すべり災害					10,000			10,000							10,000
	4月21日地すべり災害					9,724			9,724							9,724
	5月16日落雷災害			3,000	3,000											3,000
	6月22日降雹災害	192,823	60		192,883											192,883
	8月12日降雹災害	146			146											146
	8月上旬の高温災害	7,141			7,141											7,141
	8月18日大雨災害	88		110,000	110,088											110,088
	8月22日大雨災害			20,000	20,000											20,000
	8月30日大雨災害					17,000			17,000							17,000
	9月5日台風12号災害				1,193,409			20	1,193,429	9,310	290,032	27,478	49,950	265,570	642,340	1,835,769
	10月6日から8日の低気圧による大雨、暴風、高波災害	270,278	66,976	1,530,000	1,867,254	995,394	300	98,107	1,083,801	56,626	3,090,816	134,766	436,783	1,812,780	5,531,771	8,492,826
	11月7日の強風災害	22,126	900		23,026											23,026
	11月15日千島列島の地震に伴う津波災害										600	190			790	790
	11月22日から23日の強風災害	4,820	13,664		18,484											18,484
	12月26日から28日の低気圧災害	3,912	13,217	117,000	134,129	816,512		2,804	819,316	12,050	11,309	1,500		7,330	32,189	985,634
	1月6日から8日の低気圧災害		2,463	22,000	24,463	500		304	804	310	4,500	670	4,910		10,390	35,657
	1月27日から28日の低気圧災害	813	460		1,273											1,273
	2月4日の強風災害		230		230											230
	2月15日から16日にかけての強風災害		80		80											80
	3月11日の大雪災害		21,253		21,253											21,253
	4月26日の強風災害		21		21											21
	5月10日の強風災害		222		222											222
	6月6日から8日の降雹災害	127,976	270		128,246											128,246
19	6月25日の降雹災害	8,267			8,267											8,267
	6月29日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月6日の降雹災害	47,228	213		47,441											47,441
	8月22日の大雨災害			7,000	7,000	3,800			3,800							10,800
	9月7日の台風9号災害	161,562	12,178	629,000	802,740	370,981			370,981	1,000	4,700	7,715	17,210	18,300	48,925	1,222,646
	9月10日の大雨災害			69,000	69,000	8,000			8,000							77,000
	9月17日から20日の大雨・洪水災害	621,193	6,656	1,139,000	1,766,849	527,376			527,376	900	480	1,445	7,000		9,825	2,304,050
	5月から9月の暑熱による災害	20,272			20,272											20,272
	11月10日から13日の低気圧災害	107		18,000	18,107						1,150				1,150	19,257

年	災害名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
	1月10日の暴風雪災害		144		144											144
	2月23日から24日の暴風雪災害														8,250	8,250
	4月1日から2日の強風・波浪災害		17,282		17,282							7,750		500	900	18,182
	4月13日から30日の強風災害		1,453		1,453											1,453
	4月から5月の降霜災害	110,481			110,481											110,481
	5月6日から7日の強風災害	4	2,118		2,122											2,122
	5月17日から26日の降霜災害	2,860			2,860											2,860
	5月20日の低気圧災害	10	535		545						500				7,000	7,545
	6月14日の平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	51,904	230,309	2,126,000	2,408,213	1,186,134	80	7,023,529	8,209,743		1,000		1,000		1,000	10,618,956
	6月23日から24日の強風・大雨災害		121	14,000	14,121	3,000			3,000							17,121
	7月7日の大雨災害	46			46											46
20	7月11日の降霜災害			1,000	1,000											1,000
	7月11日から12日の大雨災害			17,000	17,000											17,000
	7月14日の大雨災害			25,000	25,000											25,000
	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061		419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000			21,000							165,830
	8月21日から22日の大雨災害							90,745	90,745							90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000											69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506		162,800	164,306							405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903			14,903											14,903
	9月12日の大雨災害			6,000	6,000											6,000
	10月24日の大雨災害							101,019	101,019							101,019
	11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371											67,371
	11月28日の強風災害		192		192											192
	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300			3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604	56,125
	1月30日から31日にかけての暴風雪災害		763		763					270		300			570	1,333
	2月7日の強風災害		105		105											105
	2月14日の強風災害	7	9,803		9,810											9,810
	2月20日から21日にかけての暴風雪災害		2,842		2,842											2,842
	3月7日の強風災害		696		696											696
	3月10日の強風災害		774		774											774
	3月23日の強風災害		882		882											882
	3月30日の降霜災害			6,500	6,500				6,500							6,500
	4月21日から22日にかけての大雨災害			4,900	4,900				4,900							4,900
21	4月23日の強風災害		28		28											28
	4月25日から26日にかけての強風・波浪災害			10,000	10,000			224	224		4,407	4,660		700	9,767	9,767
	4月25日から27日にかけての大雨災害															10,224
	4月から5月にかけての降霜災害	16,199			16,199											16,199
	5月17日から18日にかけての強風災害				5,064						800				850	5,914
	6月5日から7日にかけての大雨災害		1,000		1,000	18,305			18,305					1,500	1,500	20,805
	7月10日から13日にかけての強風災害	111,054	10,355		121,409											121,409
	7月19日の大雨災害			8,000	8,000	75,800			75,800							83,800
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000

年	災害名	農畜産物	農業施設	農機・農業用施設	農業被害額計	林業施設	林産・特用林産物	森林	林業被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業被害額計	農林水産業被害額計
21	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害		79		79			40,000	40,000							40,079
	10月8日から9日にかけての台風18号による災害	387,157	59,641	117,000	563,798	35,233		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545
	11月15日の強風災害		440		440											440
	12月7日の強風災害		327		327											327
	1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	29	1,081		1,110							100			100	1,210
	1月13日の大雪災害		17,760		17,760											17,760
	2月28日の津波災害									1,800			656,379	1,157,146		1,815,325
	3月10日から11日にかけての大雪災害	805	72,867		73,672			200	200						900	74,772
	3月13日から14日にかけての強風災害		739		739											739
	3月21日の強風災害	83	4,638		4,721											4,721
	4月13日から14日にかけての強風災害	97	7,613		7,710											7,710
4月21日から25日にかけての強風災害		320		320											320	
4月28日から29日にかけての大雨災害			2,000	2,000	16,152			41,180	57,332	1,200	1,100		5,020	7,320	66,652	
5月24日から25日にかけての大雨災害					14,700			2,000	16,700						16,700	
5月26日から27日にかけての波浪災害										300					300	
5月31日の降雪災害	1,211			1,211											1,211	
6月3日の降雪災害	5,488			5,488											5,488	
6月5日の降雪災害	45,569			45,569											45,569	
6月20日の大雨災害			1,000	1,000											1,000	
7月2日から4日にかけての大雨災害		400	64,000	64,400				65,000	65,000						129,400	
7月7日の大雨災害			12,000	12,000											12,000	
7月8日の降雪災害	113,040	29,531	10,000	142,571											142,571	
7月9日から10日にかけての大雨災害			10,000	10,000											10,000	
7月12日の強風災害	5,627	150		5,777											5,777	
7月17日の大雨災害	58,035	3,610	846,000	907,645	41,730		754,976	799,861							1,707,506	
7月24日の降雪災害			10,000	10,000											10,000	
7月24日から25日にかけての大雨災害	26,493			26,493											26,493	
7月25日の大雨災害			4,000	4,000											4,000	
7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000	
7月29日から30日にかけての大雨災害			11,000	11,000	14,630			3,000	17,630						28,630	
8月12日の台風4号による災害			64,000	64,000											64,000	
8月14日の大雨災害			11,000	11,000	1,447				1,447						12,447	
8月31日の大雨災害			90,000	90,000	3,500				3,500				54		93,554	
6月から8月にかけての暑熱災害	550,893			550,893											550,893	
11月3日の強風災害		615		615											615	
11月9日から10日にかけての強風災害	2,270	730		3,000											3,000	
11月12日の強風災害	499			499											499	
12月3日から4日にかけて大雨、暴風、波浪災害		1,533	15,000	16,533				2,000	2,000					100	300	
12月22日から23日にかけての大雨、暴風、波浪、大雪災害	3,161	6,885	16,000	26,046	43,571		56,776	100,347	12,289	1,045,810	35,950		107,250	130,540	1,458,232	
12月24日から26日にかけての大雪災害		93,219		93,219			36,114	36,114							129,333	